CBETA電子佛典集成

CBETA Chinese Electronic Tripitaka Collection

eBook

B24n0135

蒲室集

笑隱大訢著

財團法人 佛教電子佛典基金會

目次

- 編輯說明
- 章節目次
  - 序
  - 疏
    - 目錄
    - 疏一
      - 仰山虛谷和尚住徑山江湖疏
      - 東嶼和尚住靈隱行宜政院疏
      - 雲外和尚再住天童諸山疏
      - 瀨翁和尚住淨慈諸山疏
      - 湛堂法師住上竺江湖疏
      - 元叟和尚住徑山杭諸山疏
      - 竺田和尚住靈隱金陵諸山疏
      - 如菴法師住下竺教寺行院疏
      - 靈石和尚住淨慈行院疏
      - 如一溪住寶林行院疏
      - 潤玉岡住演福教寺江湖疏
      - 璨無瑕住上虞南塔杭諸山疏
      - 秀枯木住四明大慈寺諸山疏
      - 存古鏡住象山太平寺行院疏
      - 蘭首座住祇園寺杭諸山疏
      - 圓方外住義興善權杭諸山疏
      - 演福首座凱南叟住車塘廣福教寺諸山疏
      - 凱南叟住廣福三宗江湖疏
      - 大慈暢文溪住象山蓬萊杭州諸山山門二疏
      - 義首座住四明妙智諸山疏
      - 進銕壁住婺州天寧江湖疏
      - 永羅源住溫州淨社諸山疏
      - 當湖新建福源寺請林平山開山杭諸山疏
      - 恍亡號住普福教寺諸山疏
      - 竺源和尚住崑山薦嚴杭諸山疏
      - 菩提寺孫公住上虞資聖寺杭諸山疏
      - 範準堂住台州法輪諸山疏
      - 靈一源住鳳山資福寺杭諸山疏

- 有子有住本覺寺杭諸山蹄
- 王藍田住栖賢寺杭諸山蹄
- 竺田住圓通杭諸山蹄
- 楓橋泰天與遷龍興天寧杭諸山蹄
- 瑛石室住昌國州隆教寺杭諸山蹄
- 徑山首座照了堂住龍興旌忠杭諸山蹄
- 了堂住旌忠山門蹄
- 淨慈首座古鏡堂住天目大覺
- 穎中山住天平杭諸山蹄
- 瑞少曇住光嚴行院蹄
- 唯一巖住安吉常樂院蹄
- 報國寧晉翁住天封諸山蹄
- 能仁逸日休住保寧諸山蹄
- 周南翁住集慶能仁捻管府蹄
- 蕪湖吉祥香東陵住清凉江湖蹄
- 淵萬宗住龍山山門蹄
- 古林住江心行宣政院蹄
- 愚如菴住仰山行宣政院蹄
- 恩斷江住開元行院蹄
- 誠古心住仰山杭諸山蹄
- 悅南楚住妙果
- ○○○住顯慈杭諸山蹄
- 仙竺堂住興善諸山蹄
- 來竺源住翠巖行宣政院蹄
- 鄹東山住江陰悟空行宣政院蹄
- 明雪窓住圓覺江湖蹄
- 定空山住瑞光
- 觀遠山住四明佛巖江湖蹄
- 宣無言住鳳山資福行院蹄
- 如一溪住淅江萬壽江湖蹄
- [(留-田)-刀+卩]無文住高亭
- 潔瑩中住台州澄心諸山蹄
- 玉薀中住道吾
- 澤天泉住昌國普慈諸山蹄
- 珍叔蘊住象山寺慈江湖蹄
- 芝○○住四明
- 珠龍淵住碧雲行院蹄
- 金衡山住淨社杭諸山蹄

    - 楷不模住越之延慶杭諸山疏
    - 宣政院奏改中天竺為天曆萬壽永祚禪寺請如一溪住持疏
    - 曇芳和尚住往山集慶諸山疏
    - 了即休住金山集慶諸山疏
    - 依無住住台州慶善杭諸山疏
    - 逸休毗住越之天華寺疏
- 疏二
    - 西竺僧荊門建寺化佛殿疏
    - 帝師殿化供具疏
    - 淨慈寺化經鐘二樓疏
    - 淨慈寺化五色裝千佛閣疏
    - 化夏供疏
    - 台州護聖寺僧刺血盡法華經化藏經疏
    - 高麗惠因寺化脩造疏
    - 長橋寺化脩造疏
    - 徑山圓鑑菴化田疏
    - 常州崇勝寺化脩造疏
    - 鍾山脩造化疏
    - 廬山東林寺化疏
    - 中天竺寺脩造化疏
    - 虎跑寺素祖師像化疏
    - 蜀僧琦老化藏經歸蜀疏
- 奉　勅重脩百丈清規疏語
    - 聖節啟散二疏
    - 祈晴
    - 祈雨
    - 祈雪
    - 遣蝗
    - 日食
    - 月食
    - 佛降誕疏
    - 佛成道疏
    - 佛涅盤疏
    - 帝師涅盤疏
    - 達磨忌疏
    - 百丈忌疏
    - 楞嚴會啓散二疏
    - 景命日祝香

        - 聖節祝香
    - 水陸齋疏
        - 奏上文宗皇帝表
        - 供佛智師疏
        - 薦受業祖高峯雲和尚疏
        - 薦參請師友疏
        - 薦徒第行宥知津等疏
        - 薦方外交疏
        - 薦先考陳公疏
        - 魂榜
- 書問
    - 目錄
        - 與胡平章書
        - 與虞伯生學士書
        - 與易釋董阿平章書
        - 與高納麟監司書
        - 與高參政書
        - 與常道夫御史書
        - 與薩迪大夫書
        - 與忽都海牙右丞書
        - 與左吉平章書
        - 與吳閒閒真人書
        - 與王叔能參議書
        - 與趙仲[禾*(白/(厂@久))]書
        - 與盧縣尹書
        - 與趙伯寧司使書
        - 與張司使書
        - 與那海彥深僉事書
        - 與　九成　　書
        - 與韓伯高治書書
        - 荅張雪峯司農書
        - 與蕘伯脩參議書
        - 與孔用道都事書
        - 與忽都察捻管書
        - 與普顏枯穆爾監司書
        - 與杜清碧待制書
        - 荅廖天與書
        - 荅族弟陳宗南道士書

- 與友人共十四書
- 與元叟和尚書
- 與如一溪書
- 與妙國師書
- 與澄湛堂書
- 與恩斷江書
- 與明雪窓書
- 荅砥平石書
- 荅匡正宗書
- 荅愚如菴書
- 與宗可庭書
- 與寶雲盧老書
- 與果庵主書
- 與若季衡書
- 與喆古智書
- 與受業師祖書
- 與卯月江書
- 與有龍長老書
- 與淵默堂書
- 與福田僧書
- 與　　書
- 荅真如舜長老書
- 荅慈化愈長老書
- 荅清泉海長老書
- 荅南山月長老書

◦ 古辭、古詩(　四言)　、古詩(　五言)

- 目錄
- 古辭
  - 猗蘭辭
  - 思親辭
  - 山雲辭
  - 徐勉之有琴曰風篁為作風篁引
  - 宋孝子詩
- 古詩(　四言)
  - 高門一首贈岳柱公
  - 客去一首送婁所性歸江西
  - 瞻雲亭詩
  - 畫蘭

- 泉石為錩君安賦
- 古詩(五言)
  - 期石室不至
  - 心遠堂為吳江張清夫賦
  - 陶隱居像
  - 題程仲華西行集
  - 送暉東陽往江西省佛智師
  - 送楊子承臺郎
  - 送江希顏兼呈佛智師
  - 追和洪景盧內翰題龍[基-(一/八)+(冗-几)]寺韻送曇西竺
  - 次韻王伯循御史見贈
  - 贈曹伯珪
  - 梁楷田樂圖
  - 賦得露盤送邵本初侍親之括蒼
  - 次韻廉公秀御史送觀志能臺郎赴都
  - 送觀志能臺郎赴都
  - 次韻石室贈琦上人
  - 顏暉狷
  - 子昂竹石
  - 武仁夫蘭
  - 萬空
  - 送欽上人
  - 送吳希賢提舉
  - 琴書自樂詩
  - 怡如堂為錩彬之賦
  - 題畫
  - 感興二首
  - 索士巖都事赴涮東僉憲以疾不能送作詩寄別
- 古詩(七言)
  - 目錄
    - 月支王頭飲器歌
    - 曹娥江讀碑圖
    - 太白觀瀑布圖
    - 駿馬圖
    - 宿牛頭菴
    - 初發金陵夜泊龍灣寄茅山道士李方外
    - 趙魏公松石梵僧圖
    - 岳柱留守捕蝗詩

        - 商德苻畫為雲門若季蘅題
        - 會曹伯珪
        - 送張清夫
        - 顏暉耕牧漁樵圖
        - 次張夢臣侍御游鍾山五十韻
        - 曹伯珪築室曰桂齋戲作俳偕體
        - 送許典史
        - 贈醫者夏仁齋
        - 寄隆祥使司張司亟
        - 湯氏義門詩
        - 蘭蕙同芳圖為[逯-(彖-豕)+(冂@一)]彥常賦
    - 律詩（五言）一
        - 目錄
        - 送趙公子去疾侍平章魯公歸蜀
        - 次韻張夢臣侍御游蔣山五十韻
        - 述懷送觀空海歸臨川七十韻
        - 送宋誠夫侍郎福建注選歸朝
        - 送何彥敬赴山東憲幕
        - 送暉昧谷歸蜀
        - 完者蔦捻管瑞麦詩
        - 送鎏文美知事赴燕南
    - 律詩（五言）二
        - 目錄
        - 佛智師歸仰山
        - 送張用鼎游燕南
        - 寄皇甫州判三首
        - 次韻甯宣尉
        - 送別二首
        - 趙大年小景
        - 送秦元之參議赴太禧宗禋院二首
        - 送人奔父喪二首
        - 寄趙伯寧中丞
        - 荅張雪峰司農二首
        - 庚午秋過淮安
        - 過淮河口
        - 送薩天錫照磨赴燕南憲幕
        - 送蔺上人
        - 蘭蕙同芳圖為馬元博題

        - 挽陳如心縣尹
        - 楊執中幼與予同舍自予去鄉里一別四十五年矣乍見俱不相識承惠詩二首次韻謝之
        - 次韻奉荅吳可堂左丞致政寓九江見貽
        - 送睢陽王德明辟內御史府掾
    - 律詩(　七言)
        - 目錄
            - 萬歲山
            - 黃河阻風
            - 高彥敬尚書墨竹
            - 送郭幹卿學士赴　奎章閣次趙魯公韻二首
            - 次韻王繼學侍御金陵襍詠十首
                - 新到建業
                - 龍翔寺
                - 君子堂
                - 東窓看山
                - 忠勤樓
                - 重登忠勤樓
                - 獨坐君子堂
                - 賞心亭
                - 潛宮
                - 為餘姚同知賦林泉
            - 次韻馬昂夫捻管飲僊橋詩
            - 贈王吉甫提舉
            - 次韻吳閒閒宗師贈茅山徐真人
            - 次韻薩天錫臺郎賦三益堂夫容
            - 次韻王伯循僉事將上江東留別
            - 謝張雪峯司農惠西域諸果
            - 次韻張夢臣侍御　太子千秋日燕龍翔寺
            - 李遵道墨竹二首
            - 王元戴御史為沈禹錫畫洞庭圖
            - 送太禧宗禋院觀志能照磨監造御麵還朝
            - 謝郭道淵以詩慶住新寺
            - 次韻荅曹德昭臺郎見寄
            - 曹德昭嘗蒙寄詩已率諸徒同和呂 仲實僉憲偶見連和三首相遺予與仲實未及識感其相知率爾次韻上荅
            - 仲實復和見貽勉荅二首
            - 張夢臣侍御題東林李伯高西疇詩卷次韻

        - 送張可道管勾赴任西臺
        - 雪窓蘭
        - 送趙仲德歸國學受業兼東其父宗吉待制
        - 送笪子敬赴蒼梧尹
        - 送韓九成臺郎赴中臺
        - 送趙子威臺郎還都
        - 送楊文舉赴江淛省宣使
        - 柯敬仲墨竹二首
        - 柯敬仲作枯木竹石圖寄樵隱御史命題其上
        - 子昂竹石
        - 眉壽堂為趙子威照磨賦
        - 次韻馮東麓侍御游鍾山詩
        - 東麓侍御赴燕南憲使留別次韻奉餞
    - 絕句、聯句
        - 目錄
        - 絕句(五言)
            - 米元暉江山秋晚圖二首
            - 松雪翁墨蘭
            - 畫牛
            - 溪山小景
            - 口號四首為海樵公送別
        - 絕句(七言)
            - 次韻馬虞中道士贈熊以善之金陵四首
            - 次韻荅石室元晦
            - 贈日者沈愛山
            - 次韻荅熊以善秀才
            - 風雨歸舟圖
            - 古廟折碑圖
            - 贈[(厂@((既-无)-日+口))*頁]可和二首
            - 虞伯生學士以五詩贈一上人蒙見及一公將歸蜀謁趙魯公次韻
            - 墨梅為馮仲實賦
            - 李息齋墨竹
            - 雪窓蘭
            - 舟至通州夜雨大作
            - 次韻送廖天與
            - 魚樂圖
            - 畫馬

- 湘水行春圖
- 淵明歸去圖
- 百鴈圖
- 孤嶼圖為雁山德長老題
- 梅雪齋為逸彥常賦
- 李遵道墨竹
- 次韻荅失蠻御史五首
  - 贈了空羽士
  - 秋夜宿瓜洲江風山月亭
  - 寄西山李處士
  - 宿雪峯菴
  - 游仙
- 濟法師清鏡閣
- 次韻馮東麓侍御留題鍾山八功德水
- 東麓侍御赴燕南憲使留別次韻奉餞
- 竹石圖

- 聯句
  - 秋夜同太原張翥仲舉水嘉李孝光季和龍翔寺聯句

◦ 序一
- 目錄
  - 道法師實錄序
  - 天禧寺嵩講主刊施五十三佛名經序
  - 送瑞少曇歸江西序
  - 蘄州蘆山攝待菴序
  - 道場寺雲峯閣詩序
  - 悼中天竺布衲雍公偈序
  - 送方上人序
  - 揚雲嚴居士作蔣山僧堂偈序
  - 王氏孝感瑞華圖詩序
  - 送張子安御史序
  - 王可毅尚書還　朝序
  - 送岳柱留守還朝序
  - 梅孝子序
  - 送臺醫馮善甫序

◦ 序二
- 目錄
  - 奉　勅重脩百丈山大智覺照弘宗妙行禪師禪林清規九章序
    - 祝　聖章

        - 報本章
        - 報　國恩章
        - 尊祖章
        - 住持章
        - 兩序章
        - 大眾章
        - 節臘章
        - 法器章
    - 曹文貞公續集序
    - 送常道夫游武夷詩序
    - 送周君崇判官序
    - 送高德潤歸義興序
    - 送姪陳九萬道士序
    - 楊氏鏡中序
    - 月上人周易解序
- 記一
  - 目錄
    - 開府儀同三司榮祿大夫平章政事集賢院使領會同舘事吳國公杭州淨慈寺歲閱藏經記
    - 開府儀同三司榮祿大夫平章政事集賢院使領會同舘事吳國公杭州高麗惠因教寺歲閱藏經記
    - 吳興封山資敬寺記
    - 杭州金剛顯教院記
    - 松江府龍門寺記
    - 龍興路靖安縣毘盧院記
    - 龍興路奉新縣寶雲寺記
    - 吳江州水月院記
    - 龍興路南昌縣卯土寺記
    - 寧國路宣城縣珩琅山法雲禪寺記
- 記二
  - 目錄
    - 玉可毅尚書歷仕記
    - 集慶路江寧縣崇因寺記
    - 潮州南山寺記
    - 集慶路鹿苑寺記
    - 龍興路新建縣雙峯寺記
    - 集慶路溧水州明覺寺記
    - 嘉定州南翔寺歲閱藏經記

        - 集慶路觀音堂碑陰記
        - 婺州永康縣光惠寺記
    - 碑銘、塔銘
        - 目錄
        - 碑銘
            - 荊門州玉泉山景德禪寺碑銘
            - 龍興路靖安縣雙林大中禪寺碑銘
            - 吳江長橋銘
            - 楊州天寧寺新作石塔銘
            - 集慶路真如院碑銘
            - 饒州路樂平州天童山童嶺寺碑銘
            - 池州路報恩光孝禪寺碑銘
        - 塔銘
            - 永嘉江心寺一山萬禪師塔銘
            - 金華智者寺雲屋間禪師塔銘
            - 金陵天禧講寺佛光大師德公塔銘
            - 臨川資壽寺妙行慈惠大師聡公塔銘
            - 臨川資壽明公和上塔銘
            - 豫章般若寺絕學誠禪師塔銘
            - 姑蘇萬壽寺默翁一禪師塔銘
    - 說、題跋一
        - 目錄
        - 說
            - 冲默字說
            - 開通[容-口+夕]字說
            - 繼齋說
            - 靜隱字說
            - 江山小隱說
        - 題跋一
            - 恭題文宗皇帝御畫萬歲山畫
            - 題左德明刊施金剛經後
            - 顯曾大父北磵禪師方中字說後
            - 題曇西竺母李氏基銘後
            - 題朱俊卿為父母脩冥福後
            - 題高氏守拙詩後
            - 題東坡與程正輔手簡
            - 題癡絕禪師書山谷煎茶賦後
            - 題東坡手帖

        - 題松雪翁所書千文
        - 題殷濟川畫
        - 題思聰遺墨後
    - 題跋二、頌、箴、贊
        - 目錄
        - 題跋二
            - 題宋高宗書東方朔荅客難後
            - 題三教圖
            - 題陳世榮血書金剛經後
            - 書金陵十詩後
            - 題安國寺記後
            - 書瞻雲亭詩後
            - 書商學士畫山水圖詩後
            - 題疑翠樓詩卷後
            - 題黃山谷詩後
            - 題米元章書後
            - 題斗極杓公遺訓
            - 題王荊公尋僧圖
            - 書卯土寺記後
            - 題東林寺重刻李邕碑後
            - 題放魚記後
            - 題趙閒閒書心經後
        - 頌
            - 大龍翔集慶寺素覺皇像頌
        - 箴
            - 約之箴
            - 明善箴為陳氏作
            - 元履箴為臺郎高君作
        - 贊
            - 妙法蓮華經贊
            - 摩騰竺法蘭贊
            - 妙有堂贊
            - 玄卿贊
            - 堯卿御史多冠像贊
            - 王道人贊
            - 趙宗吉御史多冠像贊
    - 銘、祭文
        - 目錄

- 銘一
  - 集慶路天禧寺講堂鐘銘
  - 集慶路天寧禪寺鐘銘
  - 集慶路崇因禪寺鐘銘
  - 板銘
  - 龍河廣智菴鐘銘
  - 板銘
  - 天臨路開福禪寺鐘銘
  - 集慶路定林寺鐘銘
  - 饒州路安國寺鐘銘
  - 廣智菴三小鐘銘
  - 二磬銘
  - 寧國路崇敬禪寺鐘銘
  - 湖州路資福禪寺鐘銘
  - 寧國路珩琅禪寺鐘銘
  - 建昌路福山禪寺鐘銘
- 銘二
  - 存存齋銘為趙公子去疾作
  - 近思齋銘為偰公遠作
  - 敬學齋銘為管元貺作
  - 魯山銘
  - 定林佳處銘
  - 頑石銘
  - 書帶軒銘
  - 臥雲室銘
- 祭文
  - 祭中峯和尚文
  - 祭鄧善之使君文
  - 祭照元晦文
  - 祭信南海文
  - 祭徒弟知津文
  - 吊鎦忠憲公文
  - 祭穎侍者文
  - 祭徒弟行宥文
  - 祭徑山元叟和尚文
  - 祭高獨峯文
  - 祭瑛石室文
  - 祭徒弟寶滿文

    - 笑隱訢公行道記
- 卷目次
    - 1
    - 2
    - 3
    - 4
    - 5
    - 6
    - 7
    - 8
    - 9
    - 10
    - 11
    - 12
    - 13
    - 14
    - 15
- 贊助資訊

編輯說明

- 本電子書以「CBETA 電子佛典集成 Version 2025.R3」為資料來源。
- 漢字呈現以 Unicode 3.0 為基礎，不在此範圍的字則採用組字式表達。
- 梵文悉曇字及蘭札字均採用羅馬轉寫字，如無轉寫字則提供字型圖檔。
- CBETA 對底本所做的修訂用字以紅色字元表示（黑白色系版本則無顏色差別）。
- 若有發現任何問題，歡迎來函 service@cbeta.org 回報。
- 版權所有，歡迎自由流通，但禁止營利使用。

天地之相感而文生焉氣神周流物象變化而不可窮已者亦由文章之出乎人者矣故夫以高下厚薄夷險肥磽荒易之地以通乎風雨雷霆霜露之用摩蕩聚散消息起伏各因其所在而發焉千態萬狀之迹其可涯哉是故必有聰明特達之材而充其周普融攝之識觀乎天人古今之變以達其浩博精要之理而後足以為文也嗟乎鮮矣彼局促於呫畢之間每不足以得之而妙契心要於形骸之外者庶幾言之無礙執之而無方以縱橫出入於當時者乎南昌訢公早有得於其宗精神所及六藝百家殆不足學也故其說法之餘肆筆為文莫之能禦以予所知自其先師北磵簡公物初觀公晦機熙公相繼坐大道場開示其法然皆有別集汪洋紆餘辨博瓌異則訢公之所為有自來矣我文皇建大剎於潛邸之舊處特起訢公居之天縱神明度越前代取一士而表異之冠乎東南之叢林其遇合之故尊禮之意豈凡庸所得窺其萬一訢公於是吸江海於硯席肆風雲於筆端一聖十年應四方來者之永則一代人物之交見乎篇章簡什者殆無虛日豈尋常根器之所能哉予與訢公相知二十年天曆至順間一再解后京師殆未暇及茲事歸臥山中五六載方外之士相遭於淡泊時得見其一二已不勝其驚喜高上人久從公游不鄙予之衰朽而來過焉乃盡得所為蒲室集者數巨帙惜予有子夏丘明之疾危坐虛室使善讀書者琅然誦之如洞庭之野眾樂並作鏗宏軒昂蛟龍起躍物怪屏之沈冥發興至於名教節義則感厲奮激老於文學者不能過也何其快哉何其快哉豈期寂寥遲暮之餘而有此獲也故題其編末而歸之

至元四年歲在戊寅四月八日蜀群虞集敘

蒲室集

疏

仰山虛谷和尚住[彳*至]山江湖疏
東嶼和尚住靈隱行宣政院疏
雲外和尚再住天童疏
瀨翁和尚住淨慈諸山疏
湛堂法師住上竺江湖疏
元叟和尚住[彳*至]山諸山疏
竺田和尚住靈隱集慶諸山疏
真如菴遷住下竺行院疏
靈石和尚住淨慈行院疏
如一溪住寶林行院疏

潤王岡住演福教寺江湖疏
璨無瑕住上虞南塔杭諸山疏
秀枯木住四明大慈諸山疏
存古鏡住象山太平行院疏
蘭首座住南潯祇園杭諸山疏
圓方外住義興善權杭諸山疏
凱南叟住車塘廣福教寺諸山疏
南叟住廣福三宗諸山疏
暢文溪住象山蓬來杭諸山山門二疏
義首座住四明妙智諸山疏
進銕辟住婺州天寧江湖疏
氷羅源住溫州淨杜諸山疏
當湖新建福源寺請林平山開山杭諸山疏
悅□□住普福教寺諸山疏
竺源和尚住崑山薦嚴杭諸山疏
孫□□住上虞資聖寺杭諸山疏
範準堂住台州法輪諸山疏
靈一源住鳳山資福杭諸山疏
有子有住本覺杭諸山疏
王藍田住廬山栖賢杭諸山疏
竺田住圓通杭諸山疏
楓橋泰天與遷龍興天寧杭諸山疏
瑛石室住昌國隆教杭諸山疏
[彳*至]山首座照了堂住龍興旌忠杭諸山疏
了堂住旌忠山門疏
淨慈首座古鏡堂住天目大覺諸山疏
穎中山住天平杭諸山疏
瑞少曇住光嚴行院疏
唯一巖住安吉常樂院疏
報國寧晉翁住天封諸山疏
能仁逸日休遷保寧諸山
周南翁住集慶能仁捴管府疏
蕪湖吉祥香東陵住清凉江湖疏
淵萬宗住龍山山門疏
茂古林住江心行院疏
愚如菴住仰山行院疏
恩斷江住開元行院疏
誠古心住仰山杭諸山疏

悅南楚住妙果
□□□住顯慈杭諸山疏
仙竺堂住興善
來竺源住翠巖行院疏
鄹東山住江陰悟空行院疏
明雪窓住圓覺江湖疏
定空山住瑞光
觀遠山住四明佛巖江湖疏
宣無言住鳳山資福行院疏
如一溪住浙江萬壽江湖疏
卯無文住高豪
潔瑩中住台州澄心諸山疏
玉蘊中住道吾杭諸山疏
澤元泉住昌國普慈諸山疏
珍叔蘊住象山等慈江湖疏
芝　　住四明
珠龍淵住碧雲行院疏
全衡山住淨杜杭諸山疏
楷不模住越之延慶杭諸疏
宣政院　奏改中天竺為天曆萬壽永祚禪寺請如一溪住持疏
曇芳和尚住[彳*至]山集慶諸山疏
了即休住金山集慶諸山疏
依無住住台州慶善杭諸山疏
逸休毗住越之天華寺疏
疏
西竺僧荊門建寺化佛殿疏
帝師殿化供具疏
淨慈寺鐘經二樓化疏
淨慈寺化五色猿千佛閣疏
化夏供疏
台州護聖寺僧刺血書法華經化藏經疏
高麗惠因寺化脩造疏
長橋寺化脩造疏
[彳*至]山圓鑑菴化田疏
常州崇勝寺化脩造疏
鐘山脩造化疏
廬山東林寺化疏
中天竺脩造化疏

虎[跳-兆+色]寺素祖師象化疏
蜀僧琦老化藏經歸蜀疏
奉　勑重脩百丈清規疏語
聖節啟散二疏
祈晴
祈雨
祈雪
遣蝗
日食
月食
佛降誕疏
佛成道疏
佛涅槃疏
帝師涅槃疏
達磨忘疏
百丈忘疏
楞嚴會啟散二疏
景命日祝香
聖節祝香
水陸齋疏
奏上文宗皇帝表
薦佛智師疏
薦受業祖高峰雲和尚疏
薦參請師友疏
薦徒弟行宥知津等疏
薦方外交疏
薦先[孝-子+了]陳公疏
孤魂榜

蒲室集

豫章　釋　大訢　笑隱

疏

仰山虗谷和尚住徑山江湖疏

海上鉅禪蔟惟五徑塢稱最位天下師表之尊旌室門極品之貴淪胥不競若夷其高皇皇我祖克有成規藐焉于茲未知攸敘若蹈焚溺冈不恫心共惟某德重山林名高當世猗頓失富王公屈尊而化被荊楚三十年吳人謂楚不宜私我善知識以大方五聘猶不就天道有待若留師以重徑塢非以徑塢重師也黽勉蚤夜庶幾作興以藝掩眾眾或不服以德輔時時可自化故眾自雖紊提綱不煩工不自用從繩則正視今猶昔道不遠人久佇虛心式瞻至止

東嶼和尚住靈隱行宜政院疏

推誠護教有如金城湯池倡道提綱要若銀山銕壁我既不忘靈山記荊師其闡揚少室宗風某行介而和言簡而要永明之書百卷異曲同工松源之道四傳一絲九鼎陽烏東[日/(夕*(丨/下))]陰霾解駁天柱中立狂瀾障回願聞玉應金春以警鯨瘖鼉寂二十四考中書之貴孰儗清高千五百人知識之尊式瞻光采法輪三轉天子萬年

雲外和尚再住天童諸山疏

大陽傳法立孤猶嬰臼之難辨才出山歸者如岐邠之眾信知在德不在力孰不有祖而有宗惟茲藐然是可忍也某氣養沖澹語出渾成胸次廓其町畦高風激彼貪懦長空一碧煌煌東方之啓明諸峯四圍凜凜雪山之太白自有神龍呵護不為尺蠖求伸世路多岐可以南可以北簡書相恤式如玉式如金更始重盟益敦舊好

瀨翁和尚住淨慈諸山疏

寶掌自五天飛錫爰止中峯永明由冷泉開山復遷南宕信行道各有其地豈至人居無定方某辯博通宗材全兼濟眼空一代前無睦州雲門書成萬言自任器之潛子此行適其時也眾望亦已久如歸歟故丘我翁之田秋矣瞻彼喬木先人之廬在焉舉其宏綱脩我隣好

湛堂法師住上竺江湖疏

辯才文捷愚可別其是非四明孤山智莫窺其深淺故為學在慎乎心術而立言以定其師承某辯折千人識高前古譯經赴召比較書天祿石渠負笈來歸如授業河汾伊洛不有宗門之貴孰旌師法之尊山之泰華水之黃河已臻其極獸有麒麟鳥有鸞鷟共覩其祥非惟冠冕諸宗庶以皷吹一代道

之行矣其在茲乎果日出而曉霞升文明先兆玄雲作而時雨降法施普霑公母謙讓再三吾以賈勇十倍

元叟和尚住徑山杭諸山疏

匡徒行道列祖宏規道跡深居古德風致惟時止時行之必當豈或出或處之無心某道重丘山詞欣江漢潛子折衝百氏確論無私妙喜力詆權臣剛氣不屈[(厂@((既-旡)-日+口))*頁]問猶懷北闕栖遲且愛西丘匪五峯之命有加而四眾之望顒若千年象教固資眾力扶持一代龍門合讓老師獨步聯翩同列望拜下塵

竺田和尚住靈隱金陵諸山疏(有序)

至順三年三月前圓通竺田和尚來諸山士庶迎歸鍾山度夏復請普說示尊其道六月杭人以靈隱來聘我等雖各懷戀慕而不敢留不以私廢公也於是相率徃餞之而致詞曰

在宗仁廟莫起訥公於圓通厥後孝宗特召拙菴於靈隱雖出處各欲行志而抑揚皆足扶宗及觀我師度越前古聲飛[舟-(白-日)]陛何天竺莫挽其高風名躍金甌若鷲嶺有待於今日某語空眾妙機透重玄宗姓俱高與臨濟同出邢氏師資宿契喚雪峯萬福曾郎話行江西三十年增高廬阜幾千仞道闢于奧與日月而爭光宗會其元猶河漢而無極方喜金陵之會遽為錢唐而歸與其領徒勘驗諸方曷若據室大弘法施南山之南北山之北纘承祖父兄箕裘一乘非一三乘非三掃空經律論露布如佛出現大眾霑恩

如菴法師住下竺教寺行院疏

奉　綸旨以護教簡自　宸衷擢正士以匡宗探彼輿論惟激濁揚清之必當庶拔茅連茹而彙征某持道堅剛宅心虛靜皷吹三藏居然大雅之音粃糠九流廓爾太虛之量豈久泥解空惠行之故武合思振唐標隋觀之遺規四眾歡呼敦萬壑之雷動一乘極倡肆九河之瀾翻夙夜惟寅祈天永命

靈石和尚住淨慈行院疏

永明之道始自天台國師南泉之門獨推趙州古佛如此耆年宿衲不愧古德棲林某大法元龜宗門碩匠蟠胷五千卷癯然身不勝衣住山六十年允矣囊無餘蓄亦足勵彼薄俗孰能挽其高風誓將一室之栖遲奈爾千眾之圍繞倚巖枯木誰知天澤淋漓凝雪喬松益見歲寒節操惟進退之有禮

[(厂@((既-无)-日+口))*頁]出處之無恒用我者東周乎豈繫瓜而不食瞿鑠哉是翁也如據鞍而請行力任單提傾誠三祝

如一溪住寶林行院疏

山華碉水捻是清淨法身處穴魔宮不異兜率內院以大士深弘願力而吾師尚忍安眠某道德在躬光華著外理即事事即理日用等空劫無差言[(厂@((既-无)-日+口))*頁]行行[(厂@((既-无)-日+口))*頁]言說法與契經相合痛掃雕[錌-十+向]之弊力排奔競之風荷囊猒鬧市紅塵飛錫愛亂雲深處碧梧翠竹鸞鵠停峙想見高標深山大澤龍蛇所居孰窺神變非世綱可羈者以禮羅而致之朝取一人暮取一人何多賢也待以國士報以國士非敢望焉期轉法輪助宣聖化

潤玉岡住演福教寺江湖疏

大方廣眾所以傳道比者妄庸襍進而名德愧之徃徃遯去以為高使後學失所依歸譬之世家外姓爭立長嫡避讓當取不取與非所取而取者其過一也若玉岡法師者德重宗門學探玄要會諸家無異同說水到滄溟演一音非大小乘霆轟蟄戶何自謙抑以咈輿情況丞相之銓衡至公而使者之疏幣交委時當像季願見優曇一華日用常行捻是般舟三昧幸回象步以尉鷗盟

璨無瑕住上虞南塔杭諸山疏

清凉譯經豈羨金印如斗通玄造論親宣王偈貫華不圖像教千年復聞同別二教某綱羅百氏胸次九流詞嚴周誥殷盤韻勝杭標越徹名實不謬一洗銕爐步志之嘲體用全彰何待金子師章之喻即長水見琅琊悟處如圭峯出荷澤源流祖子孫三代機緣塔上風鈴解語漸頓圓一音演說堂前露柱交參的赴來機相逢勘敵

秀枯木住四明大慈寺諸山跿

昔而翁卻中峯之聘聲震怒雷使蔡林知師法之尊重增九鼎宜乎仁者之有後孰謂天道而無知某墮地騲騮故家龍象耿光燄燄寒巖回枯木之春有陣堂堂天柱障東南之險久嚮橫行於海上不若歸來兮山中於是伐鼓考鐘于以過家上塚妙嚴季子相傳天上麒麟丞相祠堂忍見草間翁仲異一語以警大夢庶茲行式尉群情辯河瀾翻若決懸水千尺慈雲天覆何止廣廈萬間大整頹綱交脩鄰好

存古鏡住象山太平寺行院疏

人之貴在聞道聞道在明性而佛之言性大而要故學佛之徒蕃亍海內大方居眾常千百人而難於擇師吾以三名定公選防妍弊也行之期年似有成効比諸山舉至古鏡存公詢之輿論名謂得人妙用無方流傳有自風生王塵發揚少室真機影落銀河親見廬山面目茲焉出世所賴提綱九鼎而懸一[糸*系]凜乎重寄朽索之馭六馬慎爾脩途期昌乃宗勿負所望

蘭首座住祇園寺杭諸山疏

蔟林秋晚方嗟祇樹彫零教苑春生誰識襍華富貴盡說氣空餘子願聞辯折諸師某律合黃鐘唱高白雪理無礙事無礙立處全真心亦如境亦如現行三昧彈指開毘盧樓閣分身見帝網山河只今特地開堂曲為群生出世支遁所交方外負笈以從德雲不下妙高別峯相見

圓方外住義興善權杭諸山疏(鬮中為人所先行院改正再住)

同心以濟理必順而入從去物復還事有難而天幸信行止係於定數而得失出乎無心某介石匪移懷瑾弗售嘗早游於方外況妙叶於機先抉驪龍而得珠非遭其睡射白頷而沒羽所貴不疑與其道播江湖孰若化行閭里提振綱宗傳付法藏三生善卷山中重來何晚一舸洞庭波上願見無由明月一方同風千里

演福首座凱南叟住車塘廣福教寺諸山疏

明珠歷掌照無遯形洪鐘在縣扣斯善應惟茲一代時教咸觀四眾機宜所貴為人是名出世某行方而粹貌瘠而腴語非教嚜非禪語默不及止即定觀即慧止觀兼資當如跡混泥塗何得目視霄漢南竺山中風致與子難忘芙蓉洲上因緣待人重舉皷勇士氣鼎重宗盟

凱南叟住廣福三宗江湖疏

考室以除風雨作輿而思長途致其用也達人應世寧不其然匪伊獨善貴在同波汩彼昏昏吾寧濯濯徇物多方其歸一轍聿觀先德鮮不劬躬惟我南叟講師寂而恒用辯而恒默夫教始西土裔流中夏乃判三宗而未始異也若師行律而心禪而匡徒教庠者皆跡耳盍將會其大同焉何茲江濱一寺蕞爾夸繫而三宗之士睠睠景從迫之就道尊師道也噫道德之貴山林

之榮尚矣奚以位之崇庳足為蒂芥惟上承先宗之寄下以尉塞群望而尚克光于祖庭

大慈暢文溪住象山蓬萊杭州諸山山門二疏

屋老青山夢斷吳雲楚水舟成白日人登方丈蓬萊颼御冷然風流藉甚某淵才泉湧肆辯雲興神交有曾郎薈公議論得器之潛予偃皷奪旌深入老拳毒手相當得士如一角麟徒能驚俗舉世皆水潦鶴誰為識真以人事料人難知我希則我貴四海獨徃買絲繡作平原君諸公齊盟鴆人豈有羊叔子
道行四方有圓悟之返蜀名高當代而雪峯亦歸閩當如匹夫為百世師孰謂我邦無善知識曇華易見晝錦非榮某智得無師語空眾妙不解荅話只識病以我為隱乎及夫見面比聞名過人也遠矣老師避席弟子成行非蘄化北溟之鵾盖難隱南山之豹溪邊茅屋無端菜葉隨流海上神山乘此清風歸去頎誠法誨屬耳登音

義首座住四明妙智諸山疏

湛盧之劒必清水淬其鋒輪囷之材須大廈展其用故士之守窮不變信道亦待時而行某有陣堂堂逼人咄咄脫皮膚獨得真實從源委始涉波瀾還國師犀牛兒氣劘深壘會百丈下堂句貧無卓錐十年古寺間房一曲陽春白雪物有所待時豈偶然肇置仁祠乃一代風流宰相聯芳禪苑皆君家阿大中郎幸依輔車相與軒輊要使楚材晉用何慚盧後楊前伯吹塤仲吹篪同心以濟南有箕北有斗矯首相望

進銕壁住婺州天寧江湖疏

舉世濫真郢書[書-曰+皿]為燕說登賢繼席蕭規正要曹隨非惟得楚人之弓乃合返趙城之壁某持衡常正縣鏡不痕眾推出世為人奚事領徒行脚藥汞銀鍛即流去正隨計中塗毒鼓聞者喪身方迎全敵善藏無跡妙用隨機駿奔四海象龍不阻雙溪鷗鷺乘下澤車御欸段馬小試周旋挹浮丘袂拍洪厓肩相從上下

永羅源住溫州淨社諸山疏

悅公識老素於隣房稽顙稱服靈樹待韶陽於嶺表虗左以迎由來四海龍門稱此舟山鳳羽某剛貞玉雪叱咤風霆煨蘆菔換得禪八珍爭富觸茶瓢解荅話白刃無前天機貴得於自然夫子非拙於用大巨緇五十犗寧汞涸

轍魦魚蟠桃三千年不作褪華杏子時乎難得而易失道在致之而力行妙嚴有季子起家人嗟其晚東海招諸賢結社天作其逢期底千成[母-(丶/丶)+丨]渝斯好

當湖新建福源寺請林平山開山杭諸山疏

厓立絕俗士以隘而致譏凡合毀方物有汙而召辱犀象雖真寡於實用巫醫有道惡其小成故非正無以守中非圓無以應外某孤雲無滯介石匪移訪道西峯猶清凉初識地藏說法仰嶠如寂子夢到天宮能舉話接來機可隨處立宗[上/月]安禪古寺以斷薪續折牀臥聽鄰鐘負栲栳入閙市矧茲山有東湖之勝而長者為北道之賢樓觀[帚-巾+車]飛象龍蹴踏作天平而主柴石道契忠宣闢半山以居雲菴論頎分甫庶幾無愧乃亦有光

恍亡號住普福教寺諸山疏

[瓜-、]飋綿綿肇跡天台之裔棣薨韗韗相輝靈竺之間尚其智者一宗不墜佛光三世某材堪治劇學有指歸大小部非篆刻雕虫運甓在外異同說無堅石白馬立的永中側傾四座之河縣佇戒群仙之風御鳳翔千仞眷[舟-(白-日)]丘之可忘鶴鳴九皐覽芝阜而來下爰求鄰好尚徵載書

竺源和尚住崑山薦嚴杭諸山疏

宗倡之濫久矣迨此菴出如朱絃獨奏遥哇俱癈是有功輔教者也雖嗣其世班班而無以廣席居之吾儕無愧乎某游刃重玄粹英眾妙匪極于奥益善其機弘道三十年猶河潤雨施自浮山得旨還已遞跡第化止鄉閭而未浹其東西州也惟茲東禪代有耆德毋曰淹寓庶乃序遷夫身之詘信道之隆汙系之尚言不若自信致知猶能力行用執簡以告誠浮于禮無溢其辭

菩提寺孫公住上虞資聖寺杭諸山疏

昔波離之創律遠取諸物近取諸身迨真悟之起宗周放中規折旋中矩欲會殊而歸正寧枉道以從人某辯折錙銖學包同異制有常度嚴如法家者流事豈空言聞諸副墨之子克明授受益善師承至公不避親嫌大用寧存化跡東游禹穴舊時石室烟雲西望蘇提珍重王[大/(中-丨+(皿-冂))]風月非旅進而旅退惟一弛而一張欲上坡先下坡少迁修步我北海君南海尚接嗣音

範準堂住台州法輪諸山疏

虎丘直下諸師孰承重寄閩海素稱多士所望當仁古今人物不殊蔟林典禮有在某正氣無撓一節不移玄解徹乎法源機動渾然天造早入圓應之室氣食萬牛晚登佛智之門敵驚脫兔十載屏陰之榻諸方席上之珍玉立清標如眾峯之繞天柱瀾翻肆辯若萬波之歸滄溟雖公論係乎此行而吾黨惜其遠去明日千里若人兮舟丘赤城落葉空山知音者陽春白雪尚煩書疏以固宗盟

靈一源住鳳山資福寺杭諸山疏

丞相銓衡至公蔟林且評有在而法道非古人物幾何聯舉三名每愧薰蕕之同器幸中一善始別玉石之殊科故詢眾之言常多異辭獨公之出大尉同志某學臻先哲德重宗門惟卓識之不群矧師承之有自凌霄峯頂如帝釋六欲天獨尊薜荔椿頭見蟠桃三千年一實[(厂@((既-无)-日+口))*頁]象阜之高風莫挽豈禺泉之芳澤無窮和王忠不謀身九原可作破菴位弗稱德五世其昌從此入室外堂于以考鐘代鼓鳳皇鳴矣梧桐生矣式歌招隱以同歸曉狷驚兮蕙帳空兮雖欲移文而安敢

有子有住本覺寺杭諸山疏

眷昔天然之門惟一翁不展其用有若破菴之後待無準以起其宗揆之人事則一弛一張求諸天道則有施有報故我之屬望不淺而公之責任非輕某機如轉凡偈成翻水從分座中川風月已眼空四海象龍雖云永嘉城中衣錦行晝未若蓮華峯下萬衲趨風譬歷嶮巇以至坦途去其枝葉而存真實詞源袞袞家法得楊岐黃龍筆勢翩翩承詔入鴻臚白馬自爾鶚書之爭聘豈為鵜湖而來歸瞻彼南山願繼前人之芳躅會亍携李敢招諸君而莅盟

王藍田住栖賢寺杭諸山疏

藪林之盛稱江西固多耆宿廬山之勝甲天下况是名藍相望斗牛之間尚阻龍象之會某唱高白雪嚮絕黃鐘嚙齒穿齦喚睦州老擔板漢直鈎無餌笑長汀子掣風顛起先師已墜宗綱與古德有大緣契嶄嶄五老潛奔壑中之雷爛爛重瞳想見巖下之電外其堂而入其室在則人而亡則書遺德未忘猶九鼎之在雒吾子是賴若五山之戴鼇用輯同盟敢忘舊好

竺田住圓通杭諸山疏

諸師百氏各以所學相授受皆有常度獨禪者以見性為宗不假於物貴自得之然師之教人性不自顯則資之言有能言以發其性之妙者為尤難也惟我竺田禪師幽探理窟深契道真機迅奔雷辯傾河漢真吾道之木鐸宗門之禦侮吁自南嶽大寂而下倡道盛於江西逮宋末年始表大方於二淛今茲猶以得名師為重雖廬山之勝聞于天下圓通又山中望剎而吳越之人咸謂不宜久淹我師德人垂化無遠邇豈獨私於鄉閭哉眷眷景慕尚遲來歸惟目送學者裹糧西上思飡法味神想飛越緝詞脩好尚愧不文

楓橋泰天與遷龍興天寧杭諸山疏

潛子著書不羨紫衣之貴萬回歸里寧為錦袍之榮盖其有功宗門所以示旌吾道矧茲外護益用褒賢至若天宇禪師纂述百家何翅汗牛充棟追還太古寧須剖斗折衡山林共仰於清風緇素久聞於道譽姑藠城外寒山寺正好題詩徐孺宅前湖水東誰歟招隱千里而歸當遂予志一飯必祝思報　國恩

瑛石室住昌國州隆教寺杭諸山疏

五百世神山開天機莫測三千歲蟠桃熟時至自然慈明住山非偶欲之白雲出世不為早也某氣貫金石行通神明學去浮辭密窺潛子之室文成實錄無愧道公之孫既得兔以忘[罩-卓+帝]若過關而棹臂共詐吳中獨步何如海上橫行餘子爭先不如一士之諤諤尺書脩好能傳千里之忞忞尚念吾宗克昌末運

徑山首座照了堂住龍興旌忠杭諸山疏

恭審了堂禪師膺行宣政院公選住持龍興旌忠禪寺咸謂禪師道在四方喜其出世而惜其遠去作疏以寫繾綣云

故家喬木有南渡忠臣之祠舟嶂白雲惟西山亮公之隱信東南之絪勝與衡廬而爭高某襟度淵凝儀形山立鞭笞龍象橫揮三尺黑蚖噫欠風雲驚落千尋雪瀑式副先師之望豈為故鄉之榮生此寧馨兒不減偽山之有寂子奪我善知識其如吳人之思本公固知一衲隨緣奈爾諸方爭聘凌霄千七百眾躡屩以從江西八十四人望塵而拜尚馮尺素以寫永懷

了堂住旌忠山門疏

除道以迎喜有神物護舟航而至下車而揖寧無邦君負弩失前驅豈惟閭里之榮寔係蔡林之重其顯譽藉甚高風凜然疑超萬卷重來道契隰州古

佛得馬簸箕用處機挫一國之師若孤鶴鳴于九皐而老驥志在千里將為大雲以雨六合可使德原而高五峯鳥有鳳獸有麟共瞻儀表山為礪何為帶益固宗盟

淨慈首座古鏡堂住天目大覺

文正請古公開堂蔡林增重九峯為大覺作疏華衮非榮惟茲寺之肇興與嘉名而適合某化機密運妙[堊*斤]無痕藏天壤於一笻瀉波瀾於千偈間房古寺儼陳尊宿之風規得座披衣奪王老師之機用燕爵豈知鴻鵠駑駘空羨驊騮誦佛語傳佛心名實相稱出天台入天目人境俱奇遐想高標願聞極倡

穎中山住天平杭諸山疏

平江天平寺乃宋宰相范忠宣公繼其父文正公之志依祖塚義莊之間創仁祠請於朝賜雒曰天平白雲禪寺東坡蕘公薦浮山遠公開山近時得古林斷江無言諸老相繼住持而大方莫與杭衡矣比者虛席數載行宣政院公選徑山寺書記中山穎公出世補處眾謂自公舉道癈所至妄庸竊據獨天平得不污辱喜中山之出為得其所作疏以慶白雲孤飛想見此老之志九原可作願從斯人之游眷茲泉石肇創仁祠至今草木猶存遺愛蔚為望剎代有名流某慧朗親[歹*系]圓鑑嫡嗣得之語默不及用之文采全彰垂三語立三關如見西河師子擬九流作九帶不減紫石野人諸君收斂波瀾避子出一頭地譬之武事何翅十萬甲兵展也大成復見三千禮樂當慎此舉毋負遠期

瑞少曇住光嚴行院疏

履狶而知瘠肥是為良賈解牛而至旨緊始曰善庖故為政必先求賢而綱宗所以弘道某行無畦町志不磷緇籌室先登及見永明全盛龍門獨步其如妙喜南遷與其傲睨太白之顛孰若尚羊西丘之上疑塵一榻儼如千眾之臨盖頭把茅自作萬間之庇期光法運仰祝帝齡

唯一巖住安吉常樂院疏

切謂古之有道人皆師之不聞有住持也自百丈立蔡林師道益尊制度大備下迨末流黨競勢奪而傳道為虛文矣猶時得一人焉當其名位則學者顒顒然望之吁善人之不多見也有若一巖禪師久著道譽雅有典刑堅臥一室訖若雲峯而湖之諸山以安吉常樂院延居之具呈行宣政院劄下敦

請開堂學者尚謂蕞爾之寺不足以屈高風有揚於眾曰風穴單丁草屋藥山三篾束腰皆任宗門九鼎之奇彼非其人則萬間之廣猶傭居也千眾之多猶閧市也又孰得而有之所存在我何羨何人於是相率具疏排闥以請伏望垂慈俯徇眾望

報國寧晉翁住天封諸山疏

骨挫入錢唐濯足蓬萊清淺高菴居華頂矯首龍象駿奔蔟林以去留為重輕法道以行藏占盛替某河漢無極山嶽不騫絕類督黃牙翁何曾用黑豆法八九雲夢曾不芥蒂君其過之四百甲子尚辱泥塗予之咎也天將佚之以老山亦與之俱高以一身當三千式承重寄行百里半九十方戒長途傾倒平生想見風采

能仁逸日休住保寧諸山疏

養花如養賢少日已稱才絀學書兼學劒白頭空有藝成可無儋石之儲幸鬻千金之帚某飛鳶擢秀威鳳來儀南有雪峯北有趙州接踵可追大父大兒文舉小兒德祖聯裾况得二難風生翠嶺之曾臺月出青溪之九曲嘯歌荅響來徃風流舞鰷鱨而號狐狸其技有盡侶魚蝦而友麋鹿與物無疵願孫先登未容虛左

周南翁住集慶能仁捴管府疏

法無取舍用貴臨機時有循環心存應物故明珠不避濁水而達士寧守一隅某一節自高纖塵不立人物眇然式瞻儀軌蔟林徃矣幸有典刑俯徇迷情尉茲傾企

蕪湖吉祥香東陵住清凉江湖疏

佛法過新羅無復故家龍象風流出江左爭看墮地驊騮眾山居頂者尊中峯五世始大某懷瑾弗售韜光愈明胸次隘亍八荒江山有此姑孰愛黃太史家無甑石我輩同流笑廖胡子智如滑稽先師語拙眾皆輕家雞愛野雉吾獨從赤豹驅文狸長城有虎踞龍蟠今日政須勍敵諸郎若牛繼馬後此行不可清談高歌白雲在天眾望晴月生嶺右[壹-豆+((眷-人+卜)-日+呆)]鞬左鞭弭以與周旋我戴笠君乘車毋忘上下

淵萬宗住龍山山門疏

水平而器取則理之至公霜降而鐘始鳴氣之相感孰云人欲克合天時某早化龍門親探虎穴虛橫榻以迎潛子突不暇黔著間房而處南堂酒無深巷信山川之有待或禮樂其可興范則冠蟬有綏資以為用牛服重馬追遠戾之則乖勝幢來歸考鐘胥慶

古林住江心行宣政院踈

學者求師眾星仰維北之斗宗門得士迷途逢指南之車所任非輕孰圖其弊某機先脫穎語外無玄大鵬展翅九霄神駒墮地千里經歸藏禪歸海於我何加統有宗會有元使物自化不圖松源西丘之道復行全吳東楚之間既能率彼殊方獨不念其故里曹溪只一宿覺孰先焉孰後焉中川為萬[泳-永+(瓜-丶)]宗或源也或委也幸作興其法社庶無負於聖朝

愚如菴住仰山行宣政院踈

[几@(丶/丶)]注巧而金注[民/月]重外惑內割刀用而鸞刀貴返古還淳以無心物自應之以有德人所慕也某圓照嫡裔惠朗克家豫章真不世材青穜本吾家物貝多重讀無古今唐梵之殊舊夢再圓見兄弟父子之盛自昔江西法窟豈無海內名流夷之清惠之和庶曰兼善器惟新入惟舊方見老成幸副輿情敢忘外護

恩斷江住開元行院踈

作新為政如弊弦解而更張遴選得人若利刃游乎旨綮可以礪世磨鈍亦曰激濁揚清某雲漢光華冰雪肺腑此菴家世有二難接武吳中古德風規比三一同時越上庶幾投枕而起寧無擊鉢而歌才名四十年深愧相知之晚文字五千卷願聞一語之玄仰荅　鴻休丕承　景命

誠古心住仰山杭諸山踈

茲以行宣政院踈請前智者古心誠公住持江西仰山禪寺法道得人緝詞奉賀

魔說肆行孰謂法城之固眾生可度誰憐苦海之深故扶顛持危必求宗匠而極迷援溺不倦慈航或遯跡不以為高倘徇緣未能免俗進退有禮出處無恒某早歷西江新承大仰撫龕而慟如月菴傳開福之衣展像如生非投子受大陽之履三十年後不妨疑著百萬眾前豈可欺哉此行不為鄉情要决未了公案拭目盛舉有光齊盟潯陽向上不通潮空煩延佇凌霄峯頭挹南嶽尚接嗣音

悅南楚住妙果

緊昔我祖肇置宏規惠我後之人尚克繼之拾掇墜緒亦曰殆哉矧聞綱宗解紐黨競胥讒判大道為溝塹倚筆舌相捍禦甚無謂也某學博通宗材全兼濟堪承重寄允協人謀天之生材必需其用又士有為何恤於勤幸速光賁勿循捄謙

〇〇〇住顯慈杭諸山疏(私村曰此何人哉偶忘名乎字漫滅乎)

淳熙執政有遺愛於桐鄉諾菴老禪爰開基於祇樹故今茲蔚為望剎惟繼者代不乏賢某入廬嶽種白蓮想見風采從梵僧談貝葉不改唐言非求肖子車之猳耻虐寵懿公之鶴耽源得體溈山得用較寂子猶涉兩岐三聖太孤大覺太奢惟興化果於獨斷偉哉義讓可變攘搶取一人拔其尤彈冠胥慶行百里自此始膏車相從

仙竺堂住興善諸山疏

翠駁追風須造父王良之御龍光射斗必于將莫耶之精故藏諸用而顯諸仁欲善其事必利其器某久稱過量克荷此宗多智如遠錄公應機合轍豁達似端師子與世同波惟思援手以出泥塗豈曰衣錦而耀閭里滄海遠連地脉寒巖忽散天華少佇盤旋自擬栖梧之鳳未能造請空慚遶屋之鳥尚挹玄風如法味

來竺源住翠巖行宣政院疏

名山大川久嚮江西法窟耆師宿德能弘濟北正宗荷負匪輕擇賢惟謹某透三關語悟劈箭機笑大寧唑舩頭點胸自許喚睦州擔片板直視無前蔡林已播嘉聲四海願聞絁倡焚迦葉衣碎維摩座方稱全提挹浮丘袂拍洪厓肩更看獨步廣宣玄化仰荅聖恩

鄹東山住江陰悟空行宣政院疏

風雨震凌安得萬間廣廈河流奔潰孰為千里長堤故我授命而綱宗俾爾擇師而唱道其亹亹高論落落玄機五髻峯頭知子得其三昧矣靈山會上謂吾曾轉法輪耶四眾久仰提綱諸天亦為推轂舟山繞座春生錦步障中優鉢吹香天近旃檀塔表法說眾中第一嵩呼萬歲者三

明雪窓住圓覺江湖疏

佛印據座以迎僧統特彰佛法之尊雲菴踵門而見舒王發明圓覺之義千載高風未泯一時此話重行某逸思颼馳玄機電擊陶埏萬類回筆下之陽春糠粃九流洞胸中之水鏡願睹曇華現瑞何妨鉏斧住山譬若永嘉一宿而歸不減神光三拜而起燕山雪華大如席馬駿空群江南野水碧於天鷗間似我相期歲晚毋負平生

定空山住瑞光

懷哉祖庭曾容五百龍象至今窣堵如覩萬丈虹蜺當有變葉優曇重現五濁惡世某羨玉醞藉神珠渾圓華雨飄空久住雙峩峯下法雷震地更看瑞相堂前况義足以感人而才長於應變故茲盛舉僉曰當仁土山焦而金石流願沾沛澤洞庭波兮木葉下吾欲問津

觀遠山住四明佛巖江湖疏

駿骨市千金貴得驊騮之至舟鳳引九子如矜羽翮之新方嗟作者篾然此舉過人遠甚某操履有素應用無方入室橫趨犀牛兒不妨話墮逢人則出睡虎子終有醒時松風奏萬壑笙竽華雨被三巖錦繡歡傳明社光耀里閭起遺佚於海濱莫酬素願想高標於霞上足尉同盟

宣無言住鳳山資福行院疏

佛祖正續不是無禪只是無師銓衡至公若能選官必能選佛故茲禺泉之虛席博求四海之名流某師承有宗辨說無礙挺挺七閩之秀堂堂萬夫之雄毳衲來歸已見眾水赴壑白雲高臥不羨群飛刺天的為破菴之孫力弘臨濟之道鳳翔千仞覽德輝而下之鯤化南溟搏扶搖而上者繄我外護亦用有光

如一溪住淅江萬壽江湖疏

金剛寶劒孰敢嬰鋒佛祖鉗鎚誰窺妙密曠古獨步舉世罕逢某一代典刑諸方標格道菴堅欲絕世亦循時宜妙喜誓不住山終從眾望我既協心削牘公何高枕閉關鷗鷺湖邊不阻南山携手魚龍江上相期東海觀瀾混跡塵囂光輝我輩

[(留-田)-刀+卩]無文住高亭

善材之參德雲別峯相見大覺之慕晉水航海而來然弘法必待其人亦〇師求於弟子匪曰徃教貴要垂慈某化洽三吳學該百氏守道以默何資具葉之煩縱辯不窮爰得襍華之富睠茲高亭之勝地昔為名德之幽栖寒巖枯木之春吹回陽燄青山死灰之色重復光輝久佇傾誠毋勞固讓

潔瑩中住台州澄心諸山疏

一市必立之平察其有偽尺箠日取其半計之無窮故學有指歸而師無妄授某佛鑑四世圓應克家解猛虎頷下金鈴力空群穴放紫籜峯頭銕鷂氣無諸方然時至必觀其機或道隱則藏諸用重來京邑無免葵燕麦之悲東望海峯有虎錫龍盂之盛信坎止流行自若惟出游歸隱皆然竹有筠松有心式堅晚操山如礪河如帶益固宗盟

玉薀中住道吾

湘潭諸山想見古道顏色荊楚遺俗猶聞先德風規然道在得於人豈今之不如昔某大朴天巧淵默雷聲不謬傳衣源出天池之[泳-永+(瓜-丶)]嘗聞說法嗣翻佛海之波屬茲授命以綱宗方爾擇賢而輔教千里之馬常有愧無識真百足之虫不僵幸相扶植金湯吾道膏沐聖恩

澤天泉住昌國普慈諸山疏

大覺還山特下皇祐之詔萬回歸里爰錫昭陵之袍法門幸際明時吾子新承寵命某藏辯於訥用智以愚一擊金槌綱維百萬之眾再轉龍藏粗糠三千之文不有萬里壯游曷展平生大志江北之橘為枳無變本根安期之棗如瓜難忘故土放歌乎海上歸來兮山中邦君負弩前驅瞻望風采同黨捧盤以進願執宗盟請從祝規以求終譽

珍叔蘊住象山寺慈江湖疏

悅公之交積翠取友必端寂音之嗣雲菴離師非早千載有光僧傳一門不墜家聲某樂也一夔器之四璉受經問道後先皆一國之師縱辯非窮出處皆百世之士正喜西湖勝集茲惟東海壯游江西法道如何梅子熟也濟北陰凉有待葛藟藟之爾祖有靈後生可畏愍吾徒之今日主宗盟者何人內不避親外不避讎敢廢公論後能令軒前能令輊少助飛騰

芝〇〇住四明

人材難知鼠璞未分真偽物論既定錙銖無隱重輕矧法道有關盛衰宜且評不妄許可某養銳以鈍處晦而光既多應世之材自合為人而出雲中五老先師而目猶存海上四明古德機緣有在方期汗漫不負提持吹噓久服於友朋出處况同於里閈水之黃河山之泰華仰止其高西有長康東有[(石*又)/石]明輝於光燄

珠龍淵住碧雲行院疏

七閩知識有巖頭雪峯赫如果日臨濟法道至首山風穴危若縣絲聞吾子出於七閩家系出於臨濟矧我外護授命綱宗廣搜遺佚於蔟林爰有碧雲之虛席恪遵令典以三名而鬮之適中佳名如六博之梟也吾不私子僉曰得人某行脩諸身丈著於外正喜筆端三昧何妨[月*(匋-山+止)]次九流卞和璞玉荊山鄙其自售罔象得珠赤水出自無心尚邁前脩以求終譽

金衡山住淨社杭諸山疏

蘿陰高臥爰歸東海之濱蓮社遺風追儗匡山之下飛錫知憐邑子前驅豈羨邦君某壯志不羈玄樞獨運奪猛虎口中食豈曰不能得驪龍頷下珠非遭其睡自愛松風度曲無端菜葉隨流鵬鷃天游鳶魚物化丁丁伐木期與子而偕行燁燁紫芝若有人兮招隱聘士有鄭莊置驛閎人如秦卒踐更山川阻脩惟戮力合從如約甌吳相望未同盟以告則書

楷不模住越之延慶杭諸山疏

念念諸佛出世誰為優曇鉢華人人萬德莊嚴不貴甄叔迦寶即是開堂演法何須特地提綱某教喜觀機心存利物味均法乳無分山外山家辯劇連環旨讓僧肇僧叡光啟四明之奧力弘天巖之宗禪不知教教不知禪皆非究竟水即是波波即是水胡有異同剖破藩籬交脩隣好雖曰山川脩阻可無書疏往來

宣政院奏改中天竺為天曆萬壽永祚禪寺請如一溪住持疏

眷此寶坊五竺烟雲維舊欽承奎翰九天雨露方新必擇名師以鎮法席某行解相應宗說俱通拈來拍板門槌拋却金圈粟棘全賓全主不妨彌勒分身難弟難兄無忝妙喜六世當思大法為重勿以小節自高矧曰蔺在帝心于以丕揚　明命千歲巖前枯木又見華開西湖雪後諸峯相看玉立衍天曆之萬壽對嵩嶽以三呼

曇芳和尚住往山集慶諸山疏(有序)

廣慈圓悟大禪師曇芳和尚謝事鐘山居東菴之明年行宣政院以徑山禪寺缺住持從例舉三名鬮拈而師榮中疏命遠臨師猶將固讓有唱於眾曰師居鍾山二十年全盛而恬退於義為高今宣政使由省臺重望極治教門以徑山為江南五山第一剎首選碩德作興之於宗教為重義不當辭天師志乃决於是諸山緝其詞而具疏以請

昔仁廟賜大覺還山樂其嘉遯後魏公起妙喜出世志在匡宗時之出處不同道之隆污所繫某德高一代行配古人蒙恩兩朝不減大覺之於仁廟受知賢相亦猶妙喜之於魏公隨身覩史夜摩稱性法喜禪悅用古刀尺裁為五采之章提破沙盆儗和九成之奏兼有金陵錢唐之佳麗如見泰山黃河之高深大士擘開鏡容孰真孰幻國師緘回圓相非異非同[冗-几+目]作魚鴈之浮沈宜與雲龍而上下

了即休住金山集慶諸山疏

昔者師以傳道不必有位而尊雖巖穴春[烈-列+(爨-(大/火))]不屑也及百丈創規始位其師以尊其道厥後寺以寢廣而官設之師因時之義焉比者金山虛席行宣政院起鸛林即休禪師主之先時楚越以名山爭聘師皆不就及茲猶力辭蓋時之奔競議者咸以進用為汙靖退為潔而審夫傳道而擇良師猶為治以求循吏以擇非其人而盡棄其師是惡吏贓貪欲悉廢其吏可乎惟出處合乎道而無競於時則盧扁不獻伎於無疾易牙不夸味於辟穀為可知也若師行高古人德尊一代千礎萬指非有樂其安榮枯木寒巖何足羨其高遁冀力弘斯道無負學者之依歸耳

依無住住台州慶善杭諸山疏(有序)

伏覩丞相領院事以三名鬮選住持賄賂不行善類吐氣而諸山取妄庸竄名其間拈雖公而舉不公惜哉比者台州路黃巖州慶善禪寺拈中徑山藏主無住依公眾歡公謂得人夫慶善非巨剎又僻居東海上豈足以賀以善人之不盡用而無住為蔡林士也雖未足行志差亦自尉耳故草疏以抒其意云

道貴明宗以驗夫脩證之實不則肆為荒誕流為怪譎若外道六師小有成就無足取也故學有擇其師師在通其宗而後不悖於道矣若無住禪師者學有指歸理探玄奧摳衣入室親承一國之師偃鼓搴旗足任萬夫之敵茲焉出世所賴匡宗江漢始於濫觴相期遠到丘陵虧乎覆簣勿棄前功珍重此行屬厥所望

逸休毗住越之天華寺疏(有序)

切謂古有道之士從而師之厥後命于官而道已際矣猶幸有官君子賢明若范文正趙清獻之於古公辨才者則吾宗是賴比數十年來貨鬻勢奪而寺益虛耗夫以吾徒之蕃寺之廣不啻若巨府使一妄男子竊取之而入孰不璽[糸*系]於我也泰定改元天子即位以銀青榮祿大夫江淛行省左承相領行宣政院事建明公選之道令下之日吾徒以手加額以祝以頌行之期月宿贓老饕莫敢肆志不謂邇者稼蟊醢蚋自為戕蠹諸山以好惡樹黨於外小胥抱文案責賂遲速惟命喜則旬日立上否則淹匿踰歲時至疏駁數四不已杭之諸山俛首坐其下以避嫌又懼聽者不之察故畏慎惟謹噤不發一語然於宗教何如哉歲丁卯越諸山以天華禪寺久缺其主舉三名呈上五月廿五日使院官公會闔拈而藁之承天首座休毗逸公適中其選或謂天華一蕞爾寺休毗三十年禪林光輩若不相稱者宜勿徃或謂公選大行賢德退伏今幸進一善以掩群妄可無負相君而庶以解諸山之誚休毗宜無辭於是作疏列或者之辯以勸之云

素公耆年兜率稱諸孫而下拜小南新進照覺領萬指以出迎雖出處各有其時而激揚所以弘道某禪關宿將籌室先登諸方掉臂而過餘子望厓而却凌霄當時滿二千龍象爰整其綱雙峩用處有十萬甲兵我受其柄四海願聞雪曲十年歸隱雲門誰謂此行式符公論相君護教不啻佛法金湯老子休毗當念祖翁田地故此移久以聘少陳排闥之言塊視三山栖觀五湖豈蹄涔之可戀天雨四華地搖六震尉法筵之具瞻

疏

西竺僧荊門建寺化佛殿疏

荊門當楚蜀之交山川形勝佛舍合華竺之制天日照臨開壽域於八荒儼靈山之一會八十頃布金地式尉初心一莖草現瓊樓當逢敵手應身現宰官長者佛法付國王大臣信機感之冥通乃綱宗之有託望東土大乘根器遠涉流沙而來慕沃州古德風規不負買山而隱在在檀波羅密人人優鉢曇華何必萬間美哉輪美哉奐敢希一諾式如玉式如金

帝師殿化供具疏

元朝開國輿圖倍廣於漢唐九譯同文儀禮未脩於周孔蔦生輔治之大聖實為開教之法王大荒以西翻經自具多羅葉皇天之下瑞世如優曇鉢華几百官宣勑誥命之文與萬邦軍旅期會之事陰翊王度密[(天*天)/貝]

化基功在生民則共祀之傳及後世図敢違者吐辭為經舉足為法位居千佛之中博厚配地高明配天尊極一人之上
眷茲
南服之雄藩特按竺乾之遺制不豐不儉當如像設莊嚴載經載營盡是福田利益樂相告以善道期仰荅於　聖明

淨慈寺化經鐘二樓疏

龍宮秘典如金匱石室之藏堯氏造鐘儗清廟咸池之奏脩其禮必存其器增其制必廣其居清風五百間芙栄輪芙栄奐插架三萬軸式如玉式如金不從拾級而陞誰語斲輪之妙側耳風鈴之好語身到崇霄舉頭雲路之孤騫眼高四海必伐大木呼邪許安得此兄如孔方不日經營何時突兀攀天關守九虎凜凜于中乘雲車駕六龍穆穆在上

淨慈寺化五色裝千佛閣疏

毘盧法界非五色之裝嚴千佛同居有襍華之富貴稱此翬飛樓閣加之黼黻文章刻桷[舟-(白-日)]楹顛倒天吳紫鳳雕甍繡闥從驅赤豹文貍非為口角雌黃要辨眼頭緇素稛載歸垂橐徃寧論後報先施將綠遶送青來少助淡粧濃沫

化夏供疏

五漿先饋共瞻道德之光一飯不忘克盡報施之義矧為眾一如為己與食志曷若食功選佛得甲科何止三千禮樂心地收汙血有如十萬甲兵每食四簋不素餐兮錫我百朋永為好也

台州護聖寺僧刺血盡法華經化藏經疏

圖報佛恩欲捐軀而示勇誓求法寶故瀝血以告誠助發精進大心孰謂毀傷遺體增赤城[舟-(白-日)]丘之重取龍宮海藏之珍痛下針錐當舍指而觀月功成汗血須得兔以忘[罩-卓+帝]信知福滿河沙不如書寫半偈楮生毛穎願同歃血之盟海若山靈自有獻琛而至紫旃擅紅菡萏膏沐春光錦繡段金錯刀莊嚴法施

高麗惠因寺化脩造疏

玉岑拔地移來海上三韓金粟應身重現毘耶方丈眷此先世之遺澤願彰大覺之宏規非惟補弊支傾庶曰繼志述事山河扶繡戶將獻巧於雲梯日月轉朱闌爰建標於水臬猶資眾力以相成功皆海[(留-田)-刀+卩]之發光若帝珠之分照檀越踏毘盧頂上頓超三賢十聖之階善財入樓閣門中即是千佛一人之數恢廓化境涵濡恩波

長橋寺化脩造疏

開山祖焚目祈雨感觀音授以目復明朝廷為建寺
昔聞大旱金石流而土山焦爰感精誠天雲垂而海水立盡謂暴戾之何益獨徵曾目之重明有功生民在祀典猶脩其禮大德我祖而後人不葺其居[(厂@((既-无)-日+口))*頁]予心之何知視其頼而有泚塔鈴自語况多舶趠之風土偶相憐益甚瓢傾之雨尚想羌哉輪奐豈曰嗟乎權輿長橋臥波依舊虹蜺夭矯高岸為谷向來雨露淋漓敢圖逭責或庶幾[馬-(烈-列)+与]當見勇為而興起者使黃金同土價願希一語之仁得白壁照夜光不待立談之頃百堵皆作萬福攸同

徑山圓鑑菴化田疏

佛鑑禪師虛谷和尚出世表之大仰重興其寺後公舉遷杭之徑山於是吳越閩蜀高麗雲南之學者如水赴壑蔟林全盛至治二年四月十二日集眾詞色毅然書偈訣別而終前後住山四十年所得施利悉歸常住脩造餘以散於人故沒之日囊無宿儲幾不能葬其徒奉全身塔于寺之西峯昌蒲田築室曰圓鑑菴猶未完備而朝夕香鐙之奉與歲時節臘忌日供設之儀無所取具非蔟林所以待有道尊宿也而師之交游與參學滿四方聞之能不盡然于懷其徒某願持疏以告將買田以給香鐙節臘忌日之用而乞銘於大手筆立石圖久併刻所施者之名與所助若干於[石*旱]陰好義之士必有以成之
傳鐙白日堂堂一國之師埋玉黃泉惴惴百夫之特况窶壘之未備而祠設之弗嚴雖非古非今了三際於彈指然一生一死見百年之交情東南學者倀倀失依吳楚故人皇皇涕慕昔佛日為圓悟作忌在於宗門則當然其大仰為偽山設齋揆之典禮而不謬以二處皆師之過化視斯舉而人必樂從玄度再來昔日浮圖今如故藕公三過當時朝士已無多庶遇揮金之豪切比掛劒之義

常州崇勝寺化脩造疏

隨司徒陳世威臨終囑其夫人舍所居為杜業寺後改弘業宋改為崇勝寺居毘陵城中首最弘麗至元丙子焚蕩俱盡更四十餘年僅作法堂三門而眾屋未備茲欲重建大佛寶殿僧堂庫院兩廊復還舊觀所集殊利上祝聖壽為民祈福而力不逮持疏徧于富貴長者大心檁那伏望樂施所獲福報不可思議

司徒故居尚想凜然生氣杜業古寺誰憐蔀爾荒墟雖國初焚蕩之餘更聖化涵濡之久山川有待龍虎重歸城郭是兮人民非誰能吊古大廈成而燕爵賀吾欲圖新爰開選佛之場乃闢毘耶之室八十頃布金地處處皆給孤獨園一莖草現瓊樓人人具檀波羅蜜仰歌至化同享太平

鍾山脩造化疏

鑿昆明掃刼灰胡僧可問駕牛車出火宅諸子何知[(厂@((既-旡)-日+口))*頁]建立與盪除亦善巧之方便惟茲[皮-(丨/又)+(王/巳)]熘堅我願輪山人去兮猿驚嗟千衲之雲散大廈成而燕賀儼萬礎之星羅插莖草建精藍盡大地皆檀越鏡容大士照臨寂定之中白水真人願備使令于下萬緣成就眾口吹噓

廬山東林寺化疏

本寺乃東晉遠公法師同十八高賢種蓮結社之地宋元豐間陞于禪寺以照覺總公居之蘇東坡張天覺嘗問道其中若樓殿之偉雄安眾之多為江西第一蔡林延祐七年九月罹回祿之變今欲重建造大佛寶殿法堂寢堂方丈僧堂厨庫旃檀林淨土院山門兩廊眾屋莊嚴佛像鑄造法器鐘磬供具種種佛事所集鴻因上祝聖壽萬安次為庶民祈福而所費不貲非大心檀越乘大願輪而來者未易成就持疏于王公貴人長者居士蓮社高德或一力成就或隨喜發心功德平等福報不可思議者

昔匡俗先生之隱廬山高哉自樓煩大士而來吾道東矣衣巖谷為錦繡飾土木為金珠宜神物之有歸豈畢方之能崇過盛必毀天宮六下而下取將舍舊圖新祝融回祿之相吾子看神運鬼輸而至有天造地設之奇沼面回波復見蓮華之漏空中擲筆猶傳貝葉之書雲錦九疊屏風樓閣四時華兩風旛動處插竿竹建精藍海[(留-田)-刀+卩]發光盡大地皆檀越皇極五福天子萬年

中天竺寺脩造化疏

東晉時中[(留-田)-刀+卩]土寶掌禪師東游震旦[戶@友]止于此住世一千七十二年至唐咸亨中示寂由晉及唐所至名山隨時建立道場

在在可考事見僧寶傳而本寺為十方禪林古德安眾行道齒諸大剎朝省行香祈禱必造焉適罹奇運於泰定四年八月十八日回祿蕩為焦土然興復之役不容緩首建大殿法堂羅漢閣庫厨等屋次及三門華嚴閣經鐘樓諸天閣摩利支天殿僧堂眾寮方丈廊廡圖復舊觀上祝聖壽萬安為民祈福而力不迨謹持疏徧叩王臣宰官長者居士同道知識伏望樂施成此大緣所獲勝報豈易量哉

三天竺季孟之間賸有前朝遺躅千歲巖丙丁之變直疑古佛流光[(厂@((既-无)-日+口))*頁]消長之可量抑乘除之有數三車廣運誰云諸子失依刼燒蔓延幸是四禪不動要恢復名山舊觀盍旁搜大澤長材豈今時乏柳子厚文章為作梓人之傳盖大地是王老師檀越宜崇祇樹之園天道好還人心不遠聯珠疊璧緬懷飛鳥驚蛇禪板蒲團復見羅龍打鳳宏開壽域丕贊皇圖

虎跑寺素祖師像化疏

童子泉頭昔有能馴之虎丈人屋上皆為可愛之烏猶能氣壓諸方尚想神交千載說得一丈行得一尺眷明訓之可忘禮義三百威儀三千仰宏規之不墜有望塵而拜者合搆堂而祠焉南雪峯北趙州孰非吾友死諸葛生仲達想見其人百世高風千金遺像爰求好義之士相厥成功庶幾吾祖之靈報以多福

蜀僧琦老化藏經歸蜀疏

立言垂教揭杲日麗中天契理會眾决百川朝巨海在彼聖凡之同得孰云華梵之靡通擁白馬度流沙以一身任九鼎之重登黃牛望三峽表吾心為百鍊之剛照然大法以啟後人懷哉遺愛敢忘吾土步障春迷華雨命馮夷擊鼓而趨滄江夜燭長虹使真宰訢天而泣為法檀度作世楷模得一言折乎要衝則萬卷束之高閣山為礪河為帶立千年不賞成功車同軌書同文通萬里何煩重譯金輪統御寶藏出興

奉　勅重脩百丈清規疏語

聖節啟散二疏

覆燾無私乾坤孰測其高厚照臨有赫日月莫喻其光華知贊仰之徒勞欲補報而無極惟託鈞陶之內義重四恩故竭忠愛之心虔恭三祝斗樞電繞龍象筵開帝網百億山河咸歸　聖量華藏三千世界益衍丕圖少盡涓埃匪懈朝夕欽願夔龍登用景星耀而泰階平麟鳳呈祥聖人作而萬物睹

優鉢羅華瑞世同佛降生閻浮提樹連陰與天齊壽故毓夙成之睿質克承丕顯之聖謨大哉元至哉元體元居正會其極歸其極建極立中爰以吾道之大同有裨聖時之至治山林鐘鼓樂化日之舒長草木昆虫被膏澤之滲漉祥開震夙頌祝華封欽願垂拱無為天地位而萬物育鈞陶有象陰陽理而四時平壽考萬年本支百世

祈晴

淫雨為戾物用不成百川橫流民無寧處盖眾生共業所感惟上天覆燾無私伏願掃頑雲於四野陰沴潛消麗果日於中天容光必照俾五行各順其序而萬彙悉遂其生

祈雨

亢陽為炎百物就槁匪上天之降罰由下民之多愆惟諸佛開慈悲之門而神呪有祈禳之應伏願極生靈於塗炭厥維艱哉起雲龍於山川俾霶[雨/沱]矣庶茲多稼乃亦有秋

祈雪

時冬恒溫恐生物之疵癘維天降雪淨下土之祲氣庸致辨香之誠願集六華之瑞伏願同雲千里潤澤八荒六府三事用脩草木咸若二氣五行順序神人以和

遣蝗

飛蝗[廾/敞]天惟亟荒之可慮遺孽入地恐滋蔓之難圖匪假神功之驅除雖極人力而冈措伏願滌之風雨掃種類以無遺投之江河隨業感而自化民安其業物遂其生

日食

此日而食占五紀之或乖畏天之威虞六沴之將作故徇民情而救護盍依佛力以禱禳伏願五色開而黃道明照臨下土群陰消而陽德盛昭回天下

月食

月輝陰精而主夜所賴照臨天示咎徵亍下民於焉薄食既戒既懼以禱以禳伏願妖蟇滅跡清光現大地山河[(厂@((既-无)-日+口))*頁]免長生萬象納廣寒宮殿

佛降誕疏

大海湛然獨聽潮音之震蕩太虛廓爾惟瞻景緯之橫陳由本大而跡彰抑時至而機應俾群靈咸成正覺從五濁示現降生脫珍服著垢衣委身以徇舍化城各寶所携手同歸初度重臨大恩莫報伏願扇真風於未世揭慧日於中天無佛無魔法法宣揚玉偈非垢非淨塵塵灌沐金軀

佛成道疏

無量刼來成佛豈假進脩眾生日用不知示以先覺覺自覺它而成覺道世出世間而稱世尊闡一代之化儀遵先佛之遺軌坐菩提樹魔宮隱而無光現優鉢華法輪熾然常轉故始喻初日之先照而未示拈華之正傳圓極真常則空有俱亡聖凡夢幻埏埴萬化則今古一瞬天地豪芒[(厂@((既-无)-日+口))*頁]未裔之何知誦遺言而有惕伏願色空明暗咸宣微妙法音蠢動含靈共證智慧德相

佛涅盤疏

各赴群機法華之囑累受記力制後學遺教之扶律談常矧拈華得旨付法正傳而落葉歸根畢吾能事囿於化者終於盡順世無常寓諸幻而返諸真是名寂滅然神珠恒照於濁垢而寶月不避於汙泥大定無方常住恒河沙刼圓機溥應示現千百億身[(厂@((既-无)-日+口))*頁]世相之難忘臨諱日而增[莫/水]伏願闢末流之邪見回季運之澆漓定慧兼脩長如正法住世天魔率化皆為外護宗綱

帝師涅盤疏

天啟有元蒿生輔治之大聖道尊無上實為宣文之法王密賛化基陰翊王度吐辭為經舉足為法位居千佛之中博厚配地高明配天尊極一人之上維茲聖忌益仰恩光伏願重駕願輪贊四海同文之治化眷言像季振千古正法之宗綱

達磨忌疏

大哉正傳紹覺皇之宗裔廓然無聖破義學之膏肓百川到海迥絕異流果日麗天罄無側影指人心而成佛成佛同心契妙道以忘言忘言見道有大功於世教宜廣振於宗風現濁世優曇華實為鼻祖取神州大乘器盡入彀中適逢瘞履之辰爰効采蘩之薦伏願信衣表佛祖之重力任千均一華開天地之春芳聯萬世

百丈忌疏

一言為天下法中矩中規萬世知師道尊有綱有紀以蔟林禮樂之盛見法筵龍象之多華梵同文富儗石渠天祿經律相濟嚴如金科玉條有布武堂上之儀非綿蕞野外之禮即此用離此用語脫重玄出於機入於機理窮眾妙宜配禪祖以陪祀盍遵諱日而營齋伏願帝釋精進勝幢制諸魔外濟北陰凉大樹蔭滿閻浮

楞嚴會啓散二疏

金由淬礪之精其鋒莫挫鏡假鍊磨之營則照不昏故先聖顯抑揚之機為眾生破微細之惑摩登慶喜妙協冥權世尊文殊特彰化軌闡一代教觀則有觀有教示密因脩證而無證無脩明直見而息諸塵空華無蒂居正定以制群動止水不波[(厂@((既-无)-日+口))*頁]未裔之何知誦遺言而自警伏願促恒河沙刼為一念無間長期會十方剎土以同居咸成正覺眷此林園宛爾祇桓精舍現前海眾儼然一會靈山括大千於微塵融三際於當念屬休夏之自恣無犯無持捻萬象以交參孰凡孰聖人人妙覺剎剎毘盧示現千百億身超越五十七位以指喻指之非指指亦俱亡似空藏空而合空空寧可餉為憐幼穉特獎愚蒙遵遺教以受持賴安居之無障伏願奢摩寂靜具足諸塵勞門太用繁興等入首楞嚴定

景命日祝香

二月

元氣淋漓沛然雨澤之及物陽剛大壯虩若震雷之在天欽願祇承上帝遵王制躬耕藉田動合天時命義仲寅賓出日五行攸序萬壽無疆

四月

體備乾剛氣正純陽之月德含坤載時成生物之功欽願鸞輿啟行諭和叔而巡北陸舜琴在御阜民財而歌南風於穆萬年以介景福

五月

瑞氣致祥天地位而雨暘時若薰風長養陰陽和而品物咸彰欽願大哉元至哉元體元居正會其極歸其極建極立中壽考萬年本支百世

六月

乘運推移庚金伏而其氣應與時消長陽剛遁而其道享欽願雲漢昭回沛甘雨而蘇萬物天波浩蕩散清陰以蔭四方帝錫九疇民安壽域

八月

灝氣凌空覩天上優曇現瑞秋期應侯接月中桂子吹香伏願露肅金莖萬寶慶西成之富風清玉帳六龍旋北狩之巡懋對芳辰以介景福

十月

體備六陰稟朔方之正氣數盈十月慶萬寶之豐登欽願禋祀太室祖考格而神人和帝享南郊寒暑時而風雨節本支百世壽考萬年

十一月

氣塞而通天行周而萬物始陰極而復斗建子而一陽生欽願黃鐘應律祀南郊飲福受釐玉燭調元居玄堂履長納慶

十二月

天地感通陽剛盛進而交泰日月會次歲曆循環而更新欽願六龍在御沛九天雨露之恩八蜡告功集率土山川之慶本支百世壽考萬年

聖節祝香(四月十七日)

如優鉢曇華現瑞與佛同生似閻浮提樹垂陰與天齊壽望九重而祝頌先厥月以致齋欽願天數五地數五叶天地之太和春八千秋八千慶春秋之鼎盛

水陸齋疏

奏上文宗皇帝表

切以士貴知己况蒙萬乘所知義重報恩不以世禮効報期道契于死生之表接神游于形化之初欽惟文宗聖明元孝皇帝陛下妙得佛心生知聖哲攘群兇而復神器功邁中興尊元老而開奎章道隆文治念潛邸基命大業作佛宮永祚鴻釐順世無常奄棄臣民於下土入佛正定閟嚴神御於中天重念臣僧大訢學愧澄安道慚嵩璉承恩赴闕受命開山莫攀弓劒之哀號徒睹美墻而涕慕遵梁武啓金山之會大教是承對覺皇宣玉偈之文遺言不墜感召必通　精爽至誠可格于幽冥陛下欽願淨智妙圓證覺道而超十地大機普應現分身以濟群生

供佛智師疏

早承明訓妙萬化於鉗鎚密啓玄關投一機於針芥念漫堊之妙[堊*斤]痛遺音之絕絃法乳酬恩乏巴陵之三語泥龕舉手想東山之再來特脩冥福莊嚴少尉平生追悼伏願振玄風於不墜變業流芳續慧命於無窮千燈不夜

薦受業祖高峯雲和尚疏

垂髫就學恩隆伯父之親祝髮受經道繼師承之裔循頂踵以苟全活由卵翼而遂生成未二十而游方遠違于養冀萬一以知道不負所期後聞貧病闕湯藥之資因阻凶訟乏犬馬之報遽成永隔深病平生歎歲月之易更想音容而如在促無量刼以為一念不涉去來由有漏因而處六凡未明升墜然翳盡空華自滅如覺時夢境皆除不斷生死而證涅盤塵塵解脫橫截娑婆直登淨土法法圓成

薦參請師友疏

瞿曇宿因舍身而求半偈善財問法跋足以歷百城惟百千法門之甚深非一二師友之能盡故出四方而參訪多蒙諸老之激揚會百川而朝宗[泳-永+(瓜-丶)]無彼此釀眾華以為蜜味純中邊相須以成敢忘所自庸陳薄供用報所知伏願龍象筵中常宣第一義諦師子座上交參百萬人天處處現優曇華世世為善知識

薦徒第行宥知津等疏

吾忝汝師不克訓之以道汝任吾事而能効其所勞歷渴飢寒暑之三周疲徃返道途於萬里請朝命而蠲差稅寺賴以安築湖蕩而成膏腴眾食其惠以德積可占其器而年壯遽殞其軀念形氣之無常人皆有死由勞役而速斃汝實為冤驗今作而知來因宜先施而獲後報四祖傳法期栽松道者重來歸宗前身記白蓮莊上相別惟一靈真性不昧則眾生諸佛本同而死生有間於幽明其神識未知於升墜仗茲法力用薦清魂已生人天增長福果未離業趣即出葢纏悟自性之弥陀了唯心之淨土

薦方外交疏

為法外護可追支許之遺風以道相忘尚憶鎩雷之結社俛仰已成陳迹死生乃見交情念舊凋零感吾衰莫因齋追悼冥福是資伏願八德池中早育聖胎於上品三生石上毋忘携手之重來

薦先考陳公疏

骨肉生於緣合恩愛相資形氣化而親離哀慟何益惟劬勞之冈極念補報以無由甫及七齡受命從釋遠違千里訪道尋師道既冈知將何諭親以道恩無能報敢曰割愛忘恩抱哀痛於終天積罪釁于厚地白頭有母織蒲歸養之未能青山敝[病-丙+(皮-(丨/又)+(王/田/皿))]牽蘿欲補而無及昔梁武興懷於愛敬而目連啓教於盂蘭博施宏慈併累刼它世而溥及大哀曠濟故四生六道以咸資用竭舟誠少酬素志伏願惟心自悟同弥陀登上品受生當體即真如那吒現本身說法

魂榜

一塵不立本無世界眾生諸法俱空寧有聖賢妙覺由豪釐之繫念隨業感以殊形如爝火不息而燎原譬濫觴積流而為海貪欲交蔽沉倫鬼趣之幽迷妄相生造成地獄之慘歷窮刼而積飢積渴以一日而萬死萬生不有大教之垂慈則使爾類皆淪棄新鬼大故鬼小空見於書七日戒三日齋唯存諸祭今說法以開汝真性復施食以濟汝飢虛一念知歸則洋銅為醍醐甘露稱心具足駕寶車乘樓閣香雲息爾塵勞入佛境界

保壽尼寺檀越菩薩戒尼大友揔持施財命工刊行此版伏願人人肅清慧目个个開悟靈心恩有報資怨親融接延文己亥春雲居比丘妙葩題

蒲室集

書問
與胡平章書(二)
與虞伯生學士書(三)
與易釋董阿平章書
與高納麟監司書
與高參政書(三)
與常道夫御史書
與薩迪大夫書
與忽都海牙右丞書
與左吉平章書
與吳問間真人書
與王叔能參議書
與趙仲穆書
與盧縣尹書

與趙伯寧司使書
與張司使書
與那海彥深僉事書
與□九成□□書
與韓伯高治書書
荅張雪峯司農書
與蘇伯脩參議書
與孔用道都事書
與忽都察揔管書
與普顏帖穆爾監司書
與杜清碧待制書
荅廖天與書
荅族弟陳宗南道士書
與友人共十四書
與元叟和尚書(三荅一)
與如一溪書
與妙國師書
與澄湛堂書
與恩斷江書
與明雪窓書
荅[石*(尸@工)]平石書
荅匡正宗書
荅愚如菴書
與宗可庭書
與寶雲盧老書
與果菴主書
與若季蘅書
與喆古智書
與受業師祖書
與印月江書
與有龍長老書
與福田僧書
與□□□書
荅真如舜長老書
荅慈化愈長老書
荅清泉海長老書
荅南山月長老書

書問

與胡平章書(二)

某姿性愚鈍分甘枯槁雖樂聞賢士大夫之風而未嘗有所趨謁不圖高明照察卑陋特蒙錄問去年金山接餘論者旬日竊觀德量汪然與物為春謙卑自持出於至誠惟恐一善之不聞以方今天下之大四方風俗之不同古今制度之沿革人材黜陟之當不庶政之所疑百司之所咨而談笑處之裕如也又不有其功歸善於長古之良相無以過此尚記鈞旨謂素志慕道思退隱而未能此固高識又氣養冲澹非富貴榮名所可動心然吾聞之吾師所謂道者即吾性之虛靈不昧日用不失之謂也不與生而存不與死而亡窮天地亘萬世而不磨者也人均有之而為物欲所蔽焉爾於是先哲教人於十二時中無絲豪間斷有一念萬年之說動靜常照寤寐一如及用工純熟則外而居官莅民內而應酬事物飲食男女是非紛擾聲音笑貌皆吾性之妙用所謂使得十二時辰者也若唐之顏真卿宋之富范皆慕佛參禪而不廢大臣之事斯可為法而曰看經禮佛布施作福者特助道之跡耳而道不在是也又曰草衣木食深山窮谷者此幽人高尚之志爾亦非所謂道也不肖雖淪棄林下於世無所用而樂與斯民為聖天子得賢相賀復思公篤於道恐有退志又懼泥於其跡而遺其大者故欲有以奉記適征東傳學提舉平江朱澤民入都因得上狀澤民清苦讀書善畫亦樂誦公之德而願望風采者也相望數千里臨風縣縣

某林下一衲無用於世猶叨濫住山隨眾俯仰無補宗教前年陪鈞從赴金山勝會旬日獲接清論辱顧獨厚微察德宇深沉志識高朗真宰相器也嘗讀古書得賢相於千載之上尚將彷彿其人詠歌盛德況目覩而身臨之乎別來三閱歲以外沉有間不敢問候起居今春行省郎中回伏領藤茶之惠緘問謙損若施與敵己者猶不敢當況微下乎受之驚悚不已自顧枯槁無一覬望猶喜大人君子出佐聖主行仁政薄海內外涵濡化育而莫知其力斯民幸甚而吾西方聖人之教窮神致化至於愚夫悍卒聞而畏惡遷善其陰翊王度不為無益流之末俗其跡則不能無弊無以跡之弊而棄其道猶無以稂莠而棄嘉穀也異力為匡護因本心學士北上敢布往斐

與虞伯生學士書

前冬京城得數造齋閣辱分供香積兼示法誨及歸又承緘寄先師塔銘其文之雄深簡古自可凌轢栿栿州至發揚吾道鉗槌妙密雖楊次公張無盡亦當避鋒縮手矣使門弟子輩若增其光榮感德何可忘也新寺二碑各高

三丈許大作想再奏聞莫審何日頒下寺中工作俱將畢諸牌額大字見刊但後殿素五方佛與天王殿摩哈剌殿東西過街樓未有書扁向岳住公回都魯列奏目必　命妙畫而胡久不發下也茲鄉親廖天與北上因得上狀天與家世傳者純蔫靜默與人交久愈不失其誠倘有以教之則受惠等也懷仰之久數年欲專遣一書奉問以事牽不果徃來中雖數接教示恐回者不的故不能奉荅為媿去夏危太朴來此知為况益詳自聞間居意謂築室問田有登山臨水之樂而四方之人以文字干瀆疲於應荅不殊在都之時亦猶淨名居毘耶城隨所求者悉令滿足大乘菩薩度生為急非小根小器沉著空寂者可同日而語也某居此十年求退未能又以奉旨賜田蠲稅而省部未得明文恐後人居之不安而致廢弛則責在開山者故遣徒留都三年只待文下則决於乞閒可操几杖而從公游矣聞有意入吳必取道金陵或不欲入城只鍾山崇因亦可盤桓數月先師塔銘向奉旨蒙大手發揮難令它人書之謹遣書記高德峯問候起居就求尊翰即圖鐫石庶為全美
去夏楊弘正御史令作書上瀆繼承教荅感媿無量舊臘又見荅弘正書尾畫陳江右海運則知室中佛天圍繞煆鍊大乘菩薩而憂民憂物之心未嘗少置上與諸佛同一圓證下與眾生同一悲濟所謂深入真俗不二法門也少白斷江恩公已夘秋談笑之間脫然而逝闍維設利齒牙不壞囊無所蓄諸山故舊助其營塔徒孫觀宙奉遺命徒跣走江西乞銘於大手筆不謂至金陵而疾作因其友徑山淨書記徃謁床下之便以狀託其代請且索羽言為价紹倘蒙念此老嘗辱游從方外之雅以法為施則江湖衲子均一感德

與易釋董阿平章書

某三生緣幸忝侍一載蒙庇甚多至今不敢忘德新寺建造其位置開闢材木堅壯制度精巧皆出規畫上合聖心歡動宮掖而下之工匠夫役皆感寬惠德澤在人子孫蒙福况以上年江東飢荒賑濟存活何止數十萬人陰功天相豈淺淺哉比喜營膺聖眷由臺入省東南重鎮仁政所及益廣聲望益重惟異不忘靈山付囑為佛法外護欲一到杭參賀以造起方急不敢暫離舊住中竺寺奉旨令淨慈西堂如一溪住持此僧禪林中有道名德幸望庇護謹奉狀呈不備

與高納麟監司書

某自去夏金陵餞別恰一載中間每蒙流問之及而不能奉一書問安好者懼瀆清嚴耳常念在錢唐時多感庇護來此又出榆揚之賜每恐不稱有累高朋也喜徃來者誦善政不輟口而江右為不肖故里何其幸耶然飢荒之餘勸分贓恤大勞神思活人千萬子孫當世享其報幸異終惠以懷仰不忘聞館驛中有公差書史回謹具狀附問他無所言惟恕察不宣

與高參政書(三)

別來將一載懷慕無已二月嘗奉狀計徹鈞覽凡自北來者皆蒙傳命下及碌碌何敢當此六月廿日百丈東陽法弟及愚徒歸稱道仁德之惠令人感入骨髓復恃仁愛敢陳稟瀆寺中上年官撥錢所置常住出於鈞畫所成其差稅已蒙行省欽依下路申及咨稟明降望矜念係　國朝特創又官錢所置明該與別寺不同難比續置何金宋舊寺獲免而　國朝官寺不免特未有發明之爾如蒙庇護回咨欽免為常住久遠之利以尉先皇願心而受終惠仰叩佛天以祈以報堇遣愚徒再徃于冒鈞嚴不勝戰悚秋漸涼為國自愛不備

備員官寺十年拙於應酬加之多疾日思求退以差稅未免故移文上下遣徒徃復而微蹤繫留者以此也七月初愚徒回及覩省部文下特與欽免差稅出於鈞造成就歡喜感戴非言可喻便欲辭去以償素志又念先皇聖忌將臨必展敬致祭以盡羹墻之思八月十二日蒲散藏經後即退居欽依元奉聖旨事意以五山為頭禪院杭州徑山寺元叟長老舉以自代移文集慶路申覆行宣政院隆祥使司今因蔣山僧入都公幹乞賜庇護均感恩造前帖木兒不華御史去嘗具狀上問所謂寺之常住與微蹤之退成始而成終皆相公之賜圖報之德泛齒無及

自揆匪材誤蒙舉擢備員官寺于茲十年常懼曠失貽玷明鑑年來復苦襄疾故於去秋辭閒遣徒奉狀于瀆鈞嚴借重鼎吕頤旨所司俯垂允聽近接隆祥使司咨文敬奉懿旨不許辭退令永遠住持感戴聖恩銘心刻骨然力薄任重恐致覆敗悔無及矣朝夕懼惕非敢虛誑十年之中所得茶湯錢布施銀錠添置田數十頃悉歸常住前歲又撥解庫使自營息以充眾僧齋粮本息分文無虧而妬害者眾議謗橫生盖巖穴野衲素居貧賤金銀財寶佛戒勿近況董朝廷庫藏官物宜禍之至如矢中的敢望鈞念與使司諸官言之乞照壽安山例以庫本置田可為常住求遠其本息又免移貸失陷而僧獲苟安少逃禍責尚徼終惠式保善後

與常道夫御史書

奉別二載緬想深造道妙神用超然直與楊大年張天覺杭衡於數百載之上良用歎羨自視碌碌名居物外而羈縻官寺與俗酬酢未能擺脫只增慙汗令嗣來辱書兼以唐碑墨本之惠劇感厚意且審錦還故鄉有過家上塚之榮所謂隨順世緣無諸障礙非過量人孰能知此相望益遠臨風悵然有便[母-(丶/丶)+丨]惜寄音尉方外之思春暄惟盡珍重理不具

與薩迪大夫書

去冬臺即去嘗上狀問候起居塵瀆鈞聽後愚徒回言感德惠如海之量容納百川如地之厚負載萬類朝廷倚之而鎮安百僚賴之而敬肅民樂其業物遂其生又能以佛為心廣布仁慈躋八荒於仁壽之域導斯民以無為之化宣揚正法護持教門而茲山尤蒙軫念固是推忠　　先朝不忘顧命然吾徒食息於此豈勝感懼惟勵精千道以禱以頌用人多福復遣愚徒為常住立千年久遠之計幸垂矜察以俟終惠

與忽都海牙右丞書

去夏秋臺即赴都屢嘗上狀計徹鈞覽舊冬喜聞出按江澥而賤軀以疾辭間公文申上不蒙允聽令為常住立定規式却許辭退然官寺新創官錢買田官司收米作數考較而令僧人當差為苦殊甚茲者奉旨開除惟望相公推念三年盖寺之勞先皇在天之靈昭昭然有知而諸佛菩薩自能洞鑒無以浮義而退願輪盖釋迦成佛尚有多魔惟大力量人百撓不折而為茲山久遠之計幸始終成全之

與左吉平章書

壬申之冬承鈞從頒香及降金帛看閱藏經宗教有光山川增重別來五載以微顯有間不敢問候起居惟切懷仰茲恃為法外護敢以山門公務冒瀆鈞聽官寺新創上年所買田土俱係官錢其收租米報官作數難同其它寺院既有金宋常住之外續置田粮自己管業納粮當差之比近因荅罕都事開讀護持本路具稅粮數目公文申上望推　潛宮羹墻之思為常住千年之計而先皇在天之靈睿鑑昭然以不忘靈山付囑也謹具狀呈于胃清嚴不勝戰慄不備

與吳間間真人書

前冬入京獲奉清誨東歸又辱餽賮感媿無已以迫工作未遑脩謝鎩捻管來承教示伏審以道輔時王侯趨風神觀超然動靜一如始信大力量人不以喧寂為拘而吾根器薄劣者少涉應[酉*(刀/(刀*刀))]便見窘敗正欲奉安問適鄉親廖天與教授偕羅浮山道士赴都且言願拜堂下因勤上狀彼得一瞻道德之光即平地登瀛州也春且盡惟善保愛不悉

與王叔能參議書

去夏聯日獲陪山行甚樂惜使旆早發追送東門不及累日怏怏也舊臘有府吏來辱寄頂山栗非惟風味不可忘而又有古人托物示訓之意是教我

以虔恭畏栗無時而不戒懼也懷哉德人如金如王近覩選目有天官之除丘以敬來言留維揚三月末方可行令嗣郎中必得信知安好非久有娛侍之期比喜也春暄惟為國自愛

與趙仲[禾*(白/(厂@久))]書

去年三月晦日承約過我及晚不至次日特出城相看會善之先生言足下以早絁江遂不得追餞為恨然喜徃來者誦善政日接于耳及石室千江來益得詳舉其事盖材智明敏守以廉慎一試初步便自設施如此況尊翁之交徧天下上之卿相下之閭巷識與不識莫不相慶謂趙氏有子為不已矣它日尚可量哉常記善之赴待制時尊翁囑之云儒與吏南與北分兩塗而我輩占其位者非大有才德之羙而持以小心畏慎不可也此語深有警策請重為足下誦之母以喋喋為怒也辱惠書併大字感不可當又見續先相所書維摩詰經真出一手諸公深識筆法者不能辨且聞畫益造神妙名當益重使為政之暇留心書史功名不足為也恃愛敢奉愚直若此幸恕察

與盧縣尹書

奉別數載而江寧之民懷思遺愛愈久而不忘也近知榮任南昌私竊喜幸吾鄉父老涵孺德化可以安於田野矣吾族世為儒數十年貧癈殆盡弟姪輩猶有稍知讀書力農為業幸皆愚朴無事煩官府舍弟季安來誦仁政之羙又云不敢望拜馬首但獲與舍人一識蒙以愛人及烏知感不已因其回堇奉狀上問夏熱惟珍重不備

與趙伯寧司使書

去春嘗奉狀計無不達厥後雖有臺即去而不以告故缺於修問然非敢踈慢想惟高度待山野不以世禮可相忘於形跡之外也比審擢典先皇祠祀祇虔禋禮視古秩宗益親而重山中以潛宮改創出自鈞畫成就刻之穹碑垂于永久獨以差稅累奉旨蠲除而未得省部明文如乙亥冬僧徒當差枷鏁累月盡以租入不償其費為苦不可言茲蒙鈞慈特為啓奏幸望矜念早得文下所謂成始而成終者也自今而後吾徒之食息于此者一飯必祝想見先皇在天之靈喜動玉色而靈山佛記願力無窮其降福公身亦無量也某居此十年奔馳勞悴如以多疾日思求去但以忝為開山住持若不能乘此機會蠲其差稅則後人决不能安處而致癈弛而罪在不肖今若辨此一事感盛德非言可喻

與張司使書

某備員官寺而從者典秩禋禮蒙受庇護多矣雖未奉瞻識然不勝感刻今春嘗欒僧徒各賦拙句少紓懷慕七月愚徒歸言道德意愈不敢忘差稅獲欽免出自[(天*天)/貝]成復喜擢任郊賦計惟以仁惠之心寓諸寬平明允之政則天下蒙其澤矣寺中計撥開除尤乞終惠謹附狀伸謝上瀆清嚴惟垂矜察不備

與那海彥深僉事書

去夏使舟扶護先大夫靈輿道過龍灣雖獲尉吊而儼然縗絰中莫展所懷繼聞畢舉襄奉起復臨政秋間又喪令子送骨長于聞者莫不嗟悼以盛德所鍾既孝且慈而罹此酷奈何奈何然宿因定業佛不能逃天數乘除世所誦論惟達觀明理委順大化如范文正早失純佑純粹終得純仁以世其家父子之緣自有先定公以貴胄而積善餘慶居官莅事明而能恕寬平仁厚造物者豈終憎憎哉辱書道其憂欝敢布此以相尉解微蹤匏繫永去未能臨風不勝懷戀不悉

與　九成　　書

去載嘗一再上狀計達鈞覽臺即南來傳道德意感佩無已又竊聆輿論謂元勛世家而謙退恬雅不異寒素才敏過人盖得向上一著操其大本故於臨官政應事物無非此心妙用也未下良晤惟切馳仰人便附問不悉

與韓伯高治書書

自揆踈拙又寄迹方外不敢通名於大人君子之側惟思待盡巖穴甘於淪棄以固守吾道是吾志也而縻身官寺乞退未能一事應[酉*(刀/(刀*刀))]便有齟齬其俯仰徃復又不得不爾伏念初自錢唐過此出於齒錄之餘前年使車南來叨陪累月別來愈增懷慕雖聞橫榻中臺以顯微有間無由上狀然寺為　潛邸改創密邇憲臺而不無望庇護也因愚徒留都囑其候見從者萬一承受約束致區區之誠幸甚

荅張雪峯司農書

數載乏端便不克奉呈問候鈞安惟劇懷仰去夏光復御史至奉接教帖及惠妙香慚懼無量舊冬愚徒回復領教示珍果之貺又與徒輩布施贖行厚惠盛德言感不盡及寺中諸事多蒙庇護盖由宿乘願輪現宰官身弘輔教法則吾徒惟有朝夕仰叩佛天用析福履少盡懷報之誠茲因光復回堇具狀上復

與藒伯脩參議書

徃年金陵進獲瞻識常恨不能欵密以展德慕然每於高文傑作中優柔饜飫若攄心膂而接衷曲雖深相知者不啻過也此愚而慕賢味而向明人之情爾豈謂大度不遺山林枯槁尚蒙齒及耶舊冬愚徒自都回傳道德意存問之至併山中文移所司者每蒙玉成懷感無已因光復御史回敢附狀道謝而致區區之誠如此

與孔用道都事書

某寄迹方外以幼稍涉書史故於士君子雖不目接而心切懷慕又顯微有間或致形跡音問之踈以揆諸分爾徃年金陵獲一再從游倡和之富揮洒之妙至今於泉石猶有德也別來缺於修敬去冬令叔世績來審安好為尉近見華峯承旨云到都必會從者及危太朴想一時盛集非林下所可仰睇也附便上狀道不忘之誠

與忽都察捴管書

自泰定元年來得丞相領院事而相公為之叶[(天*天)/貝]一更舊弊教門幸甚前年秋相公遷調劇郡諸山群衲攀餞江滸依戀無已繼聞過四明分按海商纖豪無取廉而不苛明而能恕嶋夷蠻蜑歌謠德化比審還治雖古良二千石黃霸趙廣漢無以過之東嘉之民何其幸哉而識者嘆息謂宜置之省臺方展大用而吾徒者盼盼願依庇護又恐其不可得故凡有自東來者必走問安好而樂誦善政二月江心僧奉院劄來請新住持無言宣老云必先候謁門下受約束最後入因得奉問無言才學該博與不肖同游方外最交好者初聞江心積癈諸徒多矛盾欲絁謝又不敢故勉就之然私喜相公有遺愛於吾教况茲密邇治化可恃以無恐也昔趙清獻公知抗時迎辨才法師於天竺取豪悍僧久捷輩遂而遠之東坡藒公載其事至今蔡林以為美談閣下能援例與無言為外護則江湖衲子同一感德安知它日無如藒公之紀之也惟高明裁之

與普顏枯穆爾監司書

奉別劇久書疏缺然不勝懷戀自聞居制峴首忠孝兩全即日祥琴在御行赴趣召為國為民大展經濟而吾教倚為外護眾所屬望也舊冬常元中來伏領教示感尉無量且聞閒居窘乏尤見節摻碌碌留此九載疲於應[酉*(刀/(刀*刀))]求去未能幸賜箴誨為淑後計元中回取道喪漢謂必上謁因得上狀問候不備

與杜清碧待制書

不接音問復數載懷仰何極舊冬聞赴史舘榮召天下士論交慶辱忝里閭交舊其喜益倍近何局副來知以疾辭却回駟騎增斯文九鼎之重而古今同榮之且聞寓計籌山中以高道自牧擇二三同志相師友授受謝絕九流百氏毋使江湖之人附餘光走下塵貽毀譽致好惡以自溷則高風晚節何止照映百世也某縻身官寺求去未能詬謗日積如驅車千仞之坂力窮而不遑息勢使而然望有以教之因遣愚徒徃吳門輸粮就令到抗問候適散藏經客去報舟即開各以暮年何由會晤臨風不勝馳戀

荅廖天與書

某寄迹空門幼離鄉井漂泊江湖三十年於里中長者少有交接然數年來聞雅譽藉甚且受業悅弟獲奉周旋故雖不承顏而心已信慕古人有終身不相識託交書疏而情猶久要者比悅弟至辱書敘鄉曲出處拳拳若不及至奬譽過情[莞-兀+丁]絡之惠使不肖無以辱先施自揆為山林棄物誤蒙　國恩寵以虛名朝夕慚懼非惟致彼譏誚恐貽禍累自苦思辭謝而未敢何當從亮座主遊以終素願乎以來書致賀似非相知故敢以真情具白松雪翁吊字四軸附悅弟同上奉復不堇未下瞻晤臨風懷戀時暑惟自愛不備

荅族弟陳宗南道士書

某六七歲時從季文兄入城就學十餘歲即祝髮從釋繼而游方入淛已十七八年去鄉土地益遠歲益久凡親族多不識在兒時雖識亦不能記憶又所習與俗異故親者反疏疏者反親然時念之未甞不酸鼻出涕也吾族昔多儒自奇中叔祖後始有學佛者數人一餘年來聞賢弟與復心偕姪九萬為老氏學又聞不癈儒業能琴詩以自怡皆道門之秀亦見吾族有人不肖學佛三十年雖不深造其道而志所存者此爾不幸以幼稍讀書所至便以能文字見稱恥為汗辱甚不平之數年住一癈寺正錢唐闤闠中回祿之後田地悉為豪奪強勉興復日襍役作亦業報所使而人又以通時務見許皆非知我者一木鉢隨處就食一囊衣粗給寒暑不求華好嬴餘所憂者道未明與母老家貧欲效陳睦州織屨供養而未能負罪于天何時買地縛屋畢此志願夏初益心季與二先生來錢唐辱書詞意勤篤使人重增手足之慕以抗城應酬煩冗不能倍二公欵曲湖山間為愧爾所囑令師翠微堂記豈昧昧者所能當求名公發揮之欲懇善之學士書扁以寄暑毒且聞其臂痛未欲煩瀆之伺便令續[冗-几+(舄-臼+(丨*日))]去揮汗奉復不堇復心九萬暨族中尊長鄉里故人均為申問

與友人共十四書

某自戍申冬侍先師入錢唐其時鄉人黃松瀑李楚瞻杜清碧鄧蓀辟日相過從後閣下又以官來吳雖去土日遠猶得侍諸老話鄉曲為樂俛仰二十餘年歿者相半而存者又皆散處獨不肖孑然匏繫且誤身涉世荐嬰患難如幻時之參扣與夫平日所聞所受教於師友者盡皆喪失况有所謂行其道者乎去年因出隣峯公會道次逢一客以手教相授因念先師之執友二千里外猶不忘訓勵何敢望此故執書感歎者累日後客不再至又不知其所寓未幾山中復罹欝攸之變從事畚築竟不克奉荅罪何可言比者情緒愈惡只思營構稍完少可逭責便謀脫去歸鄉里見長者陪杖屨溪上為晴雪樓中旬月客平生之願也洞山南溟侍先師最早得依隣庇能不忘先師之舊好時與徃還或彼不諳世事而堡障之不肖受惠等也人便奉狀不謹臨風馳戀秋氣日清惟自愛不悉

某漂蕩湖海孤寄遠土數年得從者來杭雖各以事牽不能數會而心自相親若有依倚而託鄉誼之庇也去年八月政滿榮歸山中正值欝攸之變弗克走餞私竊怏怏別才半歲露處野宿僧行僕猶不下數百相聚不散感相君憐護委人督役大殿法堂閣方丈庫厨眾寮僧房俱已成辦然躬事役作甘於勞苦以理自遣固是定數亦由業感所致視監官近日海溢人家田壞坍數十數里官民勞憊日夜惶怖洞觀大化三災彌綸孰非空幻而我[耳*少]然殘朽殞身何愛故常有無聊之嘆而動故人之思隆慶簡上人來問近况安好為尉杭人傳報使旆非久復授澍右喜不自勝又見內院羅同知說廬陵諸山以不依例闡拈者皆以汰去令選大方辨事有德者舉上亦吾法門幸事每懷吾祖達磨來中夏衣鉢才六傳而首得法者青原思公江西稱吉安大郡又諸禪多大剎而禪衲游錫不至者以無唱道之師故也閣下仁義足以服鄉里言足信於人又家世宗族崇佛而好施能諷其諸山使得明選四方有道者預薦剡以不負賢相君革弊作新之善政而振興蔀林又令才德之士出於門牆名聞於人惠及於物而陰有福善之報也不肖非有所私善善惡惡素志如此因簡兄回恃愛于瀆可否久在去取俟新除有日迎候道左以尉[丘*頁]慕初夏向熱惟自愛不具奉別雖遠審為政大得民心為尉兼喜令兄新除為斯文增重嘗觀今之仕宦以能處嫌疑為全身計或事有所甚明而力有所可為猶畏譏謗而不言至或親友有急亦不一引手援者視此何如哉若此今之為能吏也獨令兄在鄉黨朋友中有以事告可不可必盡其誠使它日親臨其民豈有知而不為者乎歆羨歆羨又蒙以故所交友託於杭守且及不肖尤感念及近千江禪老自四明回言趙仲穆大可人意而千江久參天目中峯來徃與松雪翁特厚與人交無豪髮于託故諸公樂與之游獨以不一造門下為媿盖其善類相求如此非有為也雖其菴接隣縣有山託在化境而未嘗與人爭論且此公近併委菴而去其山得無樵牧出自善政不待囑也

春初敘別不克[倕-(夘-夕)+天]餞江澋為媿有自東州來者必夸誦善政明而不苛肅而能恕盖儒宗世家父子兄弟講論詳熟施於為政不負所學矣不肖雖方外野人幼稍讀書見古賢士嘗有不同時之嘆故在今人品雖不慕納交然竊聆一善則樂聞而飫誦之况辱知愛其喜尉又可勝言耶適友人依無住奉院箚徃住慶善寺正在治下無住蔡林士也來別因得上問彼乍去生踈幸有以教之法眷郢楚雲挂錫覺慈寺掩關一室諸方聘而不起皆佳士也休暇時或可陪周旋於泉石間新瑞巖亦通濟之才必蒙匡護所恃斯文之契故敢上瀆
某幼出江外不獲從卿先生游故不知學又祝髮不通世禮今夏長者過武林辱顧荒寂私喜既里下必不見外而可奉教不謂闐闐中應[酉*(刀/(刀*刀))]多故又行軒皆公卿徃來非野衲可廁其間故竟不能陪杖屨於一朝夕也臨別江澋乃蒙留贈維摩像併行卷二冊時一展對如親入居士之室而詠歌大作若銀漢瀉天洗我塵穢啟我昏塞受賜多矣別來數月方以不知歸途何如昨日忽椶客至辱書尉甚且索鄙作大似逼吃人荅話徒令赤面怒頸而終不能發一詞也可為一笑時中近除省都事尚未徃賀來人先自以手卷與書投之必有回書又早上院中張卒持王溪相公書至頗訝不即給散勘合江洪諸僧多有來告請住持而謂勘合不至恐貽怒責多勸其回又頗異論以來使即言別故不及奉王溪書會時併道意
別來三載不勝馳系今夏辱令叔賜願又蒙許為塑佛不勝感激然不肖多與士大夫交嘗聞其言與僧徃來每懼其袖中有物便殺風景謂其持疏也故五年於此修造已十成七八忍貧自力未嘗妄造人門頗似倔強然吾教中則不然比丘為乞士內以折驕慢外以破人慳貪人之有三世明矣求於前報於今施於今報於後如持左券以責償非欺也辱足下知我深愛我厚而故為誇誕非不可且不敢向令寂令定侍者來請所施恐定未便來故復令標侍者與俱幸從臾之感佩均也
自春夏來兩辱教示兼領嘉貺使人愷懼不知所措每惟閣下以勛舊之後出理劇郡而公退杜門簡默自居雖清要貴官猶不敢以書問瀆視聽煩徃復乃能略去勢位下交山林之士固是識度高遠盛德若此而不肖何足當之杭城人事浩繁蕭提舉不得時會然上任未久而諸公皆稱其能足張吾軍也可堂公以英敏之才負剛正之氣而公濟之以寬持之以重言同道合施於為政吾知珥筆之風化而為鄒魯之邦矣廬陵之民何其幸耶其兄司馬公且夕侍親西上又為諸公得佳友賀也承索松雪翁字近從其子得四幅亦莫知其真膺堇以奉上前寄墨竹亦然勤藏主聞留門下能促其再入澥為幸來時囑為化銅鑪鉼歸西隱塔上化不得則令代買即[酉*(刀/(刀*刀))]其直也
別來已深仰慕有自湖上來者又云足下非久來杭故且且望之久而不至益重縣縣也六月一日辱書及詩二首殊尉渴思但中有老而貧之嘆頗令人怪訝盖士患不聞道而貧富貴賤何預哉古人有處貴富而為物所役迷

於聲色深自厭棄有羨於山林之士能樂乎天真全其道用故欲永為貧獨儉約而不可得者王荊公罷政判金陵惟一驢數僮未嘗乘馬肩輿所居四無人家僅蔽風雨不設墻垣若逆旅之舍後又舍宅為寺就城中稅小屋以居甚熱折松架棚處之裕如也雖其為政執拗而風度高遠甘枯淡如頭陀棄名利如脫髮其藴黃諸公遷謫萬里九死一生飢寒跋涉而樂固自若千載可以想見其人也今足下貧未至於稅屋困不至於飢寒獨老而無子有無後之憂然物之不齊聖賢有不能惟安乎天分而已若以吾佛所言世間相生滅成壞終歸於幻嘗考唐宋以來名賢世家於今子孫能守其業者幾何哉宜興昔有楊萊公者無子以田施建康保寧寺孫權乳母以宅為藴之通玄寺唐詩人戴叔倫以宅為饒之薦福寺至今祠祭如初使當時有子孫能保其不覆絕如此乎今公年逾六十有愛女不必擇巨室但得士人溫飽家許嫁之[└@(大/品)]具有無燕禮厚薄從其婿自為之不必效世俗爭校好看公便當高著眼把世間相一覷覷破服居士衣巾易所居為菴擇鄉里從游之僧有純重福氣可託以事者使主領之而奉吾祖宗之祭公從一僮徜徉藴杭山水間與名宿激揚此道母事詩酒雖不能為龐蘊獨不愈於戴叔倫哉不肖數年來因住癈寺還俗無異處則與工役共作息出則應酬官府如田莊家當役相似近謀於城東縛一草屋為脫去計未知能遂否諸山又以淨慈虛席取不肖廁三名保上雖未能中而狂妄冒進亦無逃於誚責矣每自愧汗春間寄人徃洪作扇送諸公近附來令兄令弟子敬父子及伯曹叔姪共六柄去秋上謁承規誨諄諄迨今不忘別來審起居佳勝江淮飢殍數千里獨澥石稍熟又蒙勸分以及江左得非善政所致而福緣會合耶茲聞欽承上命監視書經政事之餘朝夕不懈昔文潞公為相而兼譯經潤文使故晚年益精佛理今閣下能資以照心為法外護豈非利益福田哉子壽相公徃杭因論盛德謹附狀修問

徃來雖數有便不能奉一書道謝意懼以踈野上瀆清嚴非簡也比接手教極感軫念以備員灑掃三年于茲日給艱窘奏上頒賜聞之驚怖不知所從鷓鴣一技偃鼠滿腹猶知止足巖穴一衲敢叨　天寵但開翍之初得以廣延四方來學勵精于道以報　聖恩愚志如此近聞澥西成圩上等之田多有出售買為常住久遠之利也又喜都司諸官同心公勤自揆愚鈍安居佚食何以報稱仰天蹐地若無所容尚徼餘庇時賜教策以尉瞻戀不備

去冬愚徒回辱書璽[糸*系]之惠今春廬陵府判至承寄佳章茲者又接教示足見高義不忘方外而林下野衲何以當此辱愛之厚愧不能如卓契順訪東坡故事以報所知幸時接安好以自尉解即辰溽暑緬惟神觀超然無適不安也更望公暇誦佛書入禪定以自娛遣天道好還趣裝歸　朝光大相業區區至禱不備

某竊伏林下於當時名公自揆微顯有間不敢造請然讀其雄文大篇頌其才德之美未嘗不嘅然仰慕故拳拳於閣下積有年矣辛未之夏閣下過金陵以羈於繕脩不能爭先快覩以償素願及稍暇徃謁則使舟已發但於魯

公處取所留佳什時一詠歌如承顏色而聆德音也去冬愚徒回言山中粮事劇感公論昔漢高帝復豐沛光武復南陽如故人嚴光猶得復其守祠者茲山為先皇潛宮建寺置田悉出於官費已鉅萬而稅粮能幾累奉欽免未蒙准除却擬續置同例如金宋寺院田粮免徵在後僧人自買方稱續置官寺新創並無舊額止有官錢所置常住收租報官作數却當差稅揆之金宋舊寺施惠優薄無乃不倫比得行省行臺咨入敢徼德惠獲遂欽免吾徒苟安食息夤奉神御香火而文皇在天之靈照然鑑格閣下能無羹墻之思乎遣愚徒再徃上狀于瀆不悉

乙亥七月餞別金陵倏忽五載不勝懷仰中間喜審累登清要肅清憲紀顯微有間不敢奉賀以嘗侍坐竊聆清論知留心吾道氣養中澹一無嗜好如唐顏魯公宋之富范二相皆以文章政事之餘怡神禪觀故能洞視今古臨生死禍福之際不變其節況富貴聲利可動其心哉病軀寄此十年去秋乞退便於求醫而相從於方外也不謂尚爾繫留惴惴祗慄以日為歲尚徼終惠以保善後謹附狀上瀆惟百千珍重上以迓續元勛世德而下以禪悅自怡不具

某巖穴棄物分甘枯槁報緣乖殊濫居官寺拙於應酬與俗齟齬人所棄惡乃辱足下相顧寂莫貽以住章感惠無量復承教示侑之信物是重吾愧也古人千里同風不資目擊或一傾蓋而心盡底蘊稍涉言辭皆為剩法況以物乎謹用奉納受惠惟均行軒有暇不惜下教奉復不悉

與元叟和尚書(三荅一)

春末安西堂回嘗奉狀夏秋無便不得候問起居徃來中詢知尊安為喜但今歲諸處旱荒峯頂多眾不無憂煩也卑姪羈於官寺疲於應酬心神昏憊又畏禍機求去而未得每念宗門凋弊大法之寄惟尊叔一人而已年將九十而不能侍奉以求最後之訓相望千里興言懷思殊覺酸惻謹遣徒明禋徃拜床下尚冀箴戒策其不逮區區至望隆寒惟調攝四大百千眉壽不備叨承法庇備員官寺十年于茲常苦多疾累有去思但奉旨賜田而差稅未免恐貽後患故遣徒留都者三年近得省部明文欽免可畢素願遂於八月十二日辭退寺眾上下咸願法幢一臨增重宗門本路及所司欽依元奉聖旨事意備申上司初意待文下方敢通書然又不敢不預布誠懇謹遣愚徒密付廣垓問候起居一致區區瞻戀之誠幸恕其罪不備

去秋赴北維揚舟中嘗奉狀計徹侍几九月四日至都九日入覲次日拜帝師咸問江南諸山事體以得免役感荷　聖恩為謝復陳艱食之狀次見南北城諸山咸問和尚安好慶壽北溪退居西堂甚安健出前年所寄書達之感誦不已繼慶壽者魯雲九月一日入寺大欒荒凉可念某以十二月三日出都為集慶新寺正月六日破土馳驛二十日至金陵而朝廷差官絡繹不絕早暮無頃刻暇且拆舊屋無容身處茲以中天竺奉旨令如一溪住持

遣人持公文徃請和尚有遺愛山中一溪又在屬未幸囑寺眾早請入山向蒙尊教請改寺額已奏准奉　勅[冗-几+(舄-臼+(丨*日))]牌額續後發去某以相去稍遠山門事望庇護入行速奉狀不謹惟尊察歲艱冀寬處尉此瞻戀不備

去秋嘗上狀二月昭藏主回伏領教示重以錦段下賜登受不勝感懼且云年踰八表會晤之期料不可復得讀之不覺涕零先師示寂十七年矣大法之寄惟尊叔一人愚姪輩朝夕侍奉猶懼不逮以縻身官寺每煩尊念加之鞭策所慙駑鈍有孤託任常以茲寺先皇潛宮改創數年聞勝幢有意光賁山靈延佇而千里之間會離乖合似若有數信夫天機之妙不與人謀心之精微難以言宣也淨土長老來又領嗣教益增懷慕因其回藒合香元連[躍-羽+(共-八)]八兩奉上即辰春暄惟神相多福以介眉壽不備

與如一溪書

叨承　朝命備員　潛邸新寺去秋蒙　召入都謝恩因以天竺缺住持舉三名自代敷奏于上奉　特旨點定和尚大名京城師德與江南諸山在都者識與不識歡躍[(天*天)/貝]仰固知高風雖一室不宜自居若靈源大士生死不離大眾然靈源未嘗不住山也今蔡林凋弊魔孽強盛所至大方若逃亡家衲子無挂錫之地而和尚與杭人宿有緣契道風遠揚可以極宗綱建法社毋以塵俗可猒靖退自高眾生難度世事堪忍從古而然但隨時化導隨力建立以報　聖恩佛恩也某道業荒踈垢習深重與俗陸沉緬懷規訓惕然慚懼但望攝受俯循眾請增重此山使不肖可以少盖前愆本欲自回迎迓以起造工程方急　朝廷差官絡繹而至不可暫離三月上梁後或圖一歸可盡晤言克似去奉狀不謹惟冀鑒察依前所陳以續正宗區區至禱不備

與妙國師書

去冬三月託舘堂下溷瀆不可言兼日聽法誨通諸宗發揚佛祖玄奧又得覩座下龍象皆五竺四方諸國殊音異俗者不啻數十種族以是知皇朝輿地之廣佛化之溥而我國師主領宏綱曠古以來佛事之盛未之有也江南巖穴中寒酸野衲有目未見有耳未聞甚為希有雖平生參學不如一承顏開發為益弘多初傳法幢三月下臨後聞寵留重增懷仰然為天下教門所系豈我可專私慕者某愚鈍無能叨濫新寺惴惴恐懼無以報國惟勵精勉力朝夕禪誦上祝聖壽萬安次願國師仰弘佛祖重任下為天下僧徒作主冀一身續二千年慧命正脉天龍加護安隱無惱化導群生區區至禱不備

與澄湛堂書

廿餘年湖山陪從之久一且乍遠不勝馳仰去秋聞尊體愆和恐徃來者所言不真不敢修問兼有北上留都下三月南北城諸山無不相問咸以和尚為江南教法宗主獨建赤旛餘子望塵而拜矣歲暮歸至金陵起造甚冗朝夕無頃刻暇以先所住中竺奉旨令如一溪住持遣人持公文徃請所賴和尚為隣好又與一溪道義之篤煩力[(天*天)/貝]成之得一善士同類相慶不得羽言也諸山和尚不具別幅會次幸致百千珍重意不備

與恩斷江書

奉別十餘載書疏廢缺良以多故自天竺欝攸之變繕脩未完復被官差過金陵奔馳南北迎送便客不啻郵傳之苦雖極懷仰而高風遠度追蹤古德自揆碌碌應酬塵俗尚敢託舊通名侍側以取識者譏誚乎近聞俯從保福之請又與新玉几聯輝合壁學者有賴同宗增慶庸是敢奉賀疏而修舊好也適令孫待蔵主下顧言即歸侍先具稟瀆區區圖專狀冬暄惟善保愛不宣

與明雪窓書

俊書記來辱書及剔紅盤子感媿無已且審住山安好帑庾充羨脩繕完美使容佳衲子數十足可行道何必五山十剎也王可毅參政由湖廣赴　召取道留此數問近况而臺端諸公識不識者皆稱慕揮洒之美而鄙性年來拙懶愈甚而居官寺又不得不隨時俯仰達官初至一賀而退臨門則迎其它報謁悉[癈-(弓*殳)+放]雖遭怪怒亦不顧恤然識者謂吾得體公私之事豪髮不預殷勤交接徒取困辱造物於人政自有定惟脩其在我者而已然世事可畏得一日先退縮乃為佳耳

荅砥平石書

某在江右時聞圓應室中龍象皆足氣吞諸方而和尚尤稱穎拔常願親炙不能遠去及來澍天童散席圓應遷化名勝多出世四方不肖因留杭湖莫展良覿獲交於令弟千里而嚮慕之私未嘗少置比數年墮身[癈-(弓*殳)+放]院自[(厂@((既-旡)-日+口))*頁]塵俗不敢通名左右今春上足來辱書海菜之惠雖先施之禮令人感媿而喜不為長者棄絁繼此有可以受教矣上足回清江紙一匹吳箋五十番奉上匪報也相望東西州何時一奉顏色莫尉瞻仰臨風馳戀

荅匡正宗書

春夏間便人去兩奉書以久不得受業家俗信及見人說上年飢荒兼以搶掠貧富俱不料生故書中信筆直情相愬併問況味果何如爾非有所于瀆使有貸借理必償還古人養母俱有法制睦州織蒲供養不聞求於人道紀以身負母或有助之者曰吾母非吾母也形骸之累吾事也可勞它人哉律許佛子減衣盂之資養父母父母正信恣與之非正信者稍與之不肖之族先世多儒亦出名僧近子弟輩皆癈學無知受業悅弟來問以度荒之計幸喜粗給且感以統金為老母湯藥之奉此因相愛然視先哲所行能無相戾乎謹附元數奉償感惠等也如後有門戶事得與當道言少庇及之出於望外或彼以它人事相于則勿聽乃幸賤蹤欲八月赴北然亦未决只思深入巖穴求少安而未得其計承示報百丈近況皆所喜聞又聞監司相公為政江西之民書其名為救命活佛供養者古之良相亦不過是也悅弟回竹賦一本寄上時暑惟自愛不一一

荅愚如菴書

前秋與今春兩次辱書以倦眾欲使不肖接踵後塵甚感厚愛而自揆非器兼[豕/一]相領院事以來一更舊弊凡住持不拘寺院大小俱從三名從新改給勘合縱先以三名[(留-田)-刀+ア]信保到者亦發下再換待新勘合保定三名到時即與鬮拈便發箚付急遞鋪去並無費用除此略無間道可入況平生甘守癡鈍不能與人低昂堇守畏禍猶有不逮豈敢以間道冒進耶又歷數鄉中尊宿如晨星落落後來縱有英邁而氣象不及先輩和尚雖尊年幸彊健且山林深靜祖庭傳道之地可以鍛鍊學者故累奉狀勸留而道委曲所以非敢虛禮辭讓七月廿一日勝首座言都寺來伏領教帖及山門請疏兩序耆舊書聞之驚愕旬日不能自安原其所以乃璁監寺者曾有書說不明白疑悞尊聽而勞耆宿與從者徃還數千里觸隆暑冒驚濤困憊艱阻何所不至使不肖戮身不足以塞責而報盛德也某居此殊無況闚闐中應[酉*(刀/(刀*刀))]疲於土木深自厭惡峯頂高寒又庾廩充羨室宇新麗得繼芳躅守成規而承教訓於朝夕此生大幸奈拘文而非人所能為也專使留此月餘各以真誠剖露寧容一豪虛偽因勸其回欒眾苦留幸俯徇其請遲一二年却看機會如何謹此奉復其山門疏與兩序耆宿諸老書皆不敢開就令持還勞煩人從重費裹糧而又違雅意罪不可逭

與宗可庭書

池陽僧自越回杭來天竺出所賜書嘗即奉荅計必達十月行院公會鬮拈而大名中宣城景德之選咸謂江海耆年如公不數人而低回江左此舉復不稱特恐為故里一歸如圓悟祖之住昭覺或可爾後聞池陽之檀越士庶固留不舍而又喜郡[仁-二+(亡/大)]昂父公以斯文氣味相知而教門

可倚以為外護也某正月望抵金陵二月三日入新寺初擬赴北復少止近得報差官買木起寺復撥田未審若何然昇與池不遠聞徃來人誦馬公善政不絁耳大是擒捕江淮彊賊為商旅大便况[仁-二+(亡/大)]先在太平時去蕪湖一根柘巨豪其邑至今安靜作郡如趙廣漢黃霸之流則它日嚮用清獻家世斯無媿矣不肖同差來官入蔣山立碑見曇芳言有一道人徃池州載蘆求作記於[仁-二+(亡/大)]子以林下人雖辱交而懼瀆其清嚴又思和尚久缺問訊因具修敬或會昂父道珍重意不殊此入夏向熱惟善保愛不悉

與寶雲盧老書

某未出眾時和尚已據座說法嘗獲請益至今不敢少忘自勝幢徃新吳一住三十五年道德如首山風穴耆年如趙州典午晚生餘子何足知之某流浪江涘冐濫匡徒已巳春復叨國恩備員官寺不過從俗俯仰不能扶護宗教法門之罪人也仰慕高風愧死無地去夏辱教示弊予過情不蒙箴規是以世俗待我使自愧責人回值冗不及荅狀正初寶雲人至復接書誨以觀音寺記見囑才識荒踈何能及此况二十年來盡悴土木似覺損傷心神疲憊昏耗健忘多睡加以賓客迎送朝夕不休連日來以先皇聖忌看藏經臺官祭祀終霄不得寢息而來人即趁便舟而回雖尊命不敢辭然必待二月勉成之問便附上也謹勒狀上復惟壽高期頤而不倦垂誘以任大法九鼎一絲之寄如古人單丁草屋道之所在無羨於萬指千礎也相望甚遠臨紙不勝馳戀

與果庵主書

書付果菴主四月初大隱大士至承寄扇且云曾在杭中天竺時與盛侍者因令作般若無盡鐙記以來金陵無暇入思聞盛兄已過去而般若老和尚亦示寂極切怏怏愚志欲得老和尚行狀當為撰行業記以卒遺志也大士又云得吾友[(天*天)/貝]成菴事不倦勞苦化緣接待感刻無量此菴吾幼時隨大士同建自游方三十餘年近復叨濫國恩住持官寺未能辭退而大士年老無人侍奉得吾友朝夕[(天*天)/貝]助幸望安心不退願輪他日首丘或効區區謹附鈔一錠作麵供大眾以表不忘

與若季衡書

己巳正月相別辱餽賮甚薦一再到杭而不得欵密繼而奔走南北應[酉*(刀/(刀*刀))]多故不得脩問且知勇退歸越號雲門三高近二老聞已出山而公能獨高乎待藏主來言來春從者欲游金陵若果則鍾山狷鶴喜

舞以迎况[白-日+(几@二)]官乃天台祖舊化之地能一吊遺跡亦不惡也但恐由[舟-(白-日)]陽遵陸有二百里之跋涉不若取金山問舟雖遇風濤之阻然不過遲留數日爾有法眷倫仲芳極有道韻先師甚愛之聞退佛巖不知留四明何處或清蔵主得其相陪同來尤出望外之喜以客至不作仲芳及清公書東明作房主必忙併問訊會晤有期不悉

與喆古智書

某初出眾時和尚已出世後上下吳楚間又徃來相失遠望勝幢奔走四方衲子不肖為里中後進不及一親槌拂可勝嚮慕記庚申之冬天目中峯貽書以虎溪灾變令作脩造疏其時妄計當大故者必待非常之人年來聞化事甚盛東坡所謂不起于座而化廬山之下為釋梵龍天之宮於今親見之何其幸耶自顧寡德躬事畚築無所成就又誤蒙諸山齒錄偶中天竺之舉朝夕惕懼而已取譏高識貽玷鄉社便風冀有以教我今夏足翁首座古源蔵主來辱書惠物禮過厚將譽過情非所敢望今聞其歸值冗奉荅不謹方今正宗無人念先時吾鄉諸老皆先化鄉閭而後入淛皆光明盛大十數年來頗覺寂寥湖海所屬望者猶有和尚與圓通二老在焉神靈有知終當推轂惟不倦鍛鍊學者以副區區至禱

與受業師祖書

常思六七歲時就學故山而山中開創之勞實自和尚立成規以遺後人今稍有樹立敢志所自以漂蕩方外不克侍奉朝夕兢兢深負罪慝雖號出世而不能闡化雖匡徒而不能弘道又且福薄緣差自報國天竺俱值欝攸之變脩繕未完復來金陵只縈世故莫識何以奉明訓也悅弟來伏讀教示規誨諄諄喜尊年九十而康健如昔以縻身官寺不遑歸省惟西嚮馳戀而已伏冀與趙州古佛同一壽量尉此瞻仰奉狀于冐無任戰慄之至不備

與卯月江書

某以地遠寡便久缺通問而懷仰無已夏間聞甬東以玉几來聘不赴繼而使者徃復再三堅守必欲起行而勝幢始渡江或謂苕寺富盛可安廣眾鄧嶺虛名五山而凋弊宜若毋徃然古宿行道不擇地隨機赴感任緣去住彼名彼富皆外物也禪師之心或在於是比待蔵主來知道過雲門以九月望日八山獨一翁後五日入保福而天童延慶雪竇諸山皆名德又淛東教府猶有公論異於它處則玉几可指日而復全盛吾祖東菴西菴賴有庇護焉待師言歸謹附狀上賀微弊告至禮不足以展誠餘俟專遣時寒冀善調攝不宜

與有龍長老書

四月廿二日伏接手教感尉無量且審住山安好說法無惱每見過徃官員論閩中諸山之弊官府獄訟僧居其半獨足下早游方外徧參江澥諸大尊宿故摻履造詣非餘子所知自可拔俗千丈然其類頑惡其習久弊視住持為過客安能從化為善先佛在時六群之黨猶不能制況二千餘年末法比丘耶幸曲垂誘迪更要去處輕便毋蹈禍機區區拘於官寺惴惴度日屢求去而未能責以開創之始必令立定成規方許放間然於世故事非鉗口不敢言亦塞耳不願聞也望悉此意承寄繡段固是可與人作人事然物太重非吾所當而元章謂數千里將至豈可復返勉留之慚懼不已官紗一端重十四兩少荅雅意非報也夏熱惟為道保愛不悉

與淵默堂書

奉別三十餘年矣記戊辰之冬在天竺時伏承書惠正值官差過金陵迫之上道失於奉荅後竟奔馳南北應[酉*(刀/(刀*刀))]無暇復稽修問罪負何言然每懷思幼時游從規誨之德言猶在耳信知古宿於一師一友少有所益終身不忘至開堂日拈香[酉*(刀/(刀*刀))]謝豈欺我哉自媿道業荒疏誤蒙國恩備員官寺何以匡徒補報宗教有負師友多矣近僧自洪來又[打-丁+妄]批示併緘先至元間東溪為奇中叔祖作江湖跋稟知寬度海涵尚納我於可教之域未即拒絕自省不逮愈益慙懼因愚徒懷渭歸令其專拜堂下鈔一定綿十兩少致遠意惟攝受之地遠不能參侍惟善調寢食與趙州古佛同一壽量百千珍重不宜

與福田僧書

久不通問惟劇仰慕每與宗濟論悲度四生無過水陸大會獨餘子傳西蜀揚推官儀式殊異嚴肅而和尚禪觀兼修行解俱備佛夫幽冥感通如嚮由是追思先皇以潛邸建寺僧徒食息其間羹墻之感日惕于懷道荒德薄莫伸報効又念父師訓育徒友[(天*天)/貝]助居然異世情不自勝乃洗心滌慮運誠致敬奉書攀屈猊座開歲過此卜仲春之望大闡勝筵伏望侍者興無緣慈作不請友無吝法施惠然宜來且茲會昔梁武於鍾山創始一念融通今古一息因以縱觀山川之勝而扁舟順流孰謂脩阻也又聞禹河老禪以久參宿德歸化故里第未及披識不敢具狀上瀆倘蒙宛轉勸請併諸法侶同賜下臨尉此瞻企幸甚幸甚使四恩三有俱霑利濟豈存歿感戴而已阻於官寺不克躬徃于胷清嚴無任悚慄不備

與　　書

某在玉峽時獲聞格訓者累日別十年始復西林一會不旬日散去今又十六年矣奔走吳楚隨業受報三住癈院備嘗艱苦比五六年值報國回祿終日褋工役躬為畚築又田山豪奪過半與吏胥賤卒爭較唇吻身心塵俗不異田莊家每懷高風願服勤左右而不可得夏中古源來辱書道德光華發為詞翰盎然而和肅然而厲可愛可敬又憫法門之弊惻然極溺救焚之志不啻長太息而流涕也間房古寺負氣若此我輩盜名竊器隨群逐隊真鼠雀偷生耳錢唐天台教僧有潤玉岡者力行般舟三昧持律嚴甚不宜應世近選住演福學子輻湊如一溪履踐端正亦拈中雙林聞化風頗盛

荅真如舜長老書

別去恰五載去夏亨藏主盱江回辱寄書及布甚感四月初上足至接閏月十七日書知出世說法而不忘所自為山僧拈香不覺悚然吾宗受授不是戲劇驗於最初一步工夫純熟忽然啐地折嚗地斷見從上佛祖天下老和尚心肝五藏如鏡照鏡一切差別語言如自家說話一般無一絲毫疑惑然後復加徵詰勘辨至於機緣相契啐啄同時謂之以心傳心續佛慧命而後人以辨事來歷為講明言句為有所得至有以飲食相啖貨利相資聲勢相附乍此倏彼力攘黨護非曰市交實若寇合吾以昇涉世而荒於道不敢為人師而頗能知愧徃年荷吾友以鄉誼之薦煩領內記繼而南屏以記室相招而吾來金陵不得欵密然亦期吾友性行純美謹慎三業終為法器也既住院須真履踐明因果[母-(、/、)+丨]墮流俗具要洞徹佛祖向上一著而不為機境所移方自能手頭活立處高如此應世不謬為吾家種草也欲備[冗-几+(舄-臼+(丨*日))]報書值出接官不及繡縷二葛二苧之惠領訖法衣一頂寄荅不悉

荅慈化愈長老書

徃在天竺一見神宇清重便期法器及叩所蘊益知造詣深密可承重寄第恨不能久欵別來每切懷思前年承遣都寺通書不忘所自以法系相及其時以它故不暇荅今夏又特發東江藏主持書累千百言推原先宗授受之旨與日用履踐之實不及應[酉*(刀/(刀*刀))]世故無不周悉而歸德於愚自視缺然何敢當此昔北齊文公上稟龍樹地之相去數萬里古塔主嗣雲門時之後先百有餘載而心同道同無有少異盖吾與天地萬物均以明覺之性淪蕩流汩互為外墜必反于初如經云發真歸元上與佛祖同一受用而所謂續慧命者是也又德山臨濟雲門趙州以來唱高機峻關楗扃鐍皆當透脫無礙方能為人抽釘拔楔摅曲汆床不是細事吾以涉世早福緣素薄嘗多憂患聞道而不能力行如目極高峯遠近向背歷歷可辨而足力不逮深自恨責又居官寺十二年累求退而不得此行可遂去志當結茅

以了吾事也藍江年盛才贍所住山皆能興振今居受經祖庭常千餘眾福厚緣順更宜力弘此道於應酬繁劇密自照覺久之則有超然自得氣象矣多承箑幣益感厚意東江留蔣山記室琳侍者回法衣一頂紗一段就寄復荅縷縷不盡所懷惟永續正宗是望不悉

荅清泉海長老書

相別五載常切馳系比喜出世以書見寄上陳祖道之重次敘徃復之密而以法系相及聞之深媿吾友昔在先大仰會中已如黃龍領徒行脚老佛智深相敬愛後入澍而諸方畏鋒而避莫敢嬰也若鉗鎚之妙抱負之富吾固退三舍矣果不忘所自得同稟先師亦斯道有光乃欲如應菴卍菴入圓悟之室而嗣虎丘妙喜力回古道顏色然劣者何敢以當之恐為人譏誚也懼咈來意姑徇所請法衣一頂官紗一段寄去來幣領外益感琳侍者問舟告別忽遽復荅草草惟力行祖令以迓正宗不悉

荅南山月長老書

相別恰一載自聆出世極為喜慰但聞為劣者拈香一事令人甚不安固是近時蔟林以行脚辨事或得片言隻字之益至於住院託此以表道誼爾然徇名責實於我何有諦審先宗是何標格者箇題目不是戲劇列祖授受以心傳心如鏡照鏡何資語默如古塔主之嗣雲門北齊之稟龍樹相隔千百年蔣山之於大陽亦不及識而其氣類相感豪髮不移每笑末俗之弊取古人語言穿鑿以當傳授及有以勢利相顧附就炎而去涼朝此而暮彼者平昔所深惡不肖雖不能高出常流亦頗知羞而不敢狂妄也足下相從數載才敏而識高必能洞察如苦不相外但同稟先師為朋友足矣承惠磁器大適所用值接天使忙寶維那去速有先師所留伽黎併北綾一疋就寄期昌吾宗而力負此道[母-(丶/丶)+丨]以住院自足且自恣歲歉益愛重奉荅不悉

蒲室集卷之

蒲室集第一目錄

古辭
猗蘭辭
思親辭
山雲辭
風篁引
宋孝子詩

古詩(四言)
高門一首贈岳柱公
客去一首送婁所性歸江西
瞻雲亭詩
畫蘭
泉石為鎏君安賦
古詩(五言)
期石室不至
心遠堂為吳江張清夫賦
陶隱居像
題程仲華西行集
送暉東陽徃江西省佛智師
送楊子誠臺郎
送汪希顏兼呈佛智師
追和洪景盧內翰題龍臺寺詩送曇西竺
次韻王伯循御史見贈
贈曹伯珪
梁楷田樂圖
賦得露盤送邵本初侍親之枯蒼
次韻廉公秀御史送觀志能臺郎赴都
送觀志能臺郎赴都得勸字
次韻石室贈琦上人
顏暉猿
子昂竹石
武仁夫蘭
萬空
送欽上人
送吳希賢提舉
琴書自樂詩
怡如堂為鎏彬之賦
題畫
感興二首
索士巖都事赴淛東僉憲以疾不能送作詩寄別

蒲室集卷之一

豫章　釋　大訢　笑隱

古辭

猗蘭辭

野漫漫兮菉葹　霜貿貿兮露滋　露滋兮匪暘不晞　彼美不見兮以渴以飢
湘之涉兮阻且隮　挂長蛇兮吼玄羆
景翳翳兮歷崦嵫　念徂歲兮愆芳期　羌不畏乎色[褒-保+(共-八)]
誰招魂兮若有知　遡長風兮覽予懷　寄音塵於竹帛兮猶不媚厥姿
王之[卄/積]兮參差　風之佩兮陸離
芳霏霏兮闖吾帷　緪朱弦兮待之　娛予之獨兮澹忘歸

思親辭(有序)

王君寶御史以游宦無常處圖先塋于軸歲時隨所寓展祭之為作思親辭以致其思云
耳有聞兮如語　目熒熒兮如睹　來翩翩兮而欲舉　倏而去兮疇與奠蘭烝兮桂酒　我祭而享兮尉我荼苦
念舊居之衡宇　今歸而乘兮驄馬　泉深兮長溜　水翳翳兮陰茂
蔫孝思兮無斁　自我躬兮我後

山雲辭(有序)

千上人結菴餘英山中揭所居曰半雲夫雲之為物不多寡大小形也而曰半何哉不以離世絁俗人不得而友之能不趋利而合不避害而散同於無心疏於無跡惟雲克肖焉於是空半室以居之朝夕容與而不異也笑隱子懼其久而忘之欲固其盟遺之以歌
南山兮朝隮　夕容與兮水涯　復儃佪兮余次賔而肅之子欸扉
撫瑤席兮布函文　樂無斁兮澹忘歸　[卄/執/衣]不瀆兮去不違
[母-(、/、)+丨]軼其疆兮猶有畛畦　山中之人兮薜蘿衣
游萬物兮守天倪　行之獨兮世無知　匪雲之從兮其從誰

徐勉之有琴曰風篁為作風篁引

湘之波兮夕風　夕風兮龍吟在泓　韶之亂兮盈耳　接鈞天兮雲中
雲毬旓兮葆羽下　風肅肅兮雨瀧瀧　渺梧江兮涕無從

涕漬玉兮爾竹維篁　鳳翩翩兮不顧其凰
不念先君子勗萬邦

宋孝子詩(有序)

黃河嚙汴宋氏之墓湮焉孝子翼卿禱而繫髮于敞鞍曳行積壤上絓而止發之悉得其壙改葬之永嘉李李和書其事予繹其遺思為之此曰
水有源兮木有本　我有親兮親沒而不返　念我稚子有鬌髣髴
俄丱而冠兮歲莫纂纂　墓有朽骨兮呼不應
河之嚙兮胡不仁　幽則鬼兮明則人　死生雖異兮豈無其心
我親不見兮何有我身　我求而獲兮寧有鬼神

古詩(四言)

高門一首贈岳柱公

昔在唐虞　比屋可封　其民不知　倥侗顓蒙　五子歌夏
常棣詠周　漢興孝廉　其俗曰偷　乘沃而隕　泉流而遠
歲不我與　予懷婉娩　親之育我　如不保矣　我育我貴
親之耄矣　親疾而呻　我痛在腹　親喪三年　于曰不足
我圃我廬　于親之居　栝棬猶存　親食之餘　我匪木石
念之維何　聖訓是則　靡知其它　事君以忠　友弟以愛
以[亠/(儿@、)]吾宗　如親之在　乃作高門　國有令典　亦有卿公
釃[酉*齊]衎衎　高門言言　過者必式　于以作詩　歌之無斁

客去一首送婁所性歸江西

客去復留　客留終去　鼜吟夜風　鳩乳新雨　有匹鳴鳥
灌木濟濟　豈無交友　不如晤語　亦有多譽　束帛乘馬
無爽我懷　我疾遄愈

瞻雲亭詩(有序)

張君克禮赴任南臺御史以不克歸養誦狄公白雲親舍之語感而作瞻雲亭以寄其思夫愛其親而朝夕養者人情之常窮閭委巷皆能然也而士之有才有志必期於樹勛業流聲實於無窮思所以榮顯其親其親之命子亦若是而已故有出仕四方問道千里而曾子所謂以志養親者也

然道降俗薄或因是以流連沈湎蕩厥良心而日遠日忘其親者有之克禮才茂器宏年方彊仕貴顯矣雖[書-曰+皿]悴王事而無時忘親推是心以臨吏民施刑政措之天下豈外是哉予幼以親命學佛而不能弘其道忝居官寺比乞退欲效古人織屨為養未獲所請視克禮微顯有間而所感則同也作瞻雲亭詩

雲隮于天　倏往而還　我行于邁　以日以年　雲之將雨
翳翳其陰　孰無父母　獨勞我心　我次于野　飲馬于河
載旌揚揚　其儀孔多　鵬鶋海運　豕豢于牢　乃分之宜
豈曰賢勞　占子歸矣　鵲集于桷　恩榮于家　子有高爵
賜號與秦　曳組若若　載笑載言　與子滿酌

畫蘭

爾烝維藉　我佩斯紉　有肖于德　薰然而春　匪夷匪惠
國士振振　高風百世　懷哉若人

泉石為鎏君安賦

泉之始達　維石齾齾　不盈缾罌　而酌不竭　決而疏之
為江為湖　澤及于物　不如其初　是故君子　道不苟售
雖有夔皋　愧于巢由　我石孔貞　我泉孔腴　維德似之
永矢弗渝

古詩(五言)

期石室不至

風水不可期　知君定來否　何處唱歌聲　月明大谿口

心遠堂為吳江張清夫賦

適性無廣廈　安居自光榮　我生亦觧后　均爾眾物情
方春戒穡事　孰謂吾無營　濁醪聊自適　客至亦共傾
喧寂庶可齊　所貴吾道貞　睠言邈千載　惻惻茲抱盈

陶隱居像

玄運撫八極　萬化同其根　委佩天池月　晞髮扶乘暾

仙佛皆幻跡　著書亦寓言　神交千載上　一洗濁世昏

題程仲華西行集

程仲華眉山人少離故鄉居金陵數十年既老歸省墳墓嘉其高誼為題其西行集

歸鳥投故林　落葉庇本根　人生首丘念　所重骨肉恩
蜀土昔離亂　脫身間道奔　及茲承平久　慈孝況所敦
苦心在丘壠　志不慕田園　敢辭萬里遠　衣薄霜霰繁
白首攜仲子　斗酒酹幽魂　墟里盡荊棘　故老無一存
幸託賢守令　大書刻墓門　采詩無國史　傳之令子孫

送暉東陽往江西省佛智師

故家西江上　遊子未成歸　而我豈不懷　所慚志多違
十五知好道　從師別庭闈　揭來苕上寺　遭時蹈危機
秋風走淮甸　晏歲東海涯　交情無厚親　面諾心已非
感子始終意　見我無瑕疵　愛惡有好醜　人孰不自知
目覩凌雲質　自足為我規　況同早入室　甚知多令儀
前年黨禍作　眾潰如星馳　老師臥一室　四海浮雲悲
我時闕服役　賴子能扶持　子去我始至　曾不慰渴飢
遂令八十翁　落日鄉土思　別來鞠再華　田圃霜露滋
窮檐白日晚　苦心徒爾疲　感激子遂行　信有天下奇
草堂白頭親　有弟供甘肥　敢忘師道尊　恩義無或虧
意氣重然諾　為道況孜孜　神機不停佇　天馬脫羈羈
能不念離索　潦倒成荒嬉　尺書豈無郵　問謁多愧辭
我有心與目　孰不為鳶鴟　母老家亦殫　弟妹貧賤離
長絕伯父恩　骨朽葬無資　天誅不可逭　何用涕交頤
因子感我私　聽歌行步遲　誓言如白水　我歸豈無期

送楊子承臺郎

六旬苦不雨　寢食不遑安　佳人重遠別　西風古長于
辟書豈無華　中臺切雲端　執簡贊畫諾　群彥集孔鸞
丹心照白日　雄辭瀉驚湍　所愛溫如玉　何湏銕作肝
賢才期有用　行志良獨難　上言保明哲　下以濟時艱
關陝民食子　蜚蝗蔽淮壖　便須給餽餉　胡能及朝飧

維斗不可酌　西望銀河乾　安得仙人掌　盤[傾-匕+(泳-永)]玉露溥

送江希顏兼呈佛智師

豐草霜不死　孤陽地中回　佳人獨憔悴　窮居謝行媒
朅來為親友　飲馬寒江隈　鷄鳴戒蓐食　晨發急景催
念子薦孝道　每食涕盈腮　霜露感祥練　聞琴有餘哀
我生非人類　未可置蒿萊　師老不得養　疇當恤凶灾
尺書那忍寄　未語先心摧　驪駒且勿歌　作詩補南陔

追和洪景盧內翰題龍[基-(一/八)+(冗-几)]寺韻送曇西竺

中年涉憂患　事與壯心違　誅茅依磵曲　我歸已無時
上人受經地　遠赴千里期　江烟連竹色　香露滴薔薇
重關無拒客　政使過門稀　只許毘耶老　天華不著衣

次韻王伯循御史見贈

昔居西巖下　茅屋三四間　野服愧朝命　孤雲不知還
使君起西土　白晝風景間　遠謁承明廬　對榮敢犯顏
錫燕上林苑　筐篚屢所頒　高度宜清要　蘭基遂通班
哦詩泉上寺　春溜荅潺潺　感予松菊荒　日暮思故山
公才濟時用　我退亦靜慳　留衣從此別　勇往無後艱

贈曹伯珪

吾友瑛與照　昨日去霅水　豎子語燈火　惜別中夜起
君來豈有期　送迎如聚蝨　歡笑失窮憂　明燭代短晷
溪翁樂禪寂　文字棄康粗　恩公雲門來　相向氣劘壘
馬鄧列仙癯　杜鄭國良士　道術有至樂　無庸實筐篚
不能信宿留　孰有重於此　洞庭波如山　月出光散綺
高齋桂團團　萬卷淨窓几　[屮*土]夫各有慮　豈為守閭里

梁楷田樂圖

作勞田中歸　酒味薄可漉　人生一醉飽　良不負吾腹

牽携影參差　歌吹非有曲　流風一胥靡　此樂不可復
吾人孰非古　亦有心與目　封倫恨不留　重睹貞觀俗
昔在唐虞世　苗民有不服　地墝知良農　畜瘠求善牧
願持畫史心　獻君比和玉　朝來愧斯圖　惻愴意未足

賦得露盤送邵本初侍親之括蒼

露盤何亭亭　高挹南山青　南山豈終固　托茲金石貞
方諸貴同潔　九鼎儗或輕　芳澤晞朝日　恩光照紫庭
瓊液寒初凝　黃流注不盈　我願為膏沐　添然一氣清
蒹葭既堅落　蓼蕭亦滋榮　但念括山遠　沾衣戒霄征
仙人餌玉屑　游子藜藿情　亦欲備甘旨　非關學長生

次韻廉公秀御史送觀志能臺郎赴都

我愛魯司寇　談笑隳三都　中流天一柱　孰憂顛不扶
使君蘭臺[(立/(厂-一))@((必-心)*人)]　去惡如摧枯　利刃剞
芽[打-丁+(十/丌)]　冏顧蔓難圖
問俗湘水上　重吊楚大夫　長笛幽憤作　落日壯心孤
歸舟百靈護　風雨聞號呼

送觀志能臺郎赴都(得勸字)

皎皎瓊林枝　一見足良願　三年獲周旋　臺端肅懲勸
野吹結夕陰　江烟帶寒蔓　歌長步遲遲　庶以展懷戀

次韻石室贈琦上人

啄木驚我夢　丁丁伐平林　書來敘別久　長憶倚梧吟
重江蛟鰐橫　感子遠訪尋　氣肅蟄戶閉　天高鳥遺音
楓林生野吹　河漢蕩秋陰　相期如古人　庶以展我心
令躬崇道德　不貴玉與金

顏暉狷

峽冬拖長冰　崖滑如積銕　客子涕縱橫　悲狷助嗚咽
仰視浮雲崩　再聽蒼石裂　不畏行路難　但感芳年歇

子昂竹石

石丈吾畏友　此君義不薄　寧知是圖畫　清風滿丘壑

武仁夫蘭

有芯藉芳烝　彼美蒨蒼玉　山林雨露深　保此媚貞獨

萬空

萬有歸一空　一空具萬有　真宰靜無營　大化自樞紐

送欽上人

我有錦繡段　翠鯨卷波濤　君家古刀尺　裁剪不憚勞
散作五色雲　隨風九天高　天高望不極　江水日滔滔

送吳希賢提舉

孔子萬世師　委史尚為之　吳君學孔氏　義盡所當為
國用資泉府　况復官非卑　錢幣有輕重　相權酌其宜
舟車運四海　使命速星馳　流行防壅遏　新故代有時
糜腐[田/廾]炎燎　監臨肅官威　邇來苦剜偽　奸弊日繁滋
閘閱役閭左　逃奔困囚纍　君才剸煩劇　洞照情無遺
游刃析肯綮　爬梳理棼絲　彊弱均惠施　示信明質劑
駢羅紛瑣碎　不異貝與龜　貿易欣所獲　童稚莫或欺
巨賈或深藏　或負歌而嘻　互市置酒慶　父老再陳辭
郡[俟-厶+亡]樂僚友　飛章省與臺　為政盡如此　寧憂事不治
陳平宰天下　分杜先自期　况君早榮遇　陪直通金閨
晶熒瑚璉器　淩厲青雲姿　壯業知不負　祖張書吾詩

琴書自樂詩

鼓琴由藝進　讀書以學博　過耳音不留　空言亦奚託
千古會吾心　於焉有真樂　雨過晚凉生　臨池看魚躍

怡如堂為鎦彬之賦

舜琴解民慍　象傲未必俊　周公賦棠棣　莫釋管蔡冤
不齊物之情　大聖何能全　鎏氏[病-丙+(皮-(丨/又)+(王/田/皿))]陵秀　詩禮世蟬聯
討論自師友　萬卷金薤縣　所適况吾土　山水清而妍
[(口*賕)/(凵@干)]鳴悅佳蔭　頹尾便漪漣　富貴苦憂患　皆由外物遷
漂泊悲夜雨　遠征愧飛鳶　怡愉有至樂　孰若斯堂賢
一翁與二季　蘇也敢獨專　聯璧上金榜　側耳鴻臚傳

題畫

遠山如故人　夢寐思見之　見之了非夢　十居可無期
乃知畫者意　善幻牽吾思　居然磵之曲　彎碕俯茅茨
川容得春媚　渙渙流晴漪　魚罟散蓬藶　鹿疃縱橫馳
澄江起暮色　客袂風凄其　所歷紛可數　身世亦足悲
百年俱幻境　對此奚獨疑

感興二首

臥病長江上　朔風撼我床　坭垣壞積雨　弱柳空自長
猶懷嵩璉歸　何曾羨奎章　白壁忍橫道　千金戒垂堂
鳳皇五色羽　風雨傷摧殘　坐視不遑恤　百憂如驚湍
我夜不得寢　我食不得飡　因知古人意　相戒行路難

索士巖都事赴澥東僉憲以疾不能送作詩寄別(絕筆)

鵾鵬雖鉅物　為瑞不如鳳　五金利而堅　良王世所重
古來德輔時　不必[起-巳+(色-巴+((巨-匚)@十))]俗用　公德配古人　文藝復掩眾
前驅失班揚　後顧無屈宋　譬之武事嚴　萬甲卷殺雍
往年試春闈　對策天威動　烈風挾長波　電影掠飛鞚
稱此衣繡榮　人品賴飄綜　任眾難獨專　榱桷襍楹棟
分憲得問俗　施惠徵前痛　積水散鳧鷖　良疇沒菰葑
飛章檡守令　邦賦足輸貢　懷德民不欺　率教童知誦
平生許經濟　無由預賓從　方外亦何有　天地一空洞
所慚世繦嬰　不虞禍機中　車僨長途暮　舟膠哀壑凍
甘澤被污萊　巨照燭昏曹　乞退悔苦晚　誰無鉢飯供
願從金華山　芋區荒可種　更憐蘇長公　忍別阻追送

短歌愧知己　空懷好音哂

蒲室集卷之一(終)

蒲室集卷之二目錄

古詩(七言)
月氏王頭飲器歌
曹娥江讀碑圖
太白觀瀑布圖
駿馬圖
宿牛頭菴
初發金陵夜泊龍灣寄茅山道士李方外
趙魏公松石梵僧圖
岳柱留守捕蝗詩
商德荇畫為雲門若季蘅題
會曹伯珪
送張清夫
顏暉畊牧漁樵圖
次張夢臣侍御游鐘山五十韻
曹伯珪築室曰桂齋戲作徘諧體
送許典史
贈醫者夏仁齋
寄隆祥使司張
司丞
湯氏義門詩
蘭蕙同芳圖為逯彥常賦

蒲室集卷之二

豫章　釋　大訢　笑隱

古詩(七言)

月支王頭飲器歌

呼韓欵塞稱藩臣　已知絕漠無王庭　馳突猶夸漢使者
縱馬夜出居延城　我有飲器非飲酒　開函視之萬鬼走
世世無忘冒頓功　月支強王頭在手　悵下朔風吹酒寒
凝酥點雪紅斕班　想見長纓繫馬上　髑髏濺血如奔湍
手麾欲回斗杓轉　河決崑崙注尊滿　酒酣劒吼浮雲悲

使者辭歡歸就舘　古稱尊[文*且]備獻[酉*(刀/(刀*刀))]　孰知盟誓生戈矛
斬取樓蘭縣漢[門@(拫-日+口)]　功臣猶數義陽[仁-二+(亡/大)]

曹娥江讀碑圖

海門五月潮如山　龍伯巃[尸@目]蒼蛟頑　越俗輕生好巫鬼
婆娑踏舞洪濤間　群巫姣服盱獨好　歌聲忽絕紅旗倒
孝娥死抱父屍出　天地無情日杲杲　雄詞不愧邯鄲兒
萬金莫購中郎題　碑陰八字非隱語　德祖有智如滑稽
豈是阿瞞不解此　感媿上馬歸路迷　女德猶能奮其節
壯夫氣吐萬丈霓　奸雄復欲欺後世　白頭猶愛漢征西
丹青似是董狐筆　千年要與竹帛齊
娥江新廟照江水　可憐銅爵草萋萋

太白觀瀑布圖

我本白雲人　見山每回首　披圖得松泉　感我塵埃久
我家只在九江口　從此扁舟到牛斗　翻愁天上銀濤堆
石轉雲崩萬雷吼　水行地底不上天　龍泓豈與滄溟連
風葉無聲飛鳥絕　月光雲影天茫然　丈人何來自空谷
謫僊招隱當不辱　林稍噴雪舞飛華　尚想隨風唾珠玉
馬首青山如喚人　歸來好及松華春
泉香入新釀
觧公頭上巾　今者孰不樂　荒墳委荊[社-土+(秦-禾+示)]　遂令畫師意
萬古留酸辛　酸辛復何益　東海飛紅塵

駿馬圖

世無伯樂亦久矣　駿馬何由千里至　披圖猶似得權奇
豈伊畫師知馬意　何人致此銕色驪　施毛繞腹新鑿蹄
帝閑遠謫天駟下　馳來月窟浮雲低　古王有土數千里
八極周游寧用爾　方今萬國效奔命　合遣龍媒獻天子
颺馳電沒爭辟易　萬里所向無前敵　男兒馬上定乾坤
腐儒詩書果何益　幾愁骨折青海烟　黃沙野雪穹廬前
幸逢好事[冗-几+(舄-臼+(丨*日))]真傳　似向長鳴誰與憐
嗟我身如倦飛鳥　十年繭足愁山川　安得千金購神駿

攬轡欲盡東南天

宿牛頭菴(有序)

延祐甲寅十二月登牛頭山雪後見草菴如[大/(中-丨+(皿-冂))]有淵道人居之從一竇俯入中可丈五設一柴牀無它長物客至則立語謝客客故去淵以半坐分我且言始至從樵者丐畚茅席地為座[泳-永+(瑤-王)]雨沮洳翹立終日居人始憐我有周文卿為搆瓦屋三間而子適至豈有所待耶敢以菴累子一日會周相歡如平生翌日作詩相留予既慕融公高風欲憩止焉而志不果作短歌謝周

憶昔壯年游東溟　大舶椎鼓江上行　天女吹華龍象舞
風水夜作蛟鮀驚　浩歌聲戞牛斗上　百年有志非功名
箋經冐讓甘露滅　上書獨許嵩仲靈　青春悠悠去不返
萬里孤蓬尚漂轉　可憐歲晚長于城　冰雪連天江漢遠
紫雲如盖青石寒　必逢勝處一解顏　平生始識周處士
臨岐握手俱忘還　老子胸中飽丘壑　道人眼底無江山
十日茅茨臥風雨　便擬挂錫烟蘿間
師年八十不可待　又欲為母營朝餐　况聞大法可痛哭
我心安得如石頑

初發金陵夜泊龍灣寄茅山道士李方外

人生不必行萬里　亦不願讀萬卷書　願為茅山十日客
山僧座列群仙圖　大峯揚旗出天闕　小峯萬馬爭奔趨
俄頃波濤忽破碎　木未飛上金畢逋　青書畫馳壇室靜
王鞭夜擊聞傳呼　去年獨宿[舟-(白-日)]井下　天風拂地迎麻姑
今年許入玉柱洞　誰遣旅食隨檣鳥　懷人吊古夜寂莫
寒江落月號猩鼯　祖龍埋金王氣歇　梁宮晉苑沈烟蕪
想見雲龍映朔日　山中宰相良非迂

趙魏公松石梵僧圖

趙公說法如淨名　自言前身元是僧　惟師粲可樂禪寂
譯經不讓什與澄　如幻三昧驚幻目　遊戲三生餘習熟
天子置之白玉堂　富貴苦人如桎梏　不受一塵虛自照
萬物芸芸觀眾妙　揮毫不假意經營　我知顏陸非同調
當時西域多龍象　獨畫深禪了真妄　巖石寧須著幻輿
淩烟不必求諸將　誰呼胡僧從定起　向人不語唯彈指

顴頰深眸貫雙耳　歸渡流沙三萬里
我獨何人甘陸沈　著脚紅塵十丈深　長松有約從公去
南嶽天台無處尋

岳柱留守捕蝗詩(有序)

丘柱留守嘗監懷慶路穀將登而蝗至禱之唐太宗廟一夕大雨蝗盡死歲以大穰都人士作詩美之予亦追賦一首
蛇可捕子虎可搏　古者尚譏官政虐　彼蝗為灾不可禦
忍使吾民委溝壑　我[仁-二+(亡/夫)]作郡民父母　救灾弭患必師古
貞觀天子天可汗　仰天吞蝗天悔怒　新廟弈弈神所持
牲肥酒[上/月]拜且祈　我苗芃芃黍離離　嗟我婦子同耘耔
生而孔艱復殘之　曷若勿生勞我為　雲車風馬來委蛇
凍雨前導風凄其　盡殄孽類無留遺　僵若蟬蛻粘枯枝
民頌[仁-二+(亡/夫)]德[仁-二+(亡/夫)]曰辭　歸功於神民不疑
嗟哉彼蝗人共知　彼人而蝗胡可欺　膾人之肉啖以肥
維跖暨綮盜所資　亦有讒舌如銛錐　笑譚只尺生危機
古來覆國七廟隳　四海流血民瘡痍　神不殛之神所疵
惡稔而斃徃莫追　天人好惡常背馳　不生鸞鳳生梟鴟
茫茫太化不可推　為惡可肆為善危　文皇至今天日姿
宜錫我[仁-二+(亡/夫)]福如茨　如房如杜登天墀　去惡如草務芟夷
如殲厥蝗不復滋　吾民重覩貞觀時
作歌長尉吾民思

商德苻畫為雲門若季蘅題

左山文采妙一世　季子德苻以畫傳　家世風流寧復爾
粉繪零落隨朝烟　德苻一飲一石酒　山中作客無旬久
携我一匹東絹歸　畫成許寄墮鳥有　溪翁何幸得片幅
著我風瓢寄枯木　萬壑驚濤聲撼屋　陰厓六月寒生粟
我倦將迎奔驥渴　有懷浩蕩春江闊　惠遠何曾過虎溪
猶聞大覺焚龍鉢　豈無荷屋薜蘿衣　豆苗如玉山雨肥
十年已負長松期　扁舟好逐畫圖歸

會曹伯珪

故人乍見如生面　良久熟視仍驚呼　六年恆我憂患餘
不應豐羙如瓠　煖湯濯足敷座坐　呼童爨玉羙土酥
携過雙林謁大士　天華吹墮紅氍毹　斷穗清霜農圃淨
寒鴉落木漁村孤　從游復恨冬日短　張鐙待月松堂虛
淵明不入惠遠社　杜子頗是贊公徒　彼皆艱難困生理
好事豈有此樂且　曹君曹君慎勿踈　他年念我專壑居
夜來奇夢果有徵　乘風萬里雲龍趨

送張清夫

清夫吳江人為其友袁通甫收遺文來錢唐作歌送別
[土/衣]子平生妙斲輪　未必俱化隨埃塵　十年讀詩不相識
斯文義與骨肉親　徧搜遺稾走江城　吳人徃徃未知名
錢唐晚值張公子　為我開篋金石鳴　昌歜尚須論所好
惜哉已徃空戀嫽　况有張公德業崇　訢也敢不攄懷抱
去年湖陰三日雨　飢吟待且聽五皷　風水愁催晝鷁飛
松杉喜作龍虬舞　別後寄書能幾回　搴裳有約今雨來
高歌擊節孰不樂　空山井塌生秋苔
王門曳裾三十載　只今鬢影霜[白*登][白*登]　風流何止一丘壑
置之燁燁黃金臺

顏暉耕牧漁樵圖

南陽草廬人已非　短衣飯牛歌獨悲　渭濵之叟非熊羆
買臣五十即纍纍　江湖與子終忘歸　北風吹面鬢如絲

次張夢臣侍御游鍾山五十韻

驪駒在路客在門　送客張燕當平原　鍾山猿鶴有舊約
石磴百折不憚煩　振衣西揖洪崖月　持竿東拂扶桑[日*敢]
天風高寒鳥不度　陰崖六月挾纊溫　張公身到牛斗上
歸路雲中哦七言　老韓角勝光萬丈　山火爛爛照陸渾
玄冥却走海若避　大旗偃道車橫撥　蘇仙騎氣御八極
乘月夜過羅浮村　神交千載若有待　天[田/廾]王室為屏藩
平生知名今識面　精爽飛動風中旛
繡衣東來肅南紀　玉質照映沙塵昏　相依願為繞樹鵲
擇木不愧投林猿　揮豪千章水東注　雅思萬古雲孤騫
前席趣歸宣室殿　瞻星夜近太微垣　林下從游恐相負

小山蔈桂何滋蕃　新詩題徧霜筠節　雄文鐫入蒼厓根
上方樓觀壓霄漢　御榻當年朝至尊
瀛海三山扶納陛　雲烟千尺上鉤援　岳瀆奔驅百靈集
蛟龍上天九河翻　芒碭雲氣不復見　鼎湖弓劒今猶存
松檜毿毿葆羽合　重岡肅肅萬馬屯　中丞元勛王相種
天庭簉羽[朔-月+羽]鸞鵷　六時長齋供梵唄　終歲不聞絲竹喧
每對羹墻增感慨　從狩鈞天勞夢魂
洞庭日下蒼梧野　落木西風揮淚痕　居憂起復重嗚咽
百年忠孝情彌敦　幕中從事盡金玉　雅頌更奏伯氏塤
山人枯槁甘自棄　幸一染指如解黿　豸冠峨峨銕面寒
翠柏清霜玉露繁　鼓鐘會食列五鼎　蘭烝桂[酉*齊]羅芳蓀
上踈骨鯁動天[聽-王]　南山可移舌莫捫　側聞傜獠肆椙獗
竊發五嶺長蛇奔　海隅赤子苦脅從　如掩澤雉居籠樊
官軍深入期格捕　帶甲千萬乘冬暄
無乃州縣失撫字　彼猴而冠鶴而軒　灾異示儆孰不畏
震驚坤軸如風掀　齊魯洪流及准甸　鯨呿鼇擲相吐吞
公歸補袞佐調燮　駿奔百[木*巳]埋璵璠　股肱明良元首聖
矯矯玉柱擎崑崙　畫圖早上麒麟閣　迎春先酌白獸罇
吾徒無為樂閒暇　剩収芋栗充晨飧　曇翁三生道林老
譚經屢對華林園　披圖再覩天日表
愧我杯渡從乘鯤　投機未能箭鋒直　懷德請以知己論
門徒散華時入室　公卿問道夜叩閽　玄風載揚化日永
八荒壽域開皇元
郊天祭地神考享
降福蔺蔺施聖孫
弈弈相輝聯棣鄂　至哉地勢培重坤　明公作歌播金石
山礪河帶矢弗諼
聖明日月昭萬代　但願容光及覆盆

曹伯珪築室曰桂齋戲作俳偕體

阿仙騎蟾白銀[門@(拫-日+口)]　醉折秋華餐玉屑　霓裳曲散墮清塵
涼夜素娥悲白髮　玉輪碾香空翠寒　流光萬里君合歡
大星漸佇海色白　高齋翠影空團團　萬卷芳心期厚地
憔悴秋香忍相棄　百年苦使富貴羈　淮南小山歸不歸

送許典史

杜老愛為青城客　不唾其地心惻惻　我居錢唐三十年
與君況是巷南北　我來金陵主官寺　君佐邑宰為長吏
奔趨同是可憐生　貴賤何分等兒戲　方今人情尚徃復
吏事公才要精熟　君雖足疾善應酬　跰躚可儗追風速
獄訟簿書森似束　剖决詳明如破竹　鳥臺巖巖人側足
霜威砭體寒生粟　近聞郡縣不知戒　高冠駟馬多顛覆
君今羙觧反瓜期　縣幕雖昇良不辱
父老扶携邑長留　載酒百[大/(中-丨+(皿-冂))]車折軸　我自山人寡送迎
作歌庶以勵風俗

贈醫者夏仁齋

宋清知名自柳子　夏生何幸逢魯公　魯公况是國元老
品題孰敢當才雄　誠藝潛宮稱絕藝　喜動天顏錫金幣
後來竊比介推賢　徵車不入都門市　一[大/(中-丨+(皿-冂))]自有一乾坤
誰道天人隔幾塵　白榆紅杏成行種
雞犬仙家萬戶春　莫恠風塵彫玉質　芳名誤被時人識
更將草木代虫魚　陰功早已標仙藉　我行南北倦將迎
何暇役君問養生　身幻不須憂二竪　心安那用守三彭
是身是病從何起　因癡有愛淪生死　天華如雨石房深
誰識毘耶老居士

寄隆祥使司張司亟

聖皇孝治嚴宗禋　祠官秩秩皆大臣　光動雲霄金鸑鷟
駿奔風日天麒麟　我公惻怛劇忠愛　精誠默與神靈會
氍毹華雨佛壇深　玉色天容儼如在　潛宮重念大江南
江華冥冥柳毿毿　白頭父老望巡幸　雲車風馬龍為驂
古昔褒崇前聖墓　守墓猶令復其賦　山中御榻神龍護
忍對羹墻重思慕　省臺入移副宸衷
我公驅馳早夜同　門徒書來感深意　一飯必報心忡忡
相知何必論相見　千里同風如對面　終願臺端有高選
繡衣南來尉懷戀

湯氏義門詩

九江義門是吾族　流落四方困窮獨　幼承慈訓寄空宗
隻影江湖隨鴈鶩　吳門湯氏碩且蕃　七世同居二百年
中書旌表部符下　郡乘載之太史傳　幸際明時歌有道
誰謂古來風俗好　孔子東西南北人　周公兄弟不相保

蘭蕙同芳圖為[逯-(彖-豕)+(┐@一)]彥常賦

生子當如陳仲弓　元芳季芳古無同　後來蘇氏亦聯壁
皆以二季奉一翁　二難繼美復繼世　爰有衛墟之逯氏
王孫揮灑寄清標　同芳媲德宜蘭蕙　前登佩玉舞斕班
後者巧笑生眉彎　置之臺閣伯仲間　况復齊名大小山
休論九畹與百畝　優劣較香華可數　離騷三復對靈均
再皷朱弦尉尼父

蒲室集卷之二(終)

蒲室集卷之三目錄

律詩(五言)
送趙公子去疾侍平章魯國公歸蜀
次張夢臣侍御游鍾山五十韻
述懷送觀空海歸臨川七十韻
送宋誠夫侍郎福建注選歸　朝
送何彥敬赴山東憲幕
送暉昧谷歸蜀
完者篤捻管瑞麥詩
送鎦文美知事赴燕南

蒲室集卷之三

豫章　釋　大訢　笑隱

律詩(五言)

送趙公子去疾侍平章魯公歸蜀

所羨還鄉樂　茲行得侍親　魯公黃閣舊　宣詔紫泥新
給傳舟車備　承筐玉幣陳　會靈奔岳瀆　移次動星辰
父老懷遺愛　朝庭眷大臣　百年輕重計　一舸去留身
子職共承重　親知囑諭諄　行庖供膳早　張燕進觴頻
寶瑟調銀甲　琱盤鱠玉鱗　雲林還吊古　風物獨傷神
地勢金城壯　山光錦浪匀　江喧初上峽　樹遠欲通秦
牛女天河夜　魚龍野水春　豐碑臨巽眉　高[土*豕]撫麒麟
側聽歌淇澳　猶聞起渭濱　上尊羅甲帳　仙仗擁蒲輪
朽櫟依瓊樹　飛華戀錦茵　峨眉尋舊約　谷口卜芳隣
願結香山社　終陪綠野賓　相期無遠別　萬里月隨人

次韻張夢臣侍御游蔣山五十韻

勝遊還送客　秋日淨郊原　別酒歡逾洽　行廚禮不煩
楓林生晚吹　鞠沼媚晨暾　滿座金貂貴　斯人玉雪溫
[糸*系]綸承異渥　黼黻進嘉言　宥密皇猷重　才華大雅渾
披雲簾挂玉　前席錦為墩　接武夔龍地　冥懷鴈鶩村

外臺分重寄　南服占名藩　登麦初横榻　迎春及賜旛
馮高荒壝汶　吊古断碑昏　種竹期招鳳　尋僧共[聽-王]損
洞呀獰蟒化　海立怒鵬騫　珠鈿沈眢井　金鋪委壞垣
國初遺老在　江表故家蕃　及物多膏澤　為邦固本根
化行民自信　身退道彌尊　羡俗時丕變　吾人溺可援
山川還寂寞　歲月去翩翻　廢舘弦聲絁　虛龕繪像存
苔班飢鼠走　梅臥野蜂屯　除道看驄馬　來儀集采鸞
傳呼驚鹿　笑語荅江喧　撫跡多遺恨　懷人欲断魂
馭風寧有待　斲堊妙無痕　師表儒林盛　賢勞王事敦
不求金躍冶　但愛土為塤　陳寶徒祠雉　桓溫苦化黿
青山随地好　朱實著霜繁　充味和椒桂　同馨佩芷蓀
衡廬肩可柏　參井手先捫　說劒雙龍吼　揮豪萬馬奔
築臺先自隗　學圃耻如樊　破衲多年冷　窮檐傍午暄
不才甘朽櫟　何幸枉高軒　蕪穢煩芟刜　泥塗頼力掀
班揚鋒遠避　屈賈氣還吞　舉世懷燕石　惟吾重魯璠
三光開渾沌　萬[泳-永+(瓜-、)]出崑崙　喜接東山屐　叨陪北海罇
辱知榮篚帛　懷德報[右/(冗-几+(中-丨+(皿-冂)))]飧　多稼欣逢歲　嘉蔬更滿園
雲霄翔[(共-八+隹)*鳥]鶴　溟渤偃鯨鯤　寒士勤噓拂　諸生淑討論
望塵趨末路　立雪候重閽　緣忝三生舊　心冥萬化元
棠陰思召伯　柳色憶王孫　精衛慙填海　神鼇力負坤
他時愁遠別　此意竟難諼　嵩華相從去　重窺王女盆

述懷送觀空海歸臨川七十韻

幼慕空門貴　高[跳-兆+京]世可遺　功名輕閥閱　塵土豈磷[石*甾]
澄觀難居俗　湯沐不癈詩　三生猶有習　四海豈無師
身去江湖遠　山空雷雨垂　諸方驚老宿　同舍走群兒
素昧平生願　居然會面期　觧牛須冐綮　相馬必權竒
壯業期軒輊　新功日蓓[蓰-(走-土)+又]　氣豪空虎穴　戰勝失魚麗
五載靈谿寺　千章白雪詞　清游忘且暮　物論不瑕疵
奎畫前朝祕　清霜古佛規　巖空孤有塔　山古寺無基
松燎供霄讀　芹香助午炊　凍泥蛙似蟹　春雨菌如芝
遠客愁猿狄　村童枹鹿麛　雲藏吳猛廟　雷護柳公碑

物色紛難數　雄林應接疲　願終盤谷隱　耻事北山移
未覺歡娛盡　深蒙造物私　寒巖徒刻畫　元氣忽淋漓
共喜師門盛　何嗟友道睽　青山吳甸沒　白水楚天涯
落日三年望　浮雲兩地思　驛書勞白雁　貞信卜玄龜
果爾期雞黍　同心感銕鎡　群公來襜還　餘子去委蛇
風日矜神駿　雲霄刷羽儀　古今存道統　師友得綱維
今代誰潛子　宗門一器之　聯芳端不忝　清要合如斯
自許奔流象　何知測海蠡　芟夷開樸楸　洗滌脫瘡痍
吊古多閒暇　登臨甚忸怩　山河秦百二　宮闕漢杲愚
黃壤侵銅狄　春風動兔葵　林蘇俱異物　標晝不同時
志大交難合　歌長聲愈悲　近人山擁座　照席月臨池
正擬追金玉　方將脫罼羈　不才還涉世　中道遂分岐
相失嗟狼狽　無謀哂鷾鴯　交情淡於水　真味羨如飴
衣綻寒分絮　囊空遠貸貲　鴒原兄弟急　犴獄簡書疑
仁者應無敵　將軍自數奇　波濤孤梗汎　風雨一巢危
亡命憐張儉　逃生愧范睢　百年俱繾綣　千里許驅馳
誓欲同生死　那能顧渴飢　推恩豈望報　菲德竟何為
吾道縣孤注　蔡林失一夔　老師甘屏棄　弟子頌期頤
逝水歸東壑　流光及崦嵫　空餘匠石斲　誰善宰夫胹
行獨招群忌　名高得謗隨　長鳴悲病鶴　老氣臥孤羆
入室猶橫槊　承顏或奉匜　樓孤金驛遠　河直玉繩欹
未猒從師樂　其如念母慈　江雲連穲稏　山雪濕茅茨
短世驚炊[禾/米]　成功付覆碁　何曾犀首貴　空作虎頭癡
白日真成去　青春有別離　風烟辭北固　江漢抱南箕
浪穩饞蛟睡　天長白鳥遲　鄉關迷遠近　雲樹暗參差
幸喜收蠻獠　千今靜鼓[鼓/車]　詩成須數寄　清響播塤[竺-二+(皮-(丨/又)+(王/巾))]

送宋誠夫侍郎福建注選歸朝

已見崇儒效　端由取士優　涵濡知聖化　啟沃待嘉謀
歷以諸難試　旋聞百廢修　分曹仍領選　南省且停騶
齊相門難掃　山公啟可投　炎荒逾嶺海　東極控閩甌
水鏡明群象　銓衡列九流　人期修乃職　吾欲抶其亢
分寸躋難上　錙銖細莫収　匪帷公論合　若應眾心求
六翮雲霄闊　脩鱗窟宅幽　乾坤生物大　雨露化工侔
紫詔頒宸極　清光動冕旒　天高烟嶂淨　氣肅雪霜稠
高盖相迎候　遺經得校讎　人材臻盛世　文物並中州

公已多遺愛　誰同紀勝游　清商金石奏　歸思繭[糸*系]抽
蓐食愁征僕　梅蒸損弊裘　諸君懷感激　短景惜淹留
愧我同樗櫟　勞生甚贅疣　斷蓬風卷絮　破屋雨傾湫
烟水蛟龍暮　江湖鴈鶩秋　銀河斜斗柄　雲海限瀛洲
待月飛金錫　因風駕玉虬　天台無負約　為我訪閭丘

送何彥敬赴山東憲幕

風物中州美　人材聖代優　恔恔光岳合　肅肅羽儀脩
省署千官盛　臺綱眾目収　諸公多汲黯　文椽獨何休
健筆回天險　精機洞鬼幽　霆奔群蟄奮　鼇負五山浮
貴已常存恕　知人庶寡尤　平生周禮樂　後世魯春秋
西極銷鋒鏑　坤維得綴旒　元功推衛霍　首罪竄共兜
陳寶無祠雉　挑林已放牛　九天行日月　一命重山丘
幕府非間散　山東且勝游　颱車馳羽檄　霜刃避吳鉤
白下諸侯酒　准南使者舟　風清捎退鷁　月冷動潛蚪
歷數無雙士　誰為第一流　託交慚素昧　道術得相求
塵土緇衣浣　山林白髮羞　送君因有感　暮色起滄洲

送暉昧谷歸蜀

西土稱多士　吾宗代有賢　百年罹未運　三蜀竟中捐
江漢情悽若　關河氣蔪然　重來天下士　忽見國初年
日月臨雙闕　星辰共一天　人材端有合　地勢豈云偏
今代誰名勝　斯人亦靖專　鵷雛文翮健　驥子肉驥拳
濯足思滄海　浮梧動碧漣　池魚知法要　山兔學深禪
行李元無住　飄蓬也自憐　登高群木下　吊古大江前
猶說錢唐好　徒聞銕甕堅　英雄銷鷙鳥　簡牘謾蟬聯
故國雲千疊　新秋雨一川　江風今夜急　巴月向時圓
鴈[起-巳+只]傖人笛　鴉迎賈客舩　出潭天似束　入峽水如縣
久駐邦君騎　爭輸邑子錢　雨華知滿地　鐘鼓報林泉

完者蔦捴管瑞麦詩

白下農登麦　民歌秀兩岐　樂郊原膴膴　化日景熙熙
膏澤均千里　薰蒸足四時　舜琴方日奏　鄒律協期吹
玄測猶存象　休徵不待龜　誠通天自應　氣感物無疵
紀瑞農司喜　披圖太史知　聯纓珠的皪　雙佩玉葳蕤

宿雨含芳　鮮颸動綠漪　鳥嚶金羽並　雉雊錦雲披
充市邀湯餅　比隣餉糗餈　丙丁先薦祖　庚癸免呼師
翁飽支頤睡　兒間鼓腹嬉　不須秦貸粟　無復魯憂葵
子產多遺愛　張堪匪溢辭　頌慚連理木　歌忝九莖芝
仙李彌蕃衍　甘棠願永思　登庸期燮理　布治待綱維
展也風雲會　懷哉雨露滋　思文尊配稷　洪範遠傳箕
王道惟歸極　民心貴秉彝　來牟存古典　貽訓可無詩

送鎦文美知事赴燕南

江陵初扈蹕　忠義可回天　代邸朱虛重　南陽鄧禹賢
揮豪當白日　舞劒動華筵　宮錦紅雲暖　金盤玉露圓
古來三語掾　今代孝廉舩　無薄燕南幕　相期日九遷

蒲室集卷之三(終)

蒲室集卷之四目錄

律詩(五言)
佛智師歸仰山
送張用鼎游燕南
寄皇甫州判三首
次韻甯宣尉
送別二首
趙大年小景
送秦无之參議赴太禧宗禋院二首
送人奔父喪
寄趙伯寧中丞
荅張雪峯司農二首
庚午秋過准安
過淮河口
送薩天錫照磨赴燕南憲幕
送蔔上人
蘭蕙同芳圖為馬无搏賦
挽陳如心縣尹
次韻荅楊執中二首
次韻奉荅吳可堂左丞致政寓九江見貽
送睢陽王德明辟內御史府[掾-(彖-豕)+(立-一)]

蒲室集卷之四

豫章　釋　大訢　笑隱

律詩(五言)

佛智師歸仰山

早發扶輿拜　鐙明愛白頭　故鄉元自好　游子獨淹留
壯業真何用　孤懷未忍休　始終存眾望　不敢畏離憂

送張用鼎游燕南

天上知名久　由來漢客星　江湖歌白雪　風露滿青冥

巴蜀須傳檄　燕山待勒銘　壯夫期遠大　不獨抱遺經

寄皇甫州判三首

吏隱風流甚　高懷似野僧　八分秦畫古　三尺漢官能
止水心無競　清秋氣欲增　扶搖如有待　萬里看飛騰
錫谷泉無比　青山亦可人　試茶招野客　拄笏及清晨
平野牛羊臥　空庭鳥爵馴　學優為政樂　風俗見遺民
講罷長于寺　牛頭取次游　秋風三載別　滄海一身浮
擊鉢隨漁艇　飜經滿石樓　故人知我意　書札為相[酉*(刀/(刀*刀))]

次韻甯宣尉

將門三葉貴　古劒削霜硎　霧卷鳥蠻淨　風生碧海清
投[大/(中-丨+(皿-冂))]驚甲帳　飛墨動雲屏　未愜清游興　松房[聽-王]雨聲

送別二首

行役何時了　宗門可罷參　捂遲無杜曲　留滯尚周南
渡水聞天磬　登山禮佛龕　百年重回首　風柳正氂氂
沙鳥高佇語　江雲斷續飛　青山携手別　秋日故人稀
落落芳心在　悠悠昨夢非　歌長不用續　鯨浪暗吹衣

趙大年小景

斷葦仍摧雪　寒潮不上溝　扁舟從此去　一衲更何求
望遠支頤倦　臨流照影羞　披圖重有感　空負五湖秋

送秦元之參議赴太禧宗禋院二首

聖皇思孝治　禋祀荅鴻釐　文祖尊虞典　祠官肅漢儀
嘉言資畫諾　直道在綱維　珍重如金玉　山林尉所知
臺省東南重　俱稱幕府賢　人誇冠有豸　我愛筆如椽
行李江東月　離觴柳下筵　春風遺愛地　振粟萬樓舩

送人奔父喪二首

銜訃奔程急　秋陽晚作威　馬悲循道踊　烏感傍人飛
遊學期身達　哀榮與願違　始終全志養　德業足光輝
死生千里別　父子百年心　淚盡黃泉咽　愁來白晝陰
雲山通楚迴　江水入淮深　[病-丙+(皮-(丨/又)+(王/田/皿))]
墓多祥應　它年惠好音

寄趙伯寧中丞

八月廿一日人于趙伯寧中丞書其日趙初度遂寄詩二首趙與予同生甲申也
早忝相知舊　山林愧不才　生申同八月　雌甲異三台
鵷鷺龍庭會　風雲玉帳回　遙知初度日　宣賜紫霞桮
新寺承恩重　深慚燕爵微　寶階華散綺　金地月增輝
布畫勞鈞軸　經營識化機　西湖風雪夜　還憶對麻衣

荅張雪峰司農二首

宿衛千官直　明公列上頭　露華金井凍　紅葉石渠秋
分職農司重　為邦食貨優　不忘方外興　書札到林丘
營繕勞供億　推忠荅聖恩　玉泉上林苑　金地給孤園
華雨看還眩　星河坐可捫　南宗猶借重　不惜問風旛

庚午秋過淮安

百感何嗟及　行人過楚州　笛聲今夜月　雲物向時秋
古驛依城住　長河傍海流
天王南狩日　曾此駐鳴騶

過淮河口

水次千家市　蠻商聚百艘　揚徐元接壤　河泗此交流
乘傳陪天使　浮桮任海漚　夜凉瞻斗柄　想見上林秋

送薩天錫照磨赴燕南憲幕

蕭寺留詩別　高懷不負公　江聲元自急　山勢古來雄
下榻踈鐘雨　登臺落木風　重來無幾日　除道避乘驄

送蔺上人(有序)

分院官按行吉安諸山取妄庸住持十數人革去令蔺持咨赴行院投之蔺求詩贈此

千古象龍地　凄凉狐兔居　固應韓子論　無復仲靈書
使命文仍重　宗綱綱未疏　煩君馳檄急　感激壯懷孤

蘭蕙同芳圖為馬元博題(其兄伯庸為三臺中丞元博御史掾時人榮之)

比德宜君子　同芳伯仲間　舞風長佩委　笑日淺眉灣
蕙帳懷幽邈　蘭臺接上班　國香應自媚　容伴玉人間

挽陳如心縣尹

自昔稱人望　寧論祿仕豐　平生太丘長　今見魯山公
顒若思時雨　薰然被德風　承顏空有夢　長與逝川東

楊執中幼與予同舍自予去鄉里一別四十五年矣乍見俱不相識承惠詩二首次韻謝之

勛業雙蓬鬢　江湖萬里心　扣舷山月近　欹枕夜濤深
多士懷東觀　何人賦上林　只將弦上趣　白雪[冗-几+(舄-臼+(丨*日))]遺音
青衿巷南北　雞犬識比隣　驟面初疑夢　論交晚覺親
文章元有命　畊釣豈無人　老矣非吾願　滄州合問津

次韻奉荅吳可堂左丞致政寓九江見貽

晚節陶元亮　平生賀季真　雞豚栗里社　賓客午橋春
風物三生夢　功名百歲身　種蓮母負約　金地不生塵

送睢陽王德明辟內御史府掾

巡遠睢陽後　遺風士氣豪　河經商邑壯　山並閼臺高
月窟求龍種　天池集鳳毛　辟書寧易致　不用歎賢勞

蒲室集卷之四(終)

蒲室集卷之五目錄

律詩(七言)
萬歲山
黃河阻風
高彥敬尚書墨竹
送郭幹卿學士赴
奎章閣次韻趙魯公(二首)
次韻王繼學侍御金陵襍詠十首
新到建業二首
龍翔寺
君子堂
東窓看山
忠勤樓
重登忠勤樓
獨座君子堂
賞心亭
潛宮
為餘姚同知□□賦林泉
次韻馬昂夫捻管飲仙橋詩
贈王吉甫提舉
次韻吳閒閒宗師贈茅山徐真人
次韻薩天錫賦三益堂夫容
次韻王伯循僉事將上江東留別
子昂竹石
眉壽堂為趙子威照磨賦
次韻馮東麓侍御游鍾山
東麓侍御赴燕南憲使留別次韻奉餞
送太禧宗禋院照磨觀志能監造　御麵還朝
謝郭道淵以詩慶住新寺
次韻荅曹德昭臺郎
次韻曹德昭荅呂 仲實僉憲三首
仲實復和見貽勉荅二首
和張夢臣侍御題東林李高士西[(田/一/口)*專]詩卷(二首)
送張可道管句赴西臺
雪窓蘭
送趙仲德歸國學受業兼呈其父宗吉待制

送笪子敬赴蒼梧尹
送韓九成臺郎赴中臺
送趙子威臺郎還都
送楊文舉赴江淛省宣使
柯敬仲墨竹二首
敬仲作枯木竹石寄樵隱御史命題其上
謝張雪峯司農惠西域珍果二首
次韻張夢臣侍御　太子千秋日燕龍翔寺
李遵道墨竹二首
王元戴御史為沈禹錫畫洞庭圖

蒲室集卷之五

豫章　釋　大訢　笑隱

律詩(七言)

萬歲山

蜿蜒金翠倚青冥　虛谷時傳萬歲聲　葆羽毿旖雲氣濕
玉龍鱗甲夜寒生　關河拱挹皇居壯　宮殿深嚴聖慮清
自媿山林麋鹿性　也隨鵷鷺到承明

黃河阻風

九域重尋禹蹟荒　喜[聽-王]縣水夜浪浪　中原迤邐河流壯
元氣汪洋地脈長　萬里風雲來黯澹　五更星斗下光芒
我行不有神靈助　風送天香自帝傍

高彥敬尚書墨竹

西域高侯自愛山　此君冰雪故相看　倉梧帝子秋風淚
翠袖佳人日莫寒　妙處寧論銕鈎鐮　深情莫報翠琅玕
誅茅何處陰厓底　靜看梢頭玉露溥

送郭幹卿學士赴　奎章閣次趙魯公韻二首

歲晏俄聞上國行　安車可是莫年情　早朝翠霧沾衣濕

夜直銀河入坐清　社稷憂勤霜鬢短　江湖歸夢釣[糸*系]輕
相携不盡丁寧語　歌斷驪駒白下城
短褐寧陪衣繡行　相忘道術愧深情　光分玉樹精神合
氣肅金盤沆瀣清　孤鳳遠歸阿閣晚　六鼇浮去五山輕
微踪亦與扁舟約　烟水南詢第幾城

次韻王繼學侍御金陵襍詠十首

新到建業

翩翩葦勢捲春潮　自倚經綸荅聖朝
澣海天高霜鶻健　沙堤華發玉[馬*忽]驕　只知鼇負三山重
誰信鵬搏萬里遙　今日鳥臺還趣召　聚觀父老滿江橋
江表風流辱寵臨　青山無恙只如今　高陵雲合遺金化
秋浦凉生古玉沉　吏散圖書齋閣靜　公餘女樂後堂深
題詩石壁山靈護　莫遣春風薜荔侵

龍翔寺

潛宮樓觀頌中興　王氣東南百倍增　瞻鵲欲從銀漢度
攀龍空想白雲乘　經營不惜金沙布　[(厂@((既-无)-日+口))*頁]命猶傳玉几馮
誰識再來房次律　重尋葦垜記吾曾

君子堂

堂名君子為君開　喜報傳呼柳下來　當道豺狼應屏跡
故山猿鶴莫驚猜　波搖翡翠風生佩　露冷金莖月滿臺
况是青谿江摠宅　黑頭勛業未低回

東窓看山

微茫翠浪瀉青瑤　木末斜分鳥道遙　雲斂江亭初過雨
月明津樹欲生潮　厓根橘柚知誰種　磵曲茅茨許共樵
不羨東山攜妓看　堆盤鱠玉映紅消

忠勤樓

自負東南一劒橫　故膺宸翰錫嘉名　帛書峴首愁歸鴈
鼙鼓江心吼怒鯨　落木蔡祠孤淚墮　西風長笛壯心驚
奸雄欺國真兒戲　只比藏鉤謾鬪嬴

重登忠勤樓

宋亡諸將寂無聞　猶有高樓倚莫雲　并幹璇題彫雉羽
碑墓玉篆缺龍文　君恩虛負忠勤寵　王道須知禮義尊
空與後人增感嘅　當時羅綺只醺醺

獨坐君子堂(繼學曾師鄧善之鄧綿州人也)

海上歸來鬢未霜　登臨應不愧斯堂　風生葆羽迎仙盖
華散氍毹供佛香　江上蘼蕪隨意綠　雨中新樹過人長
綿州學士深埋玉　淚濕遺編可得忘

賞心亭

碌碌從人媿抱關　賞心應共鶴飛還　孤舟野水東西渡
落日長淮遠近山　神鼓乍喧香霧合　宦筵初散緑陰間
相思只尺長相隔　一似河流九曲灣

潛宮

御榻當年小殿西　龍光照地起虹霓　蓬來珠館珊瑚樹
夜月瑤臺白玉梯　甲帳列營環衛密　龜茲按拍蹋歌齊
代來故事馮誰紀　只有季季杜宇啼

為餘姚同知賦林泉

興在林泉道自存　不妨吏隱駐高軒　蒼生未起東山臥
坐客先留北海尊　谷口風高青兕吼　厓根雨過玉龍奔
壯夫出處皆隨分　且及明時報主恩

次韻馬昂夫捴管飲僊橋詩

銕鏁高縣隔杳冥　僊橋有路上瑤京　夜凉暗覺潛蛟動
曉色微看素練平　坤極尚遺神禹力　山靈空識祖龍名

爛柯舊事馮誰問　石柱題詩薛荔生

贈王吉甫提舉(至治未嘗為樞密掾建議誅逆賊史臣書之)

早贊中樞勇有謀　翩翩華勢萬[豸*鹿]貙　直書趙盾辭無媿
請討陳恒志未[酉*(刀/(刀*刀))]　委質朝廷思報効　得官隴畝
課鋤耰
野人好惡無偏徇　老穉遮留擁道周

次韻吳間間宗師贈茅山徐真人

當年野服謾朝天　不羨稽山賀老舩　翠蜃夜蟠金井月
采鸞朝下玉鑪烟　俄聞劫燒嗟灰墨　還見宮成慶醴泉
莫道仙人無白髮　步虛聲裏又年年

次韻薩天錫臺郎賦三益堂夫容

華開未覺早霜殘　留伴仙人酒半闌　翡翠巢空秋浦淨
落霞飛盡莫江寒　玉真對月啼雙頰　楚神迎風舞七盤
持向毘耶聽說法　病翁元作色空看

次韻王伯循僉事將上江東留別

江南江北白雲秋　隨分高情且宦游　醉著氈舡歸月下
夢披葭葦釣槎頭　光生玉宇秋先見　氣肅銀河夜不收
明日繡衣終遠別　看山不盡更登樓

謝張雪峯司農惠西域諸果

殊方佳實未知名　何幸分甘及野僧　把玩乍疑金粟碎
緘題還愛翠囊盛　紅鮮色映琱盤露　樣液寒生玉井冰
報以鹽梅助調鼎　願言百祿與川增
張公天上人乘槎　珍果南來合拜嘉　楚子謾誇萍勝蜜
安期不數棗如瓜　敢忘止足求多味　已分充飢飽一麻
但喜遐荒時入貢　輶車風露滿流沙

次韻張夢臣侍御　太子千秋日燕龍翔寺

天香一騎出燕山　闉闔雲開近可攀　華渚龍光瞻斗極
芒碭雲氣識龍顏　紀綱吳楚東南重　事業夔[白-日+(罩-卓+(舉-與+八))]伯仲間
燕罷題詩烟景暮　松高千尺鶴飛還

李遵道墨竹二首

有羌清揚鬢髮垂　神颸為佩氷為衣　亂鸞萬舞群仙下
葆羽多儀帝子歸　翠色夜寒雲靡靡　綠陰晝靜日暉暉
李公父子深埋玉　誰賞淋漓醉醉墨揮
長憶篔簹谷裏行　蕭蕭几杖早凉生　庭虛月色僧還倚
院靜秋聲客獨驚　仙鳳去隨秦弄玉　雲驂留待許飛瓊
錦綳只愛龍孫好　溥露梢頭照眼明

王元戴御史為沈禹錫畫洞庭圖

白簡風生嶽色秋　揮豪能為故人[酉*(刀/(刀*刀))]　霜華慘澹青楓樹
日腳微茫杜若洲　萬化胚胎元氣濕　巨靈斧鑿五丁愁
何時聽徹鈞天樂　從此乘雲八極游

送太禧宗禋院觀志能照磨監造御黼還朝

宗禋從事儗分曹　卷耳誰憐我馬勞　犧象雲雷陳秬[凶/匕]
鴟夷風露出蒲陶　周廬入直天光近　待漏隨班斗柄高
此去使鴻傳好語　雲中錦字認揮豪

謝郭道淵以詩慶住新寺

住近城南尺五天　眼看金屋會群仙　雲霞海上無三嶋
風月人間即四禪　父老多情思沛邑　從官有意賦甘泉
恩波不獨新蘭若　麟鳳呈祥五百年

次韻荅曹德昭臺郎見寄

華壓雕欄護玉墀　光涵珠綱耀摩尼　室空誰問維摩病
才紀徒憐[(厂@((既-无)-日+口))*頁]愷癡　塵土污人思自奮
雲霄舉翮欲何之

期君臺閣鵷鸞集　濯濯清風尉所知

曹德昭嘗蒙寄詩已率諸徒同和呂仲實僉憲偶見連和三首相遺予與仲實未及識感其相知率爾次韻上荅

桂殿蘭宮九尺墀　從游扑握與伊尼　形殘佝僂空全智
腹飽侏儒只學癡　厚贈瓊琚非報也　載瞻銀漢欲杭之
道同何必論傾盖　白首如新不易知
百挫摧殘不自持　雪山巢頂愧芻尼　人祈天女多求巧
我學吳兒欲賣癡　拭目扶搖斯下矣　馳心江漢願東之
使車不欲煩迎候　只恐星移太史知
繡衣千里想光儀　何待蒙俱識象尼　鼠首兩端知吏黠
蝗酣萬穴笑兒癡　孔顏聖域先登矣　儒墨風流一貫之
願續三賢龍井社　山行應許野僧知

仲實復和見貽勉荅二首

佛國親登七寶墀　見超無見捻持尼　情塵空盡還同俗
結習都忘不斷癡　東嶺雲歸招共宿　北山鶴怨任它之
吾徒未識毘耶老　衣染天華不自知
當年射策動舟墀　獨考遺經演聖尼　早化鵾鵬矜意氣
宜憐鷃燕語嬌癡　支郎居越逢玄度　蘇子來吳識器之
脫畧形骸忘物我　風流莫遣俗人知

張夢臣侍御題東林李伯高西疇詩卷次韻(二首)

風流一代盍纓簪　千載令人感慕深　老去歸田三逕樂
賢勞報國百年心　霜餘鞠圃踈堪摘　雪後梅坡遠獨尋
山水至今遺愛在　風清如聽倚梧吟
濟南汶上政相隣　只合歸畊致此身　雉雊淺畬乘日薄
鳩啼初雨燒痕新　彭殤俱盡同今古　物我無私孰主賓
欲問香山容入社　底須更覓葛天民

送張可道管勾赴任西臺

臺閣清流孰與同　還家乘傳似乘驄　西秦風物由來盛
三輔關河自古雄　邑子爭迎舟簇簇　津亭張燕鼓隆隆
相期衣繡重來日　還訪青谿野水東

雪窓蘭

誰把幽芳寄所思　山林久已負歸期　蘿龕賸箸雲千頃
蕙帳空留月一規　作賦何人捐洛佩　招魂有恨吊湘纍
因知老衲勞揮灑　杖錫敲冰上劒池

送趙仲德歸國學受業兼東其父宗吉待制

文采家聲固足褒　也應地勝得人豪　遺民思遠唐風古
大岳疆分晉水高　壯志聞鷄思擊楫　雄才倚馬待揮毫
而翁久檀[糸*系]綸美　露冷穹廬夜直勞

送笪子敬赴蒼梧尹

簡書深念遠人安　出宰蒼梧選上班　虛市穀登秋社早
津亭柝靜晝陰間　島夷德被唐虞世　鄒魯風移桂象間
奉　詔遺祠躬謁奠　忍看蔡竹雨斑斑

送韓九成臺郎赴中臺

賢勞念子獨遐征　上計郵程夜不停　月暈有虹蓮碧海
星流如使度青冥　權衡執法裁風紀　檮杭誅奸肅政刑
報奏歸來承異渥　好迂驄馬到林坰

送趙子威臺郎還都

王事雖勞足勝游　千官迎候夜鳴騶　憲綱久著威名重
人望還椎學術優　攬轡直踰沙漠雪　題詩偏愛海門秋
歸臺更羨皇華使　報奏　天光動璪旒

送楊文舉赴江湖省宣使

凍解春泥柳未青　騑騑四牡在林坰　家聲弈世推韓斗
天上何人識使星　黃閣盍簪春盎盎　火城分直夜熒熒
明年重對賢良策　第一臚傳出漢庭

柯敬仲墨竹二首

醉墨淋漓雨露春　九重何止動奎文　老龍夜奮千年蟄
采鳳朝翔五色雲　淇澳多賢歌衛武　倉梧有淚憶湘君
買山只合舟丘住　賸種清陰為我分
何處龍吟百丈泓　驟驚風雨助縱橫　[常-吊+糸]紆拳石藏千畝
次第寒梢發寸萌　解谷何人調六律　柯亭無客賞奇聲
五湖付與垂綸手　斬取長竿掣巨鯨

柯敬仲作枯木竹石圖寄樵隱御史命題其上

木石山中託舊盟　歲寒不改此君清　相期雲霧隨龍化
更待天風引鳳鳴　靜對聞琴宜夜雨　間來欹枕愛秋聲
老樵自是伶倫手　調入黃鐘取次成

子昂竹石

竹君石丈舊相忘　曾奉王孫直玉堂　碧映罘罳雲氣合
潤侵官硯露華凉　平泉回首班樵牧　艮嶽隨時化犬羊
猶想胷中丘壑在　龜谿拱木雨浪浪

眉壽堂為趙子威照磨賦

壽域鈞陶萬類春　華堂偏尉白頭親　黃封蟻汎雲霞動
紫誥鸞回雨露新　閥閱聯姻森虎兕　曾玄弈葉盡麒麟
繡衣不改班衣樂　忠孝兼全在子身

次韻馮東麓侍御游鍾山詩

底須勝集慕山陰　只尺鍾山足訪尋　留客但教尊有酒
歸田寧計橐無金　才名久著三朝望　經律仍窮萬化心
一代風流真可畫　後來感嘅亦由今

東麓侍御赴燕南憲使留別次韻奉餞

從車祖帳候城陰　留別題詩辱重尋　愧乏鸛鵝[酉*(刀/(刀*刀))]斗酒
空憐駿骨市千金　烏臺衣繡中朝貴　牛巷烟簑故國心
萬世不磨存有道　人間彈指去來今

蒲室集卷之五(終)

蒲室集卷之六目錄

絕句(五言)
米元暉江山秋晚圖二首
松雪翁墨蘭
畫牛
溪山小景
口[號-虎+(后-口+用)]四首為海樵公送別
絕句(七言)
次韻馬虛中道士送熊以善之金陵四首
次韻荅石室元晦五首
贈日者沈愛山
次韻荅熊以善秀才
風雨歸舟圖
古廟折碑圖
贈[(厂@((既-旡)-日+口))*頁]可和二首
虞伯生學士以五絕贈一上人蒙見及一公將歸蜀謁趙魯公次韻
墨梅為馮仲碩賦
李息齋墨竹
雪窓蘭
舟至通州夜雨大作
次韻送廖天與
魚樂圖
畫馬
湘水行春圖
淵明歸去圖
百[序-予+(鴈-厂)]圖
孤嶼圖
梅雪齋為逯彥常賦
李遵道墨竹
次韻荅失蠻彥脩御史五首
贈了空羽士
秋夜宿瓜洲江風山月樓
寄西山李[皮-(丨/又)+(王/匆)]士
宿雪峯菴
游仙
濟法師清鏡閣

次韻馮侍御留題鐘山八功德水
東麓侍御赴燕南憲使留別次韻奉餞
竹石圖為喜近仁臺即賦
聯句
秋夜同大原張翥仲舉永嘉李孝光季和龍翔寺聯句

蒲室集卷之六

豫章　釋　大訢　笑隱

絕句(五言)

米元暉江山秋晚圖二首

紅樹宜秋晚　澄江媚落暉　扁舟如喚我　莫待白頭歸
江山自開闢　元氣忽淋漓　貫月長虹夜　涪翁許獨知

松雪翁墨蘭

風佩參差倚　秋香暗襲予　愁來禁不得　誰吊楚三閭

畫牛

草煖犢子肥　牧間牛耳濕　誰知荷簑翁　風雨租稅急

溪山小景

溪光深照席　雲氣暗沈山　好似西丘上　扁舟幾日還

口號四首為海樵公送別(儀真舟中作)

道合形皆寓　心親跡任踈　偶然成解后　握手勝交書
矮篷仍漏雨　盤屈不如蝸　漢使天河上　難追萬里槎
功名隨分有　聞道古難能　收拾香山社　霜顱及老僧
蒲香仍五日　不是獨醒時　有酒從人醉　長齋律自持

絕句(七言)

次韻馬虞中道士贈熊以善之金陵四首

江湖隨處得相逢　四壁襄衣客意同　自是雲踪無住著
秋蓬何事解隨風

師友平生孔文舉　詞章今代沈銓期　豈是雲林遺隱德
未應才俊困明時

朝望秦淮雲氣清　夜聞鶴唳帶風聲　參差天闕牛頭沒
斷續鍾山馬首迎

焚疏空聞招惠約　上書誰復繼鐔津　千巖萬壑不歸去
落日長江思遠人

次韻荅石室元晦

不審住來相熟未　青衣迎棹慣看人　糗餈分餉家家似
薯蕷炊香頓頓新

憐君身大不及膽　想見道公應更癯　實錄自彰銘鼎義
能來重掃石浮圖

貝闕群仙羅玉質　也知天上足金銀　深慚造物相料理
巖穴偏宜槁木身

義公死葬廬山下　也說曇華一度開　猶喜老禪隨幻住
昨朝天目寄書來

杭標霅晝同房住　况是苕華雪不如　扁舟短棹不成去
坐聽鐘沈月上初

贈日者沈愛山

君平天上知名久　牛渚無人解汎槎　獨抱囊衣江海去
扁舟風雨度年華

次韻荅熊以善秀才

升堂齊赴鼓隆隆　獨著儒衣謁嬾融　也勝朝回隨雁起
西風千騎過雲中

風雨歸舟圖

中流鼓枻欲何之　乘興何如興盡時　蛟鰐垂涎風作橫
山長水遠暮歸遲

古廟折碑圖

古廟殘碑野水村　行人回首暗消魂　遙天何許孤雲沒
不盡青山萬馬奔

贈[(厂@((既-无)-日+口))*頁]可和二首

鏡容識我麒麟種　茅氏憐吾丹鳳雛　幸有小郎供膳羹
土酥如練玉芝腴
江湖有術青烏子　香火多靈白鶴仙　乘興出游歸亦好
采芝種木赤城邊

虞伯生學士以五詩贈一上人蒙見及一公將歸蜀謁趙魯公次韻

醉罷蒲陶金叵羅　散華方丈[冗-几+(㠯-臼+(丨*日))]伽陀　扁
舟許我從公去
浩蕩江漚萬里波
潛宮樓殿五雲開　雲外青山萬馬來　黼黻天容歸化筆
故應留待謫仙才
我愛鍾山七佛居　曇翁重掃刼灰餘
先皇同受靈山記　千古神龍護寶書
魯國數年書疏斷　每思高會聽雲和　別時有約終相覓
綿竹江頭雨一簑
西蜀高僧識馬駒　十年江表飽蒿藜　宗門喜見南回日
千眾開堂借品題

墨梅為馮仲實賦

林華瘦影月微茫　風袂參差玉佩瑯　更覺微酸生齒頰
千林烟雨待青黃

李息齋墨竹

李公墨妙俱陳跡　誰識湖州苦用心　惆悵此君猶玉立
空山風雨夜堂深

雪窓蘭

百畝無香失舊蔡　若為膏沐轉光風　趙家三昧吳僧得
未覺山人鶴帳空

舟至通州夜雨大作

明日京華拂面塵　穹[病-丙+(皮-(丨/又)+(王/田/皿))]如雪馬
如雲　雨聲未忍孤篷別
故遣蕭蕭枕上聞

次韻送廖天與

楚江送客暮帆開　眼底何人識異材　後夜月明潮又滿
青山空繞雨華臺

魚樂圖(予作菴東園將謀退休而未能入居之希古禪師寄魚樂圖索題感而為賦)

築室開池學放魚　旋縈九嶋作江湖　畫圖更覺煙波好
野水寒塘雪葦枯

畫馬

華山歸牧空龍種　傳得丹青十二閑　前歲上京聞扈蹕
白雲如見六龍還

湘水行春圖

湘江何處問幽栖　野服行春曉色微　著我茅茨相伴好
不堪衰疾未能歸

淵明歸去圖

橫亡海上只徒傷　夷隘空聞餓首陽　歸去柴桑吾故里
高風猶是晉文章

百鴈圖

既集還飛水正深　風驚葭葦亂絜音　江湖尚爾防矰弋

宜為傳書到上林

孤嶼圖為雁山德長老題

淡烟踈樹月朦朧　路隔寒潮斷復通　添箇茅菴分我住
明年飛錫海門東

梅雪齋為逯彥常賦

梅雪相輝映遠空　參橫猶愛月曈朧　更期佳實充調鼎
好青黃烟雨中

李遵道墨竹

曾共琅玕節上題　淋漓不記醉時揮　湘波舞風如佩
猶待騎鯨碧海歸

次韻荅失蠻御史五首

贈了空羽士

劒光電繞蒼厓裂　阿母金盤進紅雪　携手一笑三千年
更約乘鼇拾海月

秋夜宿瓜洲江風山月亭

波底織綃聞帛裂　玻瓈萬頃魚龍夜　向來鼙鼓海門秋
鴈驚不度穹廬月

寄西山李處士

每憶西山水竹居　秋風林影夕陽踈　江湖正自無知己
底用嫌人索報書

宿雪峯菴

雪深麋鹿無行跡　雲外樵歸何處笛　老禪騎虎不驚人
損拾荒苔挂高石

游仙

乘雲直上黃金殿　騎鶴歸來白玉京　飲乾石髓開還合
指點蓬來淺復清

濟法師清鏡閣

閣前湖水清如鏡　好為行人照白頭　寄我畫圖憐我老
何年鏡裏認扁舟

次韻馮東麓侍御留題鍾山八功德水

天上群公玉笋森　也隨陶謝入東林　臨池最愛清如鏡
不照衰容只照心

東麓侍御赴燕南憲使留別次韻奉餞

雄譚咄咄氣陰森　玄度三生得道林　自喜神交忘物我
誰知宇宙本同心

竹石圖

往年會盛克明於幹禮部舟中後蒙以便面相寄今見與喜近仁臺郎作竹石圖喜而為題
我愛准南大小山　座分江月弄潺湲　竹君石丈能無恙
偏稱臺郎玉[箏-(采-木)]班

聯句

秋夜同太原張翥仲舉水嘉李孝光季和龍翔寺聯句

先皇曰潛邸梵宮冠東南金碧麗紺宇翥旌幢覆瓊欐六龍駐神馭光百靈護鸞驂地蟠龍虎氣訢殿擁貂蟬簪文右露篆古翥化城天樂酣沓梁虹飲渚光壁甃蟾生潭複道星辰直訢觚稜烟霧含浮圖琅當語翥藻井罘罳函曾暉攫〇鳳光清旭眩冰蠶望氣芒碭遠訢問道空同嵁御床塵宛宛翥仙仗華毿毿珠擩鏁玉柳光猊座涌寶鼞遺弓泣父老訢執豆奔候男衣冠閎原廟翥矛戟圓精藍馮几[改-己+易]末訓光銘鼎紀玄譚聖祚萬世啟訢法筵諸佛參貝翻譯經六翥圖繪笑像三華鬘眾唄作光

象教一嘿諳猿鶴驚此客訢林磵洗餘慙齊厨飯香靄翥暝閣鐘聲韽錦
蔫渴獸抉光礎踞雕虎耽洒掃媿無補訢倡[酉*(刀/(刀*刀))]知匪
堪燥吻茗屢沃翥苦心榮頻探焚膏續迅晷光捲簾納霏嵐氍毹月采淨
訢鑿落雲液甘風籟摐古柏翥秋陰挾高枏戶牖蜂[月*早]矗光丹青
海波涵社中合陶謝訢方外師瞿聃息影了虛寂翥栖禪屏癡貪苾蒭交
折堲光伊蒲不盈甔心同略形跡訢累遺忘憂惔錦雉絡扇羽翥赤螭銜
釖鐔巍豪走奰肩光麈尾揮鬖堅壘避屈賈訢陋邦敵吳郯韻劇魔膽落
句雄神力擔擁鼻極營度翥刺手勞鉤撏揻筩遍銀鹿蠹葉剔白蟫幢鐙
粟蠢蠢光鼎香穗馣馣山河入帝綱夫人繞優曇訢境勝情自曠理超思
彌覃光雲臥委巾[冗-几+(舄-臼+(丨*日))]雨歸借箯籃翥報章媿
木李留[巾*古]踰黃柑訢話言諒所慕沽醉詎可妧光捧廗白足惠翥
觸屏蒼頭憨訢偏祖罽肩聳光鏤匡鐻耳儋翥吾我涉誕謾訢爾汝忘話
諵翥罅發粟穰厚色滃醪味醰光剪匪差可芼食魚更須泔翥青谿渙以
劉蔣陵閜其[谷*(甘/?)]訢茲事付千載相期結廬庵翥

蒲室卷之六終

蒲室集卷之七目錄

序
道法師實錄序
天禧嵩講主刊施五十三佛名經序
送瑞少曇歸江西序
蘄州蘆山攝待菴序
道塲寺雲峰閣詩序
悼中天竺布衲雍公偈序
送方上人序
楊雲巖居士作蔣山僧堂偈序
王氏孝感瑞華圖詩序
送張子安御史序
王可毅尚書還　朝序
梅孝子序
送臺醫馮善甫序

蒲室集卷之七

豫章　釋　大訢　笑隱

序

道法師實錄序

宋徽宗朝方士林靈素譖毀佛教法師道公爭之徽宗怒黥械春陵及靈素敗國亦覆昧者或誣佛以禍福吁郭隗進而彊燕穆生去而亡楚豈隗能福穆生能禍人哉抑善善者人同與賊善者人同棄也矧佛大聖行之國中緊童孺信之可終毀乎彼世之言治道者必徵於三代三代之所無則黜以為異獨不察夫三代之地不過數千里其俗簡易先王因其時而教之詩書易禮後世地廣數倍俗益偷薄而禮樂刑政不足以盡其術矣然後西竺聖人之教出焉無刑威賞勸人自格非遷善至若趣厥道妙窮神致化聖君賢臣陰資為治其有功生民也博矣古有功諸侯子孫猶得世食其土況吾以道為嗣者乎嗣而絕之不足以為嗣矣器勞也而新之火敝也而燧之不有弛也不有張焉若法師者其張宗者與當宣和之政淫昏肆虐豈惟毀佛而已而廷臣無敢言者法師能試命斧質食其食思死其事足以振世勵俗則非徒有功於其教也有功於天下也自法師沒今百七十載而世有不聞其名

者十世孫福崇緝其遺事求述於吳僧祖瑛瑛駴曰吾祖也因遡其譜與崇為從昆季盖[泳-永+(瓜-、)]別而不相聞知久矣乃拜受而述焉文成請序於予予視今之寄我法中佚居豐食樂其盛以不戒庸有念夫先世之孔艱哉吾懼其盈焉世無法師矣瑛也磊磊有奇志彊記而辨可世其業尚勉乎哉尚勉乎哉

天禧寺嵩講主刊施五十三佛名經序

吾法一入中國皆知佛為大聖而當時華梵之譯者訓佛之義不曰聖而曰覺者以佛與人均有靈知之性特覺與昧之異耳能覺而不昧則人人皆佛也若截然以大聖自尊使望之若天壤有間則人將退而自畫無進脩之益而非所以道世也譯者之示訓有深旨矣又覺有三義焉能自覺者二乘也能覺它者菩薩也能自覺覺它而覺行圓者佛也曰覺即佛矣復何假於念為盖以人心昏亂故佛教之以心念口誦由外制內精專誠一至於念而無念無念而念常覺不昧以返求乎自性之佛也金陵法嵩講主博通經論嘗謂脩行捷徑無踰念佛乃考經援義本其行願取五十三佛與三十五佛名[(留-田)-刀+ㄗ]施勸誦其訓迪有方矣或問於予曰世有詩書禮樂之教若是得無混淆乎予曰聖人之教不同而同於為善夫詩書禮樂郁乎文也而百姓有日用而不知者是道也無分於上知下愚由一念以擴夫自性之妙雖庸夫竈婦可能也使家授人誦下以戢惡興善雖刑措可也上以合乎道真雖比屋可封也又將游乎清泰之都躋乎仁壽之域則物也我也聖也凡也胥然同體尚何分於世教哉嵩聞而喜請書以為經序

送瑞少曇歸江西序

至大中予主餘英山寺三年寇至剽掠俱盡僅脫身免常所雅厚咸相聚匿笑莫有[(厂@((既-无)-日+口))*頁]予者獨少曇來勞苦數十返明年佛智遷徑山三月禍作其徒多背去而少曇又與二三子留侍暨佛智歸江右少曇分座太白不得從今復走宜陽而省焉於其行重予有感矣世有君臣父子夫婦兄弟朋友之教而民或悖之溺於愛者忘其親[言*木]於利者傷乎義吾徒辭君父之尊絕伉儷之欲惟師與友之道得同乎人也而吾徒貴遠游大方多眾羣居千百錯磬砭礪期底于道若是於師友之道又專矣無汩乎欲無競於利其庶乎有終矣嗚呼孰謂俗之變能移於吾徒者乎若少曇者可以敦俗者乎

蘄州蘆山攝待菴序

世未有好施而不享其報者若翳乘餓人得簞食猶戮力效死地何報者之多義耶噫人無良心久矣將天啟施心俾有獲其效如此吾浮圖氏祝髮居僧坊其宮宇食飲裳衣之奉無一不仰於人人亦樂予不靳或適諸四方則又有作室亭[土*(夕/(厂@夫))]間奉漿饋食以迎以勞故行不贏糧居無舘穀無輿僕屝屨之需朝具暮楚遇彼舘人如閱郵傳彼見來者攝踵于道亦不暇計率相視為故常施者不以為德受者亦[口@乂]知媿未聞責以施報禮者何其寘恩哉惟生民之汩於情與而愛奪而憎愛憎而恩怨隨之矣故吾徒尊之於君后親之於父母皆委之若遺以遠游者使不累乎情以悉力於道也道必求諸師師不州里鄉閭有也如得其師幸聞道以歸則君也親也彼食我也無不報矣又何必計功而食詁詁嚅唲如里嫗為哉淮右古稱奇山水吾宗三大士闡化諸祖輩出蘄舒間至今游錫不絕乘門志弘作廡蘇中道行者如歸予懼繼之者以久施不報為解或怠乃事則弘之志不終矣而幸其安以食息于斯者亦不可以不自勉也故書以訓之

道塲寺雲峯閣詩序

東漢時身毒僧摩騰至舘之鴻臚寺後僧居咸曰寺而以律制之寺率以律名至梁有禪隋唐有教雖各以道訓其徒而寺猶律也貞元中大智禪師作禪門清規而禪律於是始判準規立東西序西以儀于眾東以董庶務而帑藏出納係之然昔猶交職其事欲備歷之以閑其故不以東西為嫌今也反是志高潔者不適於俗狃於俗者近乎汙而東序之職始病焉曰吾既汙之則將甘受而不辭必漁厚賄飾輿馬至自民其衣僕圉廝養侔鉅室務滋黨以脅其主飫酒胾啖貪吏使不問已甚者有業產萬計故有以來役僧之議吁寺幾何而不淪胥亡也予行四方所歷寺幾千百求異乎是者雪道塲耆宿渭公嘗任寺之東職以廉儉聞始寺不競能損己以紓公公以是裕益狷介示其黨以不私於是闢方丈作鉅閣以居其主閣成而吳越之耆師碩德與湖海勝流咸為歌詩頌以落之而徵序於予予觀人之勞而後食作而後居孰不求豐諸己有公焉有私焉使審乎公私之辨又益之以才幹而成一閣者夫豈難為哉渭能拔其伍以不汙又罄己資以刊傳鐙錄十卷施諸名山其所立不啻有大過人者則頌之者非徒美於渭亦將有懲於其伍者焉而吾不能不重感於今也

悼中天竺布衲雍公偈序

延祐四年四月七日禪師雍公化于天竺中峯五日闍維之斂牙齒設利與常所持木槵諸不燼者為窣堵藏之先是移疾臥天勝院彌月曰吾可忘眾耶遽舁歸中峯力疾訓徒戒執事者以事為書十數通與友訣乃怡然委順眾相視愕如也夫人道之貴以誠乎性也自教流諸夏諸師之言性者罔不

極于奧而卒膠於文言莫克自盡及吾祖以直指之訓來使人恢然獲所素有其求也不能無敝而後之宗工又因敝為制故有倡彌高而機益峻如三代樸散教化衰而刑禁拳梏之慘用焉命誓之不行而盟會侵伐之例列焉皆一時權宜非得已也然奇變不常縱擒無端而可捕撮其影迹哉今之學者不能自誠以盡性妙徒玩其迹相與師授徒受曰某若為而高而峻某而平實勿學也隳其關鐍鑿其穿穴取其語之近似者模儗之以為古能是遂以躐清序尸鉅剎傲然以名於世世亦恬不為異而孰得夫偽真也噫惟於死生之變不可誣不俟詰而較然矣禪師始居天目之西巘事高峯妙公庀其役至躬舂爨樵穈晚嗣其道固知異乎如此者矣漕使瞿公請居大覺寺十餘季以勞眾數逃去眾懷之復稍稍尋至然不威或久則慢之亦不屑也居中峯眾益至食不繼則躬乞以給貌瘠黑少容止又語顒寡文人始譏以不韻及是皆大愧悔豈徒媿之反譽之也譽不止且悼之矣有得南山悼偈若干首示予予喜其能敦乎本亡事乎未可激勸學者故[田/廾]之序云

送方上人序

士貴遠游以能交天下士也邇年王公待士之禮廢士不克游惟吾徒得肆游窮燕首越所至諸寺咸命典客司游者非徒利舍舘而已其送迎有禮先後有序主賓倡荅橫機迅辯有足觀者故游之遠莫若吾徒而交之廣得人人而閱之又莫若典客也然猶必擇通邑大方多眾乃克觀天下士而為務最煩才俊不屑於就其下者又不足以交其客以故名亦昧昧焉延祐四年杭淨慈得方上人為典客客至如驛善其職由是譽日起以都邑之會賓客之多無逾錢唐而淨慈又大方使上人典其客上人衢人也衢之俗多儒其流于吾徒者亦漸儒習故上人雖游不廢吟事而游者樂之然吾徒遊之之道非以富山水慕聞達而事於諓諓篇什為也故上人之歸得贈言於其女不以詩而以偈爭以古德之事以告之有深旨矣上人勉乎哉

揚雲嚴居士作蔣山僧堂偈序

寺古制皆有僧堂然惟會食而已至於寢處則有別室如今教律院猶然也獨禪林自唐開元中百丈海禪師作清規設長連牀於堂率眾盡入居之牀端為木函盈赤以貯三衣一鉢外無餘畜也坐臥起居有時凡晨昏午夜以及且長老首座加巡警焉惰者罰不率教而擯之至於禪寂吃若枯株湛然止水眾千百肅如也由貞元距今六百年他規盡廢僧散處寺內外甚者一已占屋數十間積產業以萬計輿馬僕從儗巨室冐刑法汙宗教有不可勝言者矣而堂之規猶獨得如古使天下之凡若僧者盡撤其私室禁而私畜而會之于一堂申以吾祖之規教之庸有如前所陳之敝乎而僧者能終身不越堂戶繼之以不昏不亂虛而照寂而應超生死越三界雖古聖賢不出

乎是也金陵蔣山肇建於梁寶公初名開善宋熙寧間改創禪院居眾千百號江左第一泰定二年春寺弗戒于火鞠為灰燼長老曇芳禪師能以誠感人人故樂為之用無貴賤貧富咸願出才力效指使期年而寺成者過半而長者揚震之曰若僧堂者禪林之元氣也我則為之暨訖工費鈔十萬貫有奇高明爽塏視舊有加焉震之復與諸公登其堂歌頌以落之予觀夫佛寺之興率謀諸施者然皆以像設金碧之盛可夸耀於人之耳目而徼夫福田利益而為之也而震之不夸耀不徼福其志必曰居此堂者為能明佛之性傳佛之道然也若是則求報於外者其責輕責難於內者其任重而吾徒之居此也得不戒且懼乎

王氏孝感瑞華圖詩序

世之有符瑞神異之事載於書驗於今耳聞目睹數數然也而未有能究其所從出使人瞭然以不疑者其故何哉徒以孔子不語恆為解而其所以不語者又何哉或曰恆不足言也若是則性與天道不可得而聞者其亦不足言乎孔子生亂時道降俗薄故因時制敝扶持綱常苟非切於人事唯恐致惑於人特秘之而不言耳然則其終不可以致詰耶西方有佛曰人之性其來無初其往無終大而天地散而萬物日縣於上雨澤於下山嶽河海卉木鱗介至若神奇物恆變化萬狀皆自一性而出故有啟書以返風噬酒而降雨孝感而魚躍筍迸誠格而泉涌者唯性之本具非假於外也使能全其性之妙雖天地位萬物育不啻過矣吾於王侯瑞華之異而重有徵於斯言也初[色-巴+(序-予+天)]父忠愍公使日本死于王事[色-巴+(序-予+天)]母方盛年誓斷髮為尼嘗參高峯妙公得其性妙之旨矣而[色-巴+(序-予+天)]自弱冠出仕即以能稱累遷至三品官而養母至孝母既學佛泊然於世至治二年七月朔趺坐而逝遂以佛之制闍維之獲舍利五色斲石為窣堵葬焉[色-巴+(序-予+夫)]猶衰絰居喪三季從儒禮也一日奠於筵有折山舟華於鉼者俄結一物如杯玉雪瑩然人咸異之而以詩文稱美者何限[色-巴+(序-予+夫)]謂其母佛之徒也徵言於予予得以佛之說告焉人之均有是性而物誘之若蔽焉若失焉非有明而復之之功烏能死而不亂者耶夫欲善乎性學者無踰於佛而治世之道必用於儒也今[色-巴+(序-予+夫)]之於母明佛之性用儒之禮由是而感通故異華之徵皆性善之微著者耳而侯方嚮用使擴而充之移孝於忠以致君澤民使休徵應而甘露降醴泉出則後之人又將歌咏之無已也[色-巴+(序-予+天)]名都中由兩澥漕使今為福建道都元帥母張氏諱普貴字無為云

送張子安御史序

南臺所轄三省江浙為最重常歲監察巡按必選上名以行天曆改元之秋張公子安來杭時故相新薨北方用兵供給繁劇海上獲諜者戮于市人心洶懼子安由浙西東入閩巡行諸郡以鎮撫之隨事損益觀時翕張外肅內恕民獲奠安初行省以禮物錢徵斂過度至是劾其罪追所斂歸其主天子聞而賜之幣以旌其直君子謂子安於是知政刑矣按周官御史掌傅命記事者由秦漢以來任以彈劾宋復以兼諫爭而　國朝之待是選也人佩一[(留-田)-刀+ㄗ]使得以專言事若朝廷之紀綱中外百司之賢否官之蠹政民之隱疾必周知而備言之雖曰責人而不知人之責己者尤重也然知之有不周言之或不當於是有巡按之舉察其風俗訪其得失焉猶古者觀詩以知民風持節以聽政於天下事無所不得言而後之君子不克舉其職唯覆其按牘奉行故實而已不任於人而任於法不求諸實而求其迹使人有不直而吏者深文巧詆牢不可破雖有子產之智何疵以得焉或者苟祿自愛見有怙勢作威與無辜被禍而牽於上之好惡者則惴惴焉唯恐有聞以累于己也必先委之而去況敢擊其所彊而直其所枉乎又有避嫌畏譏日馳百里夜宿公館戒閽吏固扃鐍雖親友莫得面睨屋梁坐終日澹然無所為至戶外事漫不加省而烏在所謂察與訪乎若是猶曰守文毋害而況有不可勝言者耶雖然衣必垢也而後濯之井必曾也而後漱之不有敝也其孰更之故
上即位之初首定風憲之選凡所擢用率皆奇士而子安尤蒙寵知吾見其蹇蹇匪躬肅清邦憲以奮其大有為也必也尊道德而抑奔競則君子以類進而小人不敢徼幸矣先教化而後刑罰則吏畏法以知義而獄訟簡矣擇賢守令而汲進之扶植之使得以盡牧字之道則家給人足盜賊息而國用紓矣若呂 公著之言御史當論國家利害之大計毋察官司簿領之細過者吾取之吾久居巖穴遊方之外者也於時事不通比者聖天子易潛邸為寺臺官命予居之而辱子安之愛尤蕆以其所司直言也敢不誦所聞而直告之

王可毅尚書還　朝序

金陵古建都地然自孫吳而下皆偏據南方弗克統一說者謂天地之氣至南而極不可以建大國朝諸矣盖陽生於子而極於午子位朔方朔猶蘇也謂萬物至此絕而復蘇始而終終而始生生無窮矣必王者自朔而南陰陽相乘其氣循環而後可以當之歲在乙丑今上皇帝以潛龍來居而向所謂龍蟠虎踞者若增其雄而幸其有所遭也說者又曰古之天子巡守方國後世不然而天生命世之聖必先使之周游南北以通民情以任天命之寄粵若世祖西出關陜浮襄漢南略武昌歸繼大統混一區宇而開太平萬世之基今上為世祖曾孫蚤歲冑涉艱險轍環天下是天所以付世祖者而以[田/廾]之也天曆改元之十二月上以潛邸為大龍朔集慶寺亦猶世祖

駐蹕武昌而以其地建元興寺焉明季九月命工部尚書王公來董其役先是上命行御史臺擇主僧居其寺不以大訢不肖俾備洒掃以是得日承尚書公之約束而竊觀其為人溫然而春[泳-永+壬]然而莫知其涯也[聽-王]其言跡其行必欲內不以二豪欺於君外不以一豪欺於民交友以誠莅事簡以嚴御下也以和易而樂與人為善方是役之興江南大旱民始疑懼公既至儗內府例人日給錢米有差羣工麇至不約而集者二千人乃縣鼓鳴鐸以程其勤惰故工無浮食五旬而材告具十一月朝廷陞公為天官尚書遣使趣其還客有問於予曰尚書為天子近臣學問政事方施之天下人望之朝以繼夕而乃濡滯於一寺之役無若不相當然況佛之道不知於世教何如也幸毋蔽於私為我陳之於是進之曰佛之教簡大無為上智者由之以造乎性妙合乎道真而中人以下猶能遷善畏禍故其化之弛張有大焉有小焉如唐之太宗房杜宋之仁廟富范亦謂君相之聖且賢者然皆資其道以善于世而國朝崇信之萬度越古昔盖以薄海內外萬方畢臣其習俗各異十已八九而鮮有不事佛遵其化以善者孰謂於世無補其或佞之過度縱其徒而不之制隳禮法蠹生民是溺其迹而不適其宜然非佛之咎也今聖明在天而尚書公方以房杜富范自任凡所建明無一不合於道豈以歲饑民無所食商賈無所售其材工無所鬻其技相胥為流殍而莫之[(厂@((既-旡)-日+口))*頁]乃於農隙大出錢粟貿材僦工于以集事于以振乏惠莫大焉況以潛邸之重而上嘗居之四年宜臣子者於茲祈天永命而盡忠乎所事且志不避難易身不擇勞逸亦其所職也客乃媿謝因以其語質之尚書公公曰子言然也我行有日矣盍書以為北歸贈行序公名士弘字可毅皆上所命之云

送岳柱留守還朝序

皇上居金陵之四年山川百靈保祐聖躬勛功懋德起登大[糸*克]即位之初首改所居為大龍翔集慶寺明年度材告具以向方不利于崴而止又明年上命岳柱公來測圭攷景築基而營焉若夫資用之從出官吏之效命則又有臺官以提其綱御史以糾其怠其於敬慎惕如也每晨漏下五刻公必先至乃伐鼓下令置藉以閱其屬戒某若某事而與奪盈縮寓諸勤惰寬急之間雖巧歷善計莫之察也不十月而落成其布畫規度悉按京都而江南或未覩故吳越湘漢之人裹糧來游攝踵于道心動目駴至相繪圖而歸傳播誇美謂　國朝崇佛古未有而莫能推原其意或有取於五行之說者曰我　國家肇自北北水也佛生於西西金也金水相生欲培本以彊幹浚原以導流若子母然噫無亦議其迹而不本夫教論其功而不及夫道是未知佛也欽惟世祖奄有區宇文綏武定各有攸施而佛者慈仁怡愉無刑威賞勸人自畏惡而趨善可以薰陶至和而躋吾民於仁壽之域舍是無有加者故　累朝遵之以為盛典然尊其教必嚴其居弘其道必求其人嚴其居

有成功者公之任也弘其道而未知所濟者吾之責也故吾始而喜再而媿而三則懼矣吾自奉命洒掃以來朝夕兢兢于是思率吾徒策勛於無為致羙乎不覩六鑿無所用其明心匠不能措其巧崇然而基突然而奧而同然與萬物者游斯吾所以脩夫內者也使吾之脩夫內能若公之有成功則庶乎免矣公甕吉剌氏事母至孝母沒二十年見人有母與言而偶及之者必流涕嗚咽不已友諸弟終始無間言而居官有異政嘗守覃懷蝗至其屬邑脩武有唐太宗廟公禱之其夕大雨蝗盡死至治間朝廷作太廟命公薰其役事辦而民不擾至今傳誦之以故特膺　選命而有是行也而授公留守云其年至順辛未十月復有　旨召還住山大訢序以贈之

梅孝子序

梅孝子居吳門孝於其親有過人之行母嘗疾蔦醫藥弗療於是刲股肉為羹以進母啖之而愈它日母復疾且益甚孝子取香之有膏液者為臣炷然頂與臂祝于天願減已算以延母壽時夕陰雨拜起仰視雲霾淨朗星斗呈露母眊昏見人盛衣冠持盂水汛洒之即起無恙今年垂八十愈益康彊邦人士為詩文稱道者甚眾有以韓子鄂人之說疑其毀傷致斃以瀆于政而質於予予謂事有經有權世降俗下民散久矣苟有一善君子嘉其志而恕其情可也伋壽申生死於父命鉏麑死於其主龍逢比于死於其君而史稱之不以戕生為嫌仁人孝子不忍其親之危殆或可覬其生之萬一寧一創之烈雖死猶樂之况其不必死乎又人心之感速於影響蔡順之母嚙其指而子則心動朱壽昌七歲失母求之五十年不能得乃然頂臂刺指血書佛經祈終見之所謂人事盡而天理見者也天理者性也由性之充可以乎天地神明達乎死生變化而造夫道矣曾子謂先意承志諭父母於道孝之大者孝子能因是以明夫性而進夫道其於養親不至已乎孝子名應字榮甫予未之識其質於予者蜀僧光公實以書來其言若是云

送臺醫馮善甫序

道德之貴尚矣然以之輔世導民非薰陶涵濡之久未易成化以取速效下而諸子百師之學雖各有可觀而衛生恤患切於時用以施惠愛於人者莫醫氏若也故古之魁偉之士不試用於時則願為良醫以行其志世俗日降庸醫射利務徼幸以嘗其技而人之誤致委斃不終其天年者有矣予來金陵識馮君善甫以名醫為憲臺郎屬日交公卿貴游然聞人疾雖賤貧無不往視悉予善藥或它醫不能治更召善甫疾無不愈至有所報謝則辭不苟受人咸稱其長者後至元二年夏天台僧會翁病且殆息幾絶其友召善甫理之即無恙會翁感其德而形諸歌詩焉予觀人之生養息聚惟適之安求甘毳以奉其欲時診察以宣其氣猶懼不虞也而吾徒之適四方犯寒暑忘

饑渴隻影萬里無僮僕親舊之相恤孜孜焉惟聞道而後已固將外形骸忘軀命視死若歸也而仁人之心能無軫念之冝乎善甫之待會翁而不望其報矣吾故序醫之功於諸子之上而告之以道德之懿而不為虐美也

蒲室集卷之八目錄

序
奉　勅重脩百丈山大智覺照弘宗妙行禪師禪林清規九章序
祝　聖章
報本章
報　國恩章
尊祖章
住持章
兩序章
大眾章
節臘章
法器章
曹文貞公續集序
送常道夫游武夷詩
送周君崇判官序
送高德潤歸義興序
送姪陳九萬道士序
楊氏鏡中序
月上人周易解序

蒲室集卷之八

豫章　釋　大訢　笑隱

序

奉　勅重脩百丈山大智覺照弘宗妙行禪師禪林清規九章序

祝　聖章

人之所貴在明道故自古聖君崇吾西方之教不以世禮待吾徒尊其道也欽惟國朝優遇尤至特蠲賦役使安厥居而期以悉力于道聖恩廣博天地莫窮必也悟明佛性以歸乎至善發揮妙用以超乎至神道民於無為之化躋世於仁壽之域以是報君斯吾徒所當盡心也其見諸日用則朝夕必祝一飯不忘而存夫軌度焉

報本章

性者人之大本也振天地而莫知其始窮萬世而莫知其終佛與眾生均有是性悟之而登妙覺迷之而流浪生死從刦至刦六道異趣業報展轉無有窮已所賴聖訓洋洋堪作依怙吾徒忝形服與法系遵其行之為律宣其言之為教傳其心之為禪而循吾所謂大本者以同夫佛之全體妙用始可稱佛子而續惠命也其於諱日追悼豈世禮哉

報　國恩章

國有禘祫四時之祭所以昭功德隆本始重繼嗣也而聖朝崇佛世祖而下咸各建寺謂由佛應身以御天下化儀既終復歸佛位於是設聖容具佛壇場月以五祭龍翔為文帝潛邸奉旨春秋二忌各閱藏經七日畢臺臣設奠展禮如生而致夫羹墻之思焉然吾徒之朝夕于斯者母以華居佚食為安惟勵夫道而思所報效以期于心法俱泯施受兩亡則不徒食而徒居也勉之勉之如世祖列聖忌諸官至期詣各寺行香謹識時日子左方

尊祖章

人各祀其祖重其形生之始也形生始於愛然形有時而化愛有時而盡惟性之靈然不昧者不恃生而存不偕亡而亡故佛教人必明性而後之學者復膠於文言不得其指歸猶醫之善方書而廢藥石何益哉及吾祖達摩至示以直指之道而人始廓然見夫自性之妙不求文字不資語嘿而得於罄欬聲色之外則吾徒之傳祖道嗣祖位者如火之薪水之器無古今之間豪髮之異不猶重於形生之始乎後百丈海禪師又作清規以居吾徒而禪林於是乎始白雲端公謂宜祀達摩於中百丈陪于右而各寺之開山祖配焉見於祖堂綱紀序

住持章

佛教入中國四百年而達摩至又八傳而至百丈海公唯以道相授受或巖居穴處或寄律寺不聞有住持之名百丈以禪宗浸盛上而君相王公下而儒老百氏皆卿風問道有徒實蕃非崇其位則師法不嚴始奉其師為住持而尊之曰長老如天竺之稱須菩提以齒德俱尊也作廣堂以居其眾設兩序以分其職而制度粲然矣至作務猶與眾均其勞曰一日不作一日不食烏有庾稟之富輿僕之安哉故始由眾所推既而命之官而辭聘不赴者多矣後則貴鬻豪奪視若奇貨然苟非其人一寺廢蕩又遺黨於後至數十年蔓不可圖而徃徃傳其冥報之慘有不忍聞者可不戒且懼乎

兩序章

兩序之設為眾辨事而因以提綱唱道黼黻宗猷至若司帑庾歷庶務世出世法無不閑習然後據位稱師臨眾馭物則全體備用所謂成已而成人者也古猶東西易位而交職之不以班資崇庳為嫌今岐而二之非也甚而黨鬪彊弱異勢至不相容者有矣惟主者申祖訓以戒之欲其無爭必慎擇所任使各當其職人無間言可也

大眾章

歸虛之水鄧林之木以聚者眾也今夫大方居眾千百倒稟而炊赭山而爨亦其所聚也而四方之來如歸若己所固有者果何為哉盖佛以人之流轉三界出沒生死惟明道悟性以超于妙覺則群生異類咸資其善而訓其徒以肖己為然故人人之待其徒猶待其師雖摩肩攝踵而至惟恐奉之不及不以其眾而少怠也不然則有以尺地斗粟而相訟者多矣豈其獨愚甘委其貲以廣吾居輟其飧以食吾徒吾徒之食于斯居于斯果何為哉果何為哉

節臘章

僧不序齒而序臘以別俗也西域三時以一時為安居出入有禁止凡禪誦行坐依受戒先後為次而制以九旬策勳于道以三旬營資身之具使內外均養身心俱安也尅期進脩不舍寸陰護惜生命行兼慈忍旨哉聖訓萬世永遵而五竺地廣暑寒淋潦氣候之弗齊故結制有以四月五月十二月然皆始以十六日所謂雨安居者因地隨時惟適之安或曰坐夏或曰坐臘戒臘之義始此如言驗蠟人冰以坐臘之人驗其行猶冰潔或謂埋蠟人於地以驗所修之成虧者類淫巫俚語庸非相傳之訛耶且吾所修證聖不能窺豈外物可測其進退哉今禪林結制以四月望解以七月望者若先一日講行禮儀而期內得專志於道故略其繁文亦隨方毘尼或儀不如法而不知其得法外意也中土以冬為一陽之始歲為四時之耑物時維新人情胥慶禮貴同俗化在隨宜故以結解冬年為四大節周旋規矩聳觀龍象之筵主賓倡酬兼聞師子之吼禮文秩秩猗與盛哉

法器章

上古之世有化而無教化不足而禮樂作焉擊壤之歌不如九成之奏窪尊之飲不若五齊之醇然文生於質貴乎本也吾天竺聖人最初示化謂人人妙覺本無聖凡物物全真寧有淨穢無假修證不涉功用而昧者茫然自失

若聾瞽焉於是隨機設教擊犍稚以集眾演之為三藏修之為禪定迄于四十九年而化儀終矣梵語犍稚凡瓦木銅鐵之有聲者若鐘磬鐃鼓槌板螺唄蔟林至今倣其制而用之于以儆昏怠肅教令導幽滯而和神人也若夫大定常應大用常寂聞非有聞覺亦非覺以考以擊玄風載揚無思無為化曰自永雍雍乎仁壽之域清泰之都矣

曹文貞公續集序

嘗讀唐房社王魏傳咸稱其善屬文而文逸不傳特著其相業與善諫諍之尤焯然者至今人人稱誦而以不得全集觀之為恨然聖人之教人本以尊德性道問學士行之美全德為上德[亠/(幺 -厶+?)]於中文著於外其為政設施則必俟夫時與命而君子不可必焉故觀人之道稱其政未若論其材誦其言未若薰其德徃年吳興趙公子即巴西鄧公善之與予為方外交抵掌論人物亟稱漢泉曹公士開寸德之美予故以心識之至治間公以侍御史來為涮西憲使省百司氣[悍-干+月]股栗善政著聞天曆初文皇尊用儒臣特授公西臺中丞尋以老告薨于家謚文貞公至正四年御史臺文下刻公詩集于諸路府學示所以褒崇元老勸勵來者而使有矜式焉惟古國史采詩以觀民風漢魏晉唐而下詩益盛猶必擇夫名家之傳世者然後入誦而家蔵之若公之作固可名家傳世也公之季南臺管勾君又得於公之賓從僚佐門生故吏之所稱道傳[冗-几+(舄-臼+(丨*日))]凡詩與文若干編彙為續集若干卷增刻之可謂善繼述者矣若公[改-己+易]歷臺省建言論事襍著書簡不止此蔵於碭山家塾君以職所繫未暇歸而掇拾編錄尚期它日以成其志噫視房杜王魏之逸遺人猶惜之而公之寸德既施於有政復有文以傳後於是人又喜公之有子而占慶澤之流於無窮也予嘗承公有一日之雅竊敘其末而附于韓之大顛歐陽於居訥之義或無嫌焉

送常道夫游武夷詩序

士貴明道而不知道之所以明其有得於師友講論之緒餘則資以潤色文辭發明著述自足名世傳後孰有泯見聞絕思慮超然獨得於筆授口受之外以振天地窮萬世而獨存者乎吾游方外辱交名公士夫慕其雄文碩望者固多矣而以道相求心無間然獨得常公道夫公天曆間辭西臺照磨徧游名山東探禹穴以極于海西踰岷峨南渡滇池北入窮髮意所欲必至萬里跬步也凡魁儒隱士禪宗倕老必卑己諮詢及言忘神會脫然有得於語默耳自之所不及而親造之妙則又若身至目睹之不可誣也自是而麾斥八極磅礴萬物以與天游矣後至元中連為三臺御史犯顏極諫鉏擊奸邪有古亮直之風陞雲南憲副行省百司敬之猶神明士民愛之如親及公辭

歸省憲交訟人益以重公公家關右少仕江南中年歸葺廬墓教二子皆為名儒使奉祭祀於是放情山澤時從一僮或單己獨徃日百里如飛與野老豎牧襍處忘歸冬夏一裘葛泊如也及臨政言事雖斧質在前不為少沮盖能一死生齊禍福而威武可屈乎視身世物我如邂逅而貴富賤貧能易其慮乎吾嘗愛宋楊次公之為人而公則庶幾之至正三年宣政院奏公斷事官未幾移疾來金陵留旬月又將有武夷游吾羈官寺而不能去乃書所媿以與之別

送周君崇判官序

國朝建行臺于金陵以[糸*克]制南紀故金陵雖大郡朝夕奉約束惟謹郡守佐往往避煩不樂就就或託故去否則盡剗銼鍔務善圓以趨合而猶或不免焉至元六年冬廬陵周公君崇來佐郡奉上以誠持己以廉介不激不隨不為表襮惟章明法律示吏民以信先數年江西湖廣輸粟郡倉轉輸海運達于京郡縱吏裕取而約與致鬬死殺傷亡算公至董之下令條析一示之平至今遵以為式更作臺治察院與曹南王卞將軍祠委公督其役工具落成而民若不知三年郡安其政公雅恬退不求薦楊而與人誦之謂古之仕者得任專行志故施惠於民也易今則牽制上下而金陵為尤難況一倅能設施如是乎由是專一府帥一閫視古良牧豈多讓哉公曾大父宋季嘗叅金陵帥幕大父守廬陵公以蔭三為邑宰皆著善績及是累官五品而陞秩未涯也夫棧道九折而車行無休呂 梁千仞而舟銜尾以濟惟慎之而已況公以家世之舊安行乎仁義而輔之以寸智何適而不可公行矣當大展其用以副輿人之祝予忝同里又辱知竊喜而書之且率吾徒賦詩追而與之別

送高德潤歸義興序

予居杭鳳山時有別墅陽羨歲一至焉愛其長林豐谷平園大谿之勝又多故家文儒可與游從始欲終居之特懼其賦役煩重兼細民頑獷好鬬甚至其父母妻子有病瘍死喪秘匿不發鈎人唇吻佯相歐擊密以死病者推墮舁致乘之以掠人廬室器物小則責賂及負若租貸甚則誣之官撿覆逮繫至累歲不能自直者往往而然故家巨室不幸遇之立可破產其有幸能樹立則必結官府交貴游援聲勢以自張否則使子若弟業吏不顧汙其身覬以保其家舍是則雖有良田沃壤不能一日而守之也予去杭來金陵而不至陽羨者十八年矣今年春高君德潤來自陽羨訪其故家遺老則淪喪無幾而重吾所感如是焉德潤年壯寸茂大府將試補吏不樂也上書御史府御史器之舉充校官捧[檄-享+身]而歸以尉其親方大肆于學以應　明詔以取科第仕進若拾級爾予故書所感以贈其行使其里之人視之庶有

以變其俗且期德潤他日試用為長民於四方必能敦美風化致時治乎則吾可隨地卜築終吾之老于以締方外之好焉

送姪陳九萬道士序

吾族由九江徒南昌世為士人自吾從祖父伯父與吾始學佛而吾弟與姪又有為老氏學者吾鄉之人以是占吾族之隆替而不能不有感於時代人物之異或者又曰自戰國秦漢以來王道不行大夫士無世守之業故豪傑之士往往寄跡于浮圖老子中而世道系之矣噫為是說者指其跡則似之泝其世推其事則有足悲也而不察夫道有常有變有異而同同而異而終合於大同也人之貴在明性而孔子牢言之至於定書其三墳大道又闕而不傳豈以生亂時惟因事制弊急以綱常之教維持之故於若性若命若死生鬼神有不暇論且不欲以廣大無徵之語以疑其俗然猶時發其秘惜無上智之資能自求而獨得於言外也及佛入中國而言性也詳以盡濟物也溥而博而大道益明於孝氏之道德使人泝流窮源復于大樸以即乎性命之正者雖翕張不倫而同所以輔世也如曰易有太極是生兩儀曰有物混成先天地生與吾所謂三界唯心萬法唯識者不同乎曰精氣為物游魂為變萬物出於機入於機與吾所謂三世果因善惡影響者不同乎而後之不能本其道之同而斥以兩岐之異不惟其教之善而訾以未流之弊者非通論也又安得通人而與之論哉適吾姪九萬來省予問鄉曲話故舊而及或者之言吾不得不復其說且喜九萬雖黃冠而不癈儒業又將從吾游以究吾所學而吾以潛邸新寺方事營繕而未能也故九萬暫別歸洪他日寺成乞退居巖穴當招九萬同往因書所論為約而訂以[母-(丶/丶)+丨]爽云

楊氏鏡中序

嘉禾楊公顯官四十年有異政猶若不慊然常曰人之貴在明性而已聲利非吾志也而佛之言性大備於是交於佛氏之賢者而求其說焉其家人子弟率通佛理有女名端惠聰敏絕人適姑蘇陸承孫以二族之大施德姻黨而樂習禪定凝坐終日自號鏡中取於應物無跡之義夫範金為器者各職其用用之勞則弊惟鏡之為質也靜而其用不煩明足以鑑量足以容其來不迎其去不將其在人則靈府也人不自見其形俾自視莫見也必得鏡而後見之夫鏡外物也形吾形也非鏡吾無以見形非見形吾無以見鏡之明故且且視之猶懼夫鏡之昏焉吾貌之少而壯壯而老日遷月化倏忽變滅而形不能久也而吾之所以靈於物而亘天地不磨者反棄之不顧其輕重取舍顛倒若是有足悲夫

月上人周易解序

吾族世業儒而吾幼學佛於儒之事不通臨川危太樸以其從父有為釋氏曰月公者所注周易徵序於予予謂儒先於易論之詳矣庸置吾喙於其間哉吾與月佛之徒也不若以佛之意求之佛言性之初虛而明虛明而風金火水相盪相摩而天地人物形焉與易有太極而生兩儀四象八卦其旨相合而老子曰道楊雄曰玄是已或謂人稟二氣五行以生而曰性出天地何哉夫性之體其大無外其始無初其存無終不可得而名狀也古之至人以其高而明者象乎天博而厚者形乎地文於其中靈然不昧假夫形氣以生者為人與天地而三之天地變化而有雷風水火山澤重之以六十四卦衍之以三百八十四爻而剛柔卑尊之位列焉猶人之貌言視聽思其有聖愚之相遠其事有吉凶悔吝之倚伏雖萬不同未有不循夫性而出者也而世之以氣以習論性而自狹自私以自戾夫先聖之言吾無取焉唯邵子謂心在天地先而天地自我出者得之譬之水出於崑崙其始濫觴流而為江為河為海匯而為沼泓而為泉鑿而為井鼓而為潮汐激而為濤波漂而為沫為漚為泡汩而為泥為濁為穢泥而為冰融而為液其實皆水也如以一漚之小而責其水之不大不知水之全者也人之局於形氣之微而自昧其性之廣不識夫性之全者也能識夫性則可與言全易矣故先賢曰心易曰已易者有得於佛之說人人廓然以見夫自性之妙不儒釋而異也則月之註吾之序孰曰不然吾又聞先師言咸淳間三衢耆宿簡竹屋由餘于過臨川夜與月公論易達且而別簡恨迫於官事不克以禪門綱要相與激楊盖月未嘗出游終日兀坐觀河圖有警悟非由師授而能也受業雙林寺自號雙谿云

蒲室集卷之九目錄

記
開府儀同三司榮祿大夫平章政事集賢院使領會同舘事吳國公杭州路淨慈寺歲閱藏經記
開府儀同三司榮祿大夫平章政事集賢院使領會同舘事吳國公杭州路高麗惠因寺歲閱藏經記
吳興封山資敬寺記(代佛智師作)
杭州路金剛顯教院記(代趙魏公作)
松江府龍門寺記
龍興路靖安縣毘盧院記
龍興路奉新縣寶雲寺記
吳江州水月院記
龍興路南昌縣印土寺記
寧國路宣城縣珩琅山法雲禪寺記

蒲室集卷之九

豫章　釋　大訢　笑隱

記

開府儀同三司榮祿大夫平章政事集賢院使領會同舘事吳國公杭州淨慈寺歲閱藏經記

吳國公居京師念遭太平登台輔無以報塞恩寵乃曰昔唐太宗以仁義之效治幾三代猶命僧玄奘譯經身毒廣玄化也矧茲萬方畢臣島夷蠻蜑冈率禮義猶因果禍福是懼佛者若操冥權以翊善道淵乎博哉今其書具存將敷揚厥旨俾蒙者蕩者知所趣嚮求合所謂生而靜者則我志紓矣始以皇慶二年捐幣金萬定散中外百大寺閱經百蔵且命司寺帑者權以子母歲取贏之阞以供費而母終不匱常歲率如之杭西湖淨慈其一也涓歲二月吉乃考鐘眾乃大集北卿以祝畢作梵唄諷誦惟謹越二年天子特加開府儀同三司又明年奉　旨頒香來江南凡閱經百所皆刻石以昭前美以詔後者勿替也乃紀實為頌其辭曰

緊昔周季國步斯艱孰不百家墨揚由[車*(企-止+(土/吊))]老氏清靜寡欲自賢惟性天道儒亦罕聞於亦覺皇篤生西乾克觀時只以默以宣化格異類粤有人天人天肅穆邦家之穀生植涵濡膏澤滲漉窮髮朱

提嵎夷昧谷九譯嗢咿拜稽跪足惟大教是毗惟邦家是崇由吳國公光昭孔融南山崔崔我疆我理淑氣日隮被吳國孫子吳國孫子無念厥宗伐鼓考鐘克永令終

開府儀同三司榮祿大夫平章政事集賢院使領會同館事吳國公杭州高麗惠因教寺崴閱藏經記

佛於天下咸所尊事或謂福以幸求禍以苟免而佛可諂也庸知佛之道多方有大焉有小焉夫大臣之事佛也志與道合玄默寡欲澤下於民之謂施戡禍定亂之謂慈不徼生不畏死若唐顏真卿宋富弼范仲淹是已其有窮土木縻金帛厲民以要福利者非佛意也開府儀同三司上柱國別不華公相繼為江西江浙湖廣行省左丞相惟曰自貴富以訖有家予曷報于君親思欲風動于民率之以忠孝莫若善事佛先是以幣金千定施杭十大寺使咸以子母相生歲取其什一給其費以月第之各閱經一藏延祐四年又自武昌寓二百定以歸興元惠因二寺通前為十二藏月閱之崴周而更始焉惠因寺受金最後以冬季藏事必肅必共圖久勿隳爰琢堅石而刻之辭曰

維西有聖覺道尊心冥萬物觀化元[打-丁+穹]括么麼無遺言有作緝之富以文疇俾津筏惠墊昏赫赫左相為雄藩匪徼匪媚忠孝存曰覺有訓徒之勤[田/廾]之金繒期勿諼拜稽萬壽奉我君爰有親子思孔殷高峰之陽湖之原考擊鐘鼓播令聞尚期似之伊後昆

吳興封山資敬寺記(代佛智師作)

楚越多奇山然不窮躋深入不得其勝行者告病焉獨吳分錯河涇易舟檝可游衍猶苦沮洳無喬木鉅谷以臨高深居者昧如也予居南屏有別墅武康舟上下風渚間望諸峰嶢然異之曰古封山也德人文翁居之舍舟造焉松離立如戟徑術脩直少折得方池植多芙夫渠碧草蜿蜒門廡邃深隱若巨府金像位殿上神人環衛考鐘縣鼓眾濟濟多儀僮走報翁肅客升堂入于堂客主為禮引坐圓亭顧瞻風景萬石人立又北巨石龜伏泉出背尾匯于坎溢流入于池山左右顧中特起奔伏不窮東挾計籌又東走天目以起其勢南抗石城西揖蒼府其麓飲于溪實屏實蔽作我捍禦外隆中夷氣燠而清植物肥碩翾飛鹿挺若與人狎以相樂閒暇也翁喜荅客且語之故始山之未歸于我為宋給事中盛章墓至大初其孫遷葬而去我與值渚上相語合願奉質劑取視亡害即輸其直五年為室益殫鉅萬咸無所乞假然常居未有圭撮餘幸成之不自知其何道也又曰人之貴乎物者以明道也道不明斯物矣吾又幸聞諸師故師之高曾宜祀于奧而形生之始又可不報故吾之昭穆配焉若盛氏之鬼亦與享宇下以廣愛也將聞于朝請名資敬寺而未有紀師幸至不有待耶予耄矣行四方辱佳山水不少率疲於頻踣

又否則或汗于庸富家遊錫不一顧能若是山之奇得售賢主人以與吾等游者寡矣將寓翁一榻以盡衰朽而又有楚行心忽忽也以吾宗之重若吾孱懦者負之不幾於敗覆而翁之材之德使遯跡自善非牽於茲山之累乎又見吾黨之似是而非以位以氣以相軋者庶幾乎翁不可得也翁諱清杰族吳興姚氏世業儒幼受經杭之道明寺學博而要雅器量自持確然於物無髮欲好周人急故邑人相教翁長者無犯翁意有過里中望其廬戟手曰是清淨居母相汙輒入寺或惡子因以悛革蘄為善自效其道感人類是懼難其繼益訓徒徒元禮元遜咸有軌度可世守也未書之用嚴其訓

杭州金剛顯教院記(代趙魏公作)

院始名華嚴菴宋紹興己巳演教妙空大師惠齡所作也居杭城之金剛領既成以授其屬惠清使主之清益誦經論眾益盛其制可視大方考之圖志龍山圓壇古有顯教院而墟其址久矣軋道己丑請于郡願易菴名為顯教院歷嘉熙間市弗戒于火院俱燎寶祐初有道福者相地於仁和縣之上閘愛其勝買之因徙居焉而蕞爾僅給福卒而景明繼膏之猶多所未備至行榮始克大其世作殿閣門庫堂室亡慮百間始至大辛亥迄延祐丙辰凡寺所宜有舉無遺者先有田三百畝至是倍之而有加焉榮為人端謹一時王公貴人多喜與交又有才幹以治一寺宜其有成也猶欲戒其後人使皆如己以勿忘而求記於予予聞能仁氏之學有三曰禪曰律曰教而今之為寺之制有二有以其徒相授受者有官授賢而主之四方之人咸得而居之者使官授之或不當主之或不賢視所居如傳舍或不葺以故其寺常癈惟其徒之相授受者率多完好又其後之皆賢而後能久而不覆然世之為人後者猶曰繼志述事矧能仁氏子人之子唯以道為嗣有其室而癈其道猶傭居也今榮之訓其徒則善矣子復欲輔之以道庶有以起其宗云

松江府龍門寺記

宋嘉泰中桑門如喜了性傳天台之學喜主錢唐淨教院歸華亭東五十里作菴與性同居之里人從禱雨旱疾疫無爽施者日至後性譽益著奉詔主天竺興福院淳祐元年又勑易所菴為龍門寺以甲乙傳次喜性亡嗣者失人寺幾癈咸淳七年有思賢者蚤游禪林嘗主嘉禾普賢院歸視榛莽勵志興復始徙寺于黃土塘居十五年擇其徒之可任者曰行潛曰可宗潛由靈隱首坐出住寧國之廣教院不以命之宗主延慶院退休于杭之南竺山至元廿三年命歸以寺[田/廾]之宗請曰寺頻海歲不熟則寇至欲圖久而惠後人以安莫若再遷賢曰吾所以命子也圖之六[禾/干]而賢卒及[目*(宜/八)]目猶惓惓以囑宗泣以命其徒為正乃相地於府治東南隅南俯川流北走市闐厥位向陽平原如席眾咸樂之於是徙居焉作殿堂樓閣

門廡厨庫為屋二百餘間祠佛菩薩天神之像千五百軀供設以備寺有田若干頃築別墅官塘以備儲畜田賢以授宗宗以授正正以授文明明以授智傳傳錄其實來言曰吾日兢兢于師之訓懼後之不戒而顛覆厥緒則吾祖之業隳矣幸賜之言因進之曰今夫世人積起銖寸得良田居室以遺子若孫又懼其不能賢以保之擇師而教焉期其賢明富盛相繼於無窮也而求諸勳舊之後能僅守其高曾之故業者千百無一二况其嗣有光烈令聞者乎而吾徒之居所在常千百年幸而免於彼者其故何哉議者謂吾不私厥後予人之子取其善以為用故能守以不墜吁何見之未也獨不念夫物生之汩其真而淪於惡者眾矣吾聖人者出然後拯而納諸至善之域凡後之有崇其宮室圖象者皆所以示其教也存其教者為吾徒必也以戒為墉以定為室而以道相授受其胃無終也而曰吾遷吾居而安吾食吾土而久者特未之思耳傳於是作而曰吾知所以訓矣吾之後人其庶乎免矣願書以為記

龍興路靖安縣毘盧院記

唐有水潦禪師者不知其閭里族姓天寶中始至洪之石門見諸峯蜿蜒若龍蟠者愛而築室居之後馬祖自豫章來泐潭師往拜之問佛法大意祖蹋之仆地師忽大悟起笑曰大奇大奇語備傳鐙錄自是學徒雲集易菴為毘盧院以祖之門人何啻十百若百丈海公南泉願公歸宗常公皆傳宗子後而師之居與泐潭又相邇也其同居酬倡與繼繼者必非常士而失於紀述使後世不聞其風烈為可惜也宋嘉定間寺僧曰紹者懼其不競聞海昏崇壽院之徒賞溪道公有高行為邑延慶寺首座迎歸而奉之道與四川制置彭大雅相厚善大雅為結廬院左曰無名菴時從咨叩院以中興淳祐二年十月望道書偈遺誡而終有徒六人曰禮曰賢曰滿曰圭曰和曰惠寶祐元年丞相[言*身*矢]方卿欲奪寺基為墓圭之徒紹淇撤其寺徙而避之既而寺丞陳公某為請復以基還寺淇林敏有遠略一時名公多喜與游其徒二人覺元斯翀元際遇世祖寵顧隆蔫奉　旨居黃龍寺終焉翀之徒本潤潤沒而絕惟滿之後始大滿之徒印宗宗之徒斯羾羾之徒本潀本濡潀曰自吾祖居此逾六百祀雖微而或絕或繼得不澌盡中奪於勢而僅免陰陽家言氣六十年一周今踰其數已我其復之乎乃具畚挶斬[才*甾]翳以入作殿堂樓閣門廡庫稟包湢齋室踰百楹列像設鼓鐘之制不十年克潰于成而繕脩之未已也且來謁記予曰自漢時佛入中國寺以律制梁達磨來以直指之道相授受然皆寄居律寺唐貞元間始有禪死清規而禪律於是判然矣夫禪心宗傳道之大者也律之制古也二者不可偏癈守其制傳其道斯為得矣甞觀唐僧碑多名律師其規度井井凜不可犯而今則亡之非徒草律而禪亦隳矣世之流俗指寺之命於官而主者為禪而以其徒居者為律問其名覈其實漫不省為何事吁可恠也毘盧院世為律居而祀水

潦為始祖及今猶有生氣如深山大澤龍虎變化不可睥睨故它之大方莫與抗也而溷之徒嗣可游禪林有聲所謂張其宗者歸而求律之制以迪厥後庶乎其不悖於古因書使刻之以為記

龍興路奉新縣寶雲寺記

佛之宮徧天下皆因俗以為教吾行四方所見僧趣習各異獨吾鄉為稍近古以其俗文而儉又有馬祖百丈之遺規在焉而新吳寶雲寺當泐潭雄峰間創於蕭梁時始名信誠寺廢於唐之會昌復於大中至吳大和四年克脩其殿宋雍熙四年又脩之刻右具存大德三年殿圮住山紹盧與其徒繼萬昌遁撤而新焉自門廡堂殿樓閣庖稟凡居室之宜有者悉更作之像設華[肆-聿+((彰-章)/(曼-又+万))][舟-(白-日)]堊劇其華好復增田山以裕眾食而寓書以記為託且曰由梁及今八百季矣故家遺物如飄風聚沫不可把玩而吾始更新其殿不以佛之教人以善而人心之良因善以存其教乎然自吾祖之始搆始築幸纘其緒以至於吾不知其幾世矣故吾不能不惕然而懼以蘄吾後之人繼繼於無窮也予謂物囿於化而成壞相尋雖天地不能久佛言由一心生萬法而天地依之以成立然則無古今成壞者其惟心法之妙乎使盧訓徒如馬祖百丈傳佛之心為心則天人異類咸資道力而蒙休光緊吾宗是賴又豈以一殿之勞欲後人保之勿隳為可世其業哉寶雲代多耆德而別院為七盧所居者曰觀音院尤號整肅院舊多竹熙寧間僧可蟾作此君亭縣令李平記之東坡蘇公題名其上亭久廢而人至今傳誦予少時數造焉別且三十年拘於官寺不能去安得操几杖從里中耆年想其秀眉槁項可盡也盧與先師游年今七十三愈益健予得請於朝而歸當拜而受教姑記其略云

吳江州水月院記

吳江州南五十里有湖數百頃湖中有土阜隆然廣可五畝曠古莫有居之者宋嘉熙間僧覺春廬其上曰水月菴六傳至允諒諒築隄以廣之作殿堂樓閣悉完好請于帝師易菴為院而求記於予且曰世以良由美宅貴粥豪奪及積之寖廣而官之賦役益重於是有不勝其用而病且覆者相望也故吾祖取人所棄而有之以至於吾吾以一身之微寄於水月之上汎汎如虛舟之凌滉瀁何往而不自得哉予謂志卑者徇利樂間曠者徇境其誘於外而為物所勝一也若是則子之媚夫水月以居之吾為子記之皆外物也能斂念以返觀乎內雖寓宙之大虛空之無窮曾無一漚之量而彼水月者又不啻隙中過影耳則子之居將無所寄庸置吾喙於其間哉雖然虛己以觀物則物皆吾用不泯於空不窒乎有中道然也如是而子之媚夫水月以居之吾為予記之載歌水月之章以遺之其孰曰不然辭曰

水之逝兮有潮有汐維月之恒亦朏而魄有生端化孰不如物不有至人會萬若一爰執其樞以游化初物我無联水乎月乎

龍興路南昌縣卯土寺記

按豫章職方乘城東五里為浮紫塘有院曰永安莫考其始宋治平三年勑改卯土院桑門謹公主之十六傳至悟祖勵志興復紹熙四季作說法堂又十八季嘉定庚午率其族諸孫褚氏作太殿門廡齊寢悉具度弟子十九人其後至□隆□存□觀派別為三有紹祥號怪翁游禪林才識絕人嗣法西江謀公住南康萬杉寺遷撫之踈山終焉惟紹經克儉勤于厥居以舊田甫二頃僅充其飡無以備繕脩至元中始買田廿三畝得穀三十石囑其徒紹盖別儲之而永續惠鐙亦各以私田來歸稱貸取羨帑益以饒復增置田合諸施者得租百五十石作骨塔閣維之室與夫敝者葺闕者增而它院莫及焉復訓徒有軌度曰永寧博通經論為慈恩宗講主曰惠滿道高道昭文而有行滿嘗首眾徑山高為予掌記昭典藏且以院顛未請記予謂寺以津制古也唐百丈海禪師始草律為禪厥後命子官擇人而主之其為徒居者得自相授受而江右之俗良家子弟欲學佛必擇徒居之明師使受其業如雲峯靈源著德望者何啻千百皆於是出故凡稱徒居之得人莫吾江右若也而豫章為尤盛焉又觀夫世以骨肉之親父祖子孫相繼繼猶積累培植汲汲若不逮能十世不易其業者無幾而徒居之院求其徒以教以類若卯土之歷數百年資寡而徒賢愈益昌大厥惟艱哉吾宗由佛二十八傳至達磨又十傳而至臨濟臨濟於今復十六七傳矣而凜乎若九鼎之寄一絲也彼世之親以愛徒居者以義義有時而絕愛有時而泯惟吾宗之傳以道道無古今也吾既以卯土之徒能世其美又欲如雲峯靈源傳道以荷吾宗故於其請記也而重告之

寧國路宣城縣珩琅山法雲禪寺記

宣城之西七十里有山曰珩琅以其蒼潤如玉也或謂山之遠引旁折若屋之行即然晉宋間有異僧杯度者居之達寺曰興雲相傳梁寶公偕武帝嘗幸侍臣蕭將軍至今祀之為伽藍神云宋治平中勑改法雲禪院宋季丞相吳潛利山可葬因請歸第穴墓寺側　國初有　旨凡寺之產奪於豪者復之吳氏徒墓去至元庚寅寇燬寺蜀僧曰震曰壽相繼住山四十載僅成佛殿法堂寢室兩廡泰定丙寅壽卒時江淛丞相脫歡公領行宣政院以杭之淨慈典藏永嘉元啟主之居數[禾/于]百廢具舉若佛天應真之像設與門亭庖稟凡蔀林所宜有者悉備它日啟寓書於予曰天下固多奇山水然非名德居之不足以名世又觀人之營居室極壯麗以遺厥後未及歷世而易主且壞不能葺者相望也自吾祖居是山可千年矣以吾所成擬之大方

不豪未爾而吾勞之不易猶欲繼吾者保以勿墜復懼涉世多危機幸萬一不敗可藉口引去子能辱之言而成吾志可乎予謂啟參佛性茂公佛性之辨猶河海而曰吾未嘗言機迅雷電而示之以無作解契佛祖而與物同然不為町畦也啟嗣其道不務乎此而事乎彼是猶委居室而庇蓬藋舍玆饌而甘藜藿何自苦如是耶雖然華騮不騁長途而驟閭里有餘力矣龍泉不得犀兕而剸之試於株枿有餘利矣故古之取人惟其才之何如而所施之大小不論也啟字一關方壯而明敏過人吾故期之以起宗而珩琅何足以浼之姑徇其請而為之記云

蒲室卷之十目錄

記
王可毅尚書歷仕記
集慶路江寧縣崇因寺記
潮州南山寺記
集慶路鹿苑寺記
龍興路新建縣雙峰寺記
集慶路溧水州明覺寺記
嘉定州南翔寺歲閱藏經記
集慶路觀音堂碑陰記
婺州永康縣光惠寺記

蒲室集卷之十

豫章　釋　大訢　笑隱

記

玉可毅尚書歷仕記

平陽晉陵王氏世多顯官聞人自子通平章以德望重一時子弟尤多秀整而子通獨奇其兄子士弘謂是能亢吾宗季十六見之武宗皇帝奉　旨令事今上上時方四歲士弘即取經史圖書以進陳說古君相治亂得失之要而時歌詩辭為樂固上以天縱之聖睿哲生知無資於學而密宥啟沃之功有焉自是食飲寢處不離禁籞者十餘季仁宗聞其能授管領諸路納綿捻管歷翊正司丞稍遷中政院司議至治二季讒慝構禍上遷海南四年上還京未幾復被讒出居建康士弘扈從見道多流殍　御札付士弘出褚中錢散之存活甚眾上至邸日酣飲以自韜晦士弘諫曰處屯莫若持正去吝莫若脩德內文明而外柔順以蒙大難文王以乏酒能敗德不節且致疾昔人有不得志而逃于醉鄉者乃遺世之士聖人所不取也上深納其言自是為之節飲士弘進漿水飯淡薤上食之羨它味盡卻自是日以上供歲丙寅五月皇子生擇乳媪難其人士弘家有媪慈且賢而已子方乳因輟子食以媪進將求它媪不即獲已子竟卒上惻然憐之賜羊酒尉諭焉十一月十一日先皇帝誕節時先帝為　周王居朔漠上置酒遙賀侍衛者以次為壽上忽泫然顧士弘曰我今而不知涕之下士弘跪進曰主之意不以兄阻絕南北而見之無從乎然志四方者不守閭里成大功者不戚戚於遠別主春秋方

富使守道而福至則南北猶跬步爾將見歡會之無已也上乃悅而同列有及噬者欲危　聖躬士弘極力保衛數進規諫居四年姦臣僭威迫上移江陵勢益急四方聞者皆涕下且且望之時七月炎暑先啟行日凍雨颯至凉風著人天宗爽朗人心以蘇士弘日視膳服逾謹或通夕立衛馳至武昌命士弘先[遄-而+王]治邸第得北使密語謂來時上者有國哀母令一人知者士弘聞之駴且懼潛使報上趣至江陵六日京師使至宗戚大臣以天命人心之所歸奔走迎拜推戴北還萬姓讙呼人人自安九月十三日上即位于大明殿改元天曆王公百僚在廷傳旨命士弘糾儀官禮甚習殿陛肅然時姦臣猶據上都朝廷用兵征之供億繁重特授士弘工部尚書器械繕脩百須悉備且省浮費數十萬定先是上親擐甲督戰命取珍寶載後秉以備嘗勞及還士弘悉歸之內府謂刑不可黷賞不可濫故每承頒賜獨多所辭謝上以其退默未嘗言祿特隆眷之問曰在江南時聞爾兄宗敬者居官以廉名今何官也士弘對曰臣兄宗敬除桂陽知州貧不能往留滯都城中上即授以監察御史它日　御華延閣又曰爾季兄宗讓久居近侍見其敏而有容因　親書付執政授宗讓太司農司經歷　特旨授南臺御史士弘始名宗訓字士訓上為易今名而字以可毅常留中與决大計或時出外則密以　宸翰宣問親寵無踰者而謙畏常若不及喜汲引名士而不使知自己出至於睦親黨厚宗族雖微弱疏遠待之不異賢若貴而尤邮其孤困者嘗自以幼賴母氏教育嚴而有方暨有所成立而親不待養故抱終身之戚焉比以天子推恩贈士弘父某嘉議太夫禮部尚書母某氏某郡夫人祖某某官妣某某郡夫人曾祖某某官妣某某郡夫人上一日謂士弘曰皇子賴尒乳媪保育而爾未有後朕甚念之其賜爾玉環一鈔五百定賜爾妻冠服珠玉之飾媪夫吳官六品承務郎內府資成庫太使以旌爾忠士弘性夷坦詞氣侃侃不施戟級臨事議論不少徇好惡恕而明和而肅忠清直亮博厚長者也或曰上初來南時聖德潛被天下之所屬望而侍衛之臣又皆龍虎變化不可測者也如唐太宗始為秦王與房杜輩不啻布衣交故能卒致貞觀之治今士弘方嚮用而四方之賢者將責難於其身矣天曆二年秋上命士弘來建康改潛邸為寺董其役因竊詢其出處而得其為人且曰我知為善而常惴惴不知己之不逮也不若為記之使得以視昔之戒懼而加謹焉則庶乎將來之有成愚嘉公之不有其善而進德之無已也於是并錄或者之論若叔父子通公之所期與夫幼若壯之所歷方將黽勉乎彊仕之年以奮其大有為也措之天下垂之後世雖金石竹帛不足以[書-曰+皿]令德者請自茲始

集慶路江寧縣崇因寺記

延祐二年曇芳居金陵崇因寺予寓館焉僧不滿百多耆宿有矩度庭宇靜深山環揖如衛左江右淮風颿駔騎使客憩止以寺得晉新亭故基山川風

物感人詠思有不能去者曇芳與予登崇岡俯木末[弟-(美-(王/大))]六朝遺跡未嘗不嘆世之勛業如春華陽燄隨手變滅而吾徒之居逃空虛棄寂莫幸而孑遺者以存吾道也明年予過錢唐後曇芳亦遷鍾山而白巖繼之矣又十六年文皇以潛邸為寺召吾天竺來主之而眾又以崇因命吾法弟正逵逵居十年以葺其寺之勞請記其事按圖志寺建於鎏宋人呼曠野寺齊廢梁大同中克復唐開元中以嬾融嘗居之始名禪居寺偽吳大和改崇果宋又錫名崇因政和間長老宗襲作觀音像蘇文忠公以頌贊之視祖堂列祀若洪覺範與真如喆公之嗣正禪師者皆望重禪林正歿多設利葬塔山中始居四望亭嘗安千眾今二井猶存紹興初遷于此曰文殊山若有待也然荐罹兵燹蕞爾僅存至國朝遠峯宏公克中興之及曇芳而法席始盛作鐘樓僧堂眾寮庖湢以延名衲逵作大殿初有農畊田中視若物焉發及深淖得巨木六堅勁脩直理密而芳郁因以為柱殆若神獻殿成像設金碧尤極殊麗由門廡垣稟悉新之以文皇嘗幸寺又賜白金乃鑄巨鐘以昭聖德慕蘇公之賢作雪堂知生之有終作三塔又曰有寺千年矣賴昔人保以弗隳吾懼不逮而猶有望於後之人可無紀乎予謂世之言宇宙者以包六合閱萬世也人以眇然之身寄其中不啻一粟倏然而盡如駒過隙曾不知其所存其大其久盖將度越六合萬世以超乎宇宙之外不能顧省而自暴自棄者何限昧夫大者久者而常汲汲於眇然倏然以饜足其志何愚滋甚彼論禹稷顏子同道特以用不用易地皆然而較然辯之以此視彼雖以天下易陋巷猶以蹄涔酌滄溟孰儗哉斯向之曇芳與吾浩嘆者不在是乎雖然不以無為而隳有為不膠於外以失其內必交脩而備舉之吾道然也逵勉乎哉逵勉乎哉逵晚從先師又與天目本公游其所得叵量因其請而規之友道也是為記

潮州南山寺記

至治間予居杭之鳳山潮陽善恭為南屏典藏往來雅相好末幾潮之諸山以文上于行宣政院請恭歸住其里南山寺自是十五年不相聞知矣後至元丁丑夏恭寓書敘契闊且以寺記為請寺建於唐初始未有業產開元二十二年有揭陽馮氏女以父母卒無它昆季終喪持田券歸於寺得租千二百石有畸又數年馮語人曰浮世非堅吾且逝矣詰且不知所之維八月廿六日也寺之人至今以是日為追忌供設甚盛并馮之先祠之如生焉延祐戊午里陳媼亦以田若干畝來施祝曰吾施不多願壽終與馮同日後果苻其言於是與祠祭於無窮也然產薄食僅給若繕脩則仰于施者必主僧道行服人可賴以振宗景定中丹山禪師作佛殿藏殿礱石為柱暨天兵南下城內外悉焚蕩寺得不毀惟田為豪所奪東山曰公復之繼以一翁元公會堂文公皆善葺理文增田以裕眾食至恭益新其殿堂門廡像設極于完好懼後之難繼也願書之石俾視以勿忘以永保勿隳又曰人以田宅遺子孫

能十世不易者幾希馮以田歸于我俾其先世祀享與寺相終始非有識度大過人者與抑私于己者人弗與公於人而人保之理則然矣吾聞囿于化者終於盡惟吾祖道大福及後世故寄我法中食其食居其居以永久者亦所依之報云爾而道不在是可不知其所自乎然觀吳越名山租入累數萬逋積復萬計縱其徒盜之饘粥不給如逃亡家者比比皆然則恭之志有足書也恭號禮翁潮陽人嗣法東嶼海公云

集慶路鹿苑寺記

金陵志載鹿苑寺居郡城巽維即梁之蕭帝寺天監十三年造南唐保大間重建易名法光寺有郤氏窟天龍井按梁史武帝為雍州刺史夫人郤氏殂于襄陽歸葬南徐東城里山帝踐祚追崇為后后性妬死化為龍通夢于帝或見形光采驚異帝體將不安龍激水騰涌于井故常置銀鹿盧金鉼灌百味祀之因卒不置后以帝崇佛又酷愛后后化異類宜造寺以資冥福但不當自名蕭帝寺必中更淪廢後人因其始而稱之若江左之僧居咸曰蕭寺云由梁至南唐四百年寺廢而中興又五十年而寺壞邑人杜德明脩之宋康定二年元絳為之記由康定距今復三百餘年矣寺側又有周處臺臨觀之羨播之歌詠邦人士與四方游者無虛日焉而頹檐欲壓莫有顧者蜀山彬公過而嘆曰茲寺修建皆昔之君長大姓吾念其廢欲振起之而力不迨惟殿堂之朽腐者易而葺乏像設金碧之漫漶者飾之又粥田二十二畝以助眾食裕如也寺之老某請記其事於予予謂杭斷潢者艨艟不若一葦之疾遵委巷者騏[駮-父+異]不如[(止/天)*欠]叚之安顧所施何如爾予居官寺尸位仰成萬指千礎祗益憂懼將從公大去振衣崇罔極目霄漢或倦而休坐而斂念攝大千於豪芒洞萬古於一瞬視旃檀樓閣而非泰溷糞壤而非汙而世之成壞得喪是非忻戚於我何有其起廢振之奚足多公哉第未果所願爾公和州人族沈氏先至元間嘗除僧官泣而弗受以養母孝迫而就之未幾即棄去凡有儲悉施諸山一衲泊然年幾九十神觀靖深有足書也是為記

龍興路新建縣雙峯寺記

佛智居雄峯予興道泰先後掌記復從往杭之南屏侍語從容必及西山故廬訪耆舊問諸隣之廢興未嘗不感歎彌日延祐己未佛智示寂乙丑泰亦卒又八年泰之姪信文以其同受經雙峯院之顛末請誌而刻之按豫章職方乘城西六十里石陵幽曠為馬祖翻經臺臺東即其院也始居伏龍雙峯之陽相傳梵僧駐錫里人從禱有孚必大寂之門人傳逸其氏為可惜也唐末右拾遺歐陽持歸隱峯下意欲院為己居而以己之書堂在山陰石鼻者使為院於是朗禪師與易而徙居之蓋楊吳之順義二年而朱梁之龍德二

年也先是有善地理司馬頭陀者記其地曰石鼻雙峯如鼓如鐘匪公匪侯梵王之宮及今人誦之至圖狀以驗其實云宋嘉定間院之老□□嘗參掩室開公於雲居有聲禪林中若□澄者尤高行而工於詩與太史蕭大山為友餘皆恪守規律故它大方咸取為矜式歷至元癸未寺火耆宿普暉德浩彌高與徒了義了洪道泰道堅圖興復由門廡殿堂樓閣齊寢與佛菩薩天人之像經唄鐘磬之宣帑庚之入加於舊而增美焉然積十餘年始潰于成今復四十年而文繼守之曰我僅克兢兢懼後人冈之思而忽諸則先志隳矣幸賜之言予觀於人無貴賤崇庳莫不欲其世之長久昌熾窮志竭慮為之培立而變滅倏忽常出所不料或有指吾徒之居得擇賢而嗣之可以勿替然陏唐間號稱古招提者於今其存其亡者幾希矣能若雙峯之仆而復起不亦幸乎是不察夫成壞相尋雖天地不能保惟究道之妙全性之用視宇宙猶旅泊閱死生為夜且若吾大寂祖者則吾徒之所當[書-曰+皿]心也不求諸此而求諸彼斯佛智向之所以感歎而吾與泰皆不能悟泰嘗主姑蘇之寒山寺集宗門紀載四十卷可以示後詞曰

聖教東漸歷唐而盛大寂傳宗海涵嶽鎮心法授受匪求諸外有得其旨語默罄[交*欠]來學兢兢散處林埜有纘其緒實維我祖雙峯前奔飲江如鼻我卜其奥不曰委積無為而為靡成靡虧妙有不有莫不恒久孰圖其猷維大寂是效我銘不阿用詔爾後

集慶路溧水州明覺寺記

明覺寺居溧水州西四十里唐咸通十年建始名正覺大順中改明覺宋治平二年勑賜額而因明覺之舊至元元貞間隳圮殆甚寺僧妙琳嘅然以營治為己任罄己所蓄復裒施者更為佛殿法堂藏殿庖廩廊廡等屋凡若干區琳之徒善祐作諸天之閣安僧之堂祐之徒宗儒重作庫屋葺山門素飾佛菩薩金剛之像又貿田以裕眾食寺用益振後至元四年冬寺之徒師祿請記其事惟佛之教大而備其要在於傳道傳道在於明性明性則人人皆佛也要不在飾其儀像而愚迷倀倀無所卿趣盖有覩其像設而敬心油然以興由外脩內以得夫自性之妙者斯土木金珠之飾所由作也故吾徒之崇宮室嚴像設非徒為夸美皆有取於與人為善况先聖縣記正法像法次第設教其可忽諸於戲今而魔事月熾所在佛宇隳廢而墟焉者相望有能振其墜而[序-予+丘]乎成者幾希而欲求傳道明性以昌吾宗不可得也吾故於明覺重有感焉因書其事使刻石山中以勵其徒當有憤然而興足徵於吾言也琳祐儒俱當塗人祐嘗為本州僧正儒為和州歷陽縣都綱祿居天禧寺習教觀善瘍醫聞人急雖百里徒步往救而不求報無貴賤皆感而敬之有足書者與寺之產業并刊諸石陰云

嘉定州南翔寺歲閱藏經記

至道無為無言也而所以為以言者將埏埴群生陶鑄聖賢其有為而然乎以本覺明妙之性淪於六趣散於萬類形氣情欲相禪以生相感以化以蕩流無垠故佛憫而訓之以刳情絕欲澄瑩精一求返于初而甚矣情之蔽固性之不克復也乃酌其機隨器所授示六趣以果因影響使之遠惡進善以超于聖賢之域導二乘以四諦十二緣榮菩薩以六度萬行逮人人妙覺物物全真以備一代化儀而猶曰彰其跡爾若夫顯本歸實雖聖冈知豈世智凡識所能擬度哉况性之精微言所不及惟善言言者能言於無言而後可以達無言之言於是有月指筌蹄之喻而啟迪將來非教莫宣斯三藏之文為世法寶聖凡顯幽所共戴仰如日月於晝夜賴之以為嚮導也蘇之嘉定南翔寺僧祖勝以己別業為經堂度經于中歲選淨行僧閱之復施田五頃給其費餘以備繕脩而求記於予予禪者故取直指見性之道與契經合者告之而申以辭曰

餉空于缾酌水于[午/止]而水與空非大非小如性囿形形不能囿瞬閱萬世芥視八表有覺瞿曇稱性而譚虛空為舌萬象交參彼昧冈覺或聾而愔善啟其機爰得我心如屬于耳如攝面命彌隱而顯鳥飛魚泳花雨風清海天如鏡孰為檀度曰比丘勝勝即我謀妙斡其樞不有作者德山之徒視佛不為火書壞廬冥行同趨不既韙與

集慶路觀音堂碑陰記

御史文彬嘗乘馬度秦淮河之武定橋橋折馬墮河中文彬掖橋柱若有神持之得不溺以素事佛因解所佩金帶粥錢若干緡作堂于橋東偏素觀音像其中御史李公平為之記命景德寺僧德茂居而董之或訾以世有救灾弭患幸而出于險者眾矣而佛氏喜神其說以傾於人而人惑之噫有是也是未察夫佛以萬法惟心亦洪範之脩五事而福極應致中和而天地位故有誠之至而魚躍泉涌揮戈却日啟金縢返風豈皆神而夸之哉且佛之義訓覺即吾心之自覺而覺人也猶所謂明明德新民者也觀音以大悲濟物者也猶禹稷之視人飢溺由己飢溺之也矧其聖神不測者耶文彬居官舉其職若曰吾書而安行徒卒導前猶不虞于蹶幸神相以無恐而物生總總豈無窮而顛擠以阽千危若是者乎吾將拯而援之亦猶是也是以觀音之心為心以禹稷自任者也尚懋之哉茂請記其語刻之碑陰文彬名帖穆溥華畏吾氏堂之地隸景德寺而歲輸官租錢二千四伯南北深七尋廣如深三之二云

婺州永康縣光惠寺記

婺之永康縣東南三十里有三峰衡出其西少折曰白雲峰相傳葛洪鍊丹其下又前引如覆盂者曰上安山也中夷而曠可容千室後周廣順二年里

人陳氏以所居為寺宋大中祥符間賜名光惠至元丁丑燬于兵僧走匿它山己卯寺之老惟拱知浩始來歸為庫室以居尋物故其徒德明處林更作殿堂門廡樓閣丈室賓館餘百間象設鐘鼓之制以備助其費者邑大姓徐道鎮與子祥又割田畀寺寺益以濟明林於是度其徒使甲乙傳次曰紹光曰興惠曰自純曰自平曰了義曰崇正曰崇俊咸戮力營繕迄三十年克潰于成而明光惠純平與鎮祥相繼以亡寺祠之了義與予友善列其事凡寺之業產質劑暨徐氏與它施者名族將礱石而紀刻之嘻亦勞矣夫吾聞古之人有志於道雖萬乘卿相猶將捐之而視治甲里居室者又不足論也然人之營生作而後居勞而後食常若不給然其世之勛業非遭其時雖聖智不能惟道則脩諸身人人可自致其力而人不為之常汲汲於外以自困未少有得則夸焉非愚蔽滋甚彼世之人或迫於口體役於君父而不得已也孰若吾徒者所業空寂而亦若彼何哉棄所貴重與所當為而爭較瑣瑣於不足為其得失鉅細當有辨之者而義之言曰事必有為而後可以無為昔佛欲其法之久於世也制僧坊居其徒命執事者董之以勿壞而子取諸澹泊無所用不為世俗譏乎然不可以偏廢也今之大方號稱金華多名宿德其始咸出於吾徒之居以有教也而後能道光千代茲吾祖之所以葺其居之不易不有俟於吾之後之人乎願書子之言以為記

蒲室集卷之十一目錄

碑銘
荊門州玉泉山景德禪寺碑銘有序
龍興路靖安縣雙林太中禪寺碑銘有序
吳江長橋銘有序
揚州天寧寺新作石塔銘有序
集慶路真如院碑銘有序
饒州路樂平州天童山童領禪寺碑銘有序
池州路報恩光孝禪寺碑銘有序

蒲室集卷之十二目錄

塔銘
永嘉江心寺一山萬禪師塔銘(代佛智師作)
金華智者寺雲屋間禪師塔銘(代佛智師作)
金陵天禧講寺佛光大師德公塔銘(代趙魏公作)
臨川資壽寺妙行慈惠大師[聽-王]公塔銘
臨川資壽寺明公和尚塔銘
豫章般若寺絕學誠禪師塔銘
姑蘇萬壽寺默翁一禪師塔銘

蒲室集卷之十一

豫章　釋　大訢　笑隱

碑銘

荊門州玉泉山景德禪寺碑銘(有序)

按傳鐙錄隋開皇中天台顗禪師居荊州玉泉山有神通謁稱蜀前將軍關羽以戰功廟食此山聞師欲營精藍願庀役事七日而成捷出神巧事聞文帝賜額玉泉寺煬帝又割環寺地百餘里歷唐有弘景惠悟二律師居之若懷讓一行皆從受業而神秀者亦築菴山之度門則天中宗咸尊為國師厥後代多名德逸於記述至宋有慕容禪師住山益州女子未齓隨父母至慕容指其父曰君後貴以此女善視之復贈白金令詣京師時真宗為太子判南衙女因張耆納入宮及即位冊為后時慕容遷長蘆寺后給私帑賜兩寺

營繕仁宗復遣中使賜金市田[田/廾]玉泉僧不受言准法僧不許售民田以侵民利仁宗諭宰臣曰朕為先帝植福勿拘常制今茅凡二莊是也自天台至慕容逾四百載中更為教為律為禪無定居盖古之寺凡僧之有道者咸得主之非若今分宗云而天台之教至唐末而絕其書流高麗賴韶國師言於吳越錢氏遣使取其書至今唯二澍有其徒它不能徧也又貞元間海禪師作清規草律為禪四方宗之以故茲山由慕容中興而始定制為禪林矣慕容以授契真真以授悟空大師務本本授惠達達授芳芳授承皓後有曇懿道成如晦皆嗣大慧而宗璉希澈慶恩思達者咸列禪祖圖以地當楚蜀之交時稍乱即屯重兵故自唐季五代宋靖康墟而復葺者數矣而咸淳末獨甚兵火其寺惟關氏二廟存至元十四年官命長老惠珍主之芟除畚築作大佛殿且謂顗公嘗為帝者師又傳宗亦殿而祠之珍卒師瑄繼之既而以老告至大二年宣政院奏　旨以今長老廣鑄住持始克大集于成為殿堂樓閣與凡執事之室捻百五十餘間像設以備書華嚴法華楞嚴圓覺楞伽等經刊施凡數萬卷又於當陽縣建報隆寺尤壯麗皇慶元年宣政院奏引見仁宗顧問賜馬湩降　璽書護持大率寺之制視隋唐有加矣而道與時翕張昔顗公以止觀立教止以制動觀以照昏而為書浩繁學者章授句受非窮歲月莫究厥旨於是禪者不立文字之說行焉黜聰明絕思慮不資授受超然獨悟與止觀之道合直以易知簡以易能而功及於人博矣今也居其室食其土縱傲自得漫不省教與禪為何事而曰吾祖吾祖云者無乃不知所愧乎甚者偵粥勢奪至壞其居不償責有能刻苦徇眾如鑄公者幾希鑄之徒善言與予游以其實請書之且曰以訓後也予因有感焉既書之復申之以辭曰

荊州之野千山千川并吞割據粵自古先天醜其德厭聞腥羶蔦生碩師示厥化權人之好德如達于泉弗壅弗流注彼靈淵孰倡于宗遠承西乾教以言宣行律心禪師居是山講道一貫有赫神居讓席北面克昌于世禪祖弈弈教闢于垣禪即其室道無授受人期於悟廓乎自性咸獲于素我祖在上爾徒在下疇續厥緒維珍與鑄遭時聖明作我中興無曰完矣有德是承承于皇元其覆如天天之無窮吾道其有終

龍興路靖安縣雙林大中禪寺碑銘(有序)

雙林大中禪寺在靖安縣東三里負山而居創於東晉曇忍法師始名伏虎院宋建炎間寇燬之僧徒入山後依神祠居者二百年延祐甲寅南昌寶華院普通來主寺眾屋欲壓田質於豪通傾己橐償之誓圖興復而故基榛翳莫辨及治地而悉按其舊井中獲唐司馬頭陀石記益驗作殿堂齋寢門廡庖廩為室二百間有畸象設之嚴鼓鐘之宣几蔡林所宜有者悉具視大方而加雄麗焉增土田以租計者五百石山若干畝寺以大完以其實來求書之予謂有形者必有數而廢興成壞係焉又若預定其人以任其廢興成壞

者故人謂通為曇忍再來不可知也自忍距今千有餘年而人世變更陵谷易處求若茲寺之既徒而克復者無幾而通之言曰吾承之起廢幸潰于成如子之陳廢興成壞者無窮吾徒之居于斯食于斯母以興與成為喜而以廢且壞為懼惟吾師之言性所謂靈然不昧者可以振萬世超形數而獨存也後之人其盡力於斯而已乎吾嘗病世之以氣以習為性謂形化氣散而性澌盡矣而不究其大本以惑夫天下後世而不察者皆然也則通非獨訓其后有以解世之惑吾故并記之而復申之以辭曰

鴻濛之先茲山位焉禪祖是居避難而遷既遷而復爾後世守物囿於化孰圖其久復性之初不與化盡天地一漚古今一晌大定安安神用無方埏埴萬類挈摧八紘維忍與通拮据靡勞庶幾不磨勒銘山阿

吳江長橋銘(有序)

泰定間鹽官海溢江浙故相脫歡公憂之有禱于天竺山謂予言比過吳江見僧作長橋不煩於官而工敏於事吾以萬緡助之又閱諸郡志若橋井道路昔之人率委之僧豈僧有才智而不知耶吾以海患國縻其費民竭其力閔己之勞而羨彼之有成功也予復之曰古以繕脩委之僧者非以其才智有餘恐吏緣姦而工若賈不盡得其直故託之僧亦權宜爾且事有人力而成之者有脩諸人而仰成於天者是不可槩論也今言者方興水利地道不寧公能用盖公之言治以清靜使民自安而何有於繕脩哉公曰然既而政化大行言水利者亦罷而海循故道矣中外望公如曹叅以相齊者相天下而公遽薨惜哉時公所見作橋者僧從雅師立捴其役崇敬率眾以給其費居士[奼-一+(土*土)]行濁任勞以終事參政馬速忽州判張顯相倡義以贊成之橋若干尺費若干緡經始於泰定乙丑二月期年而成後九年州守的斤海牙作鉅閣奉觀音象于上以師立之徒永福居之復置田以繼其食它日徒雅求記於予予以雅嘗從中峯於天目宜弘其教以極夫三界之昏墊而為津為梁為筏之諭且不可得况拘拘從事於木石哉雖然道無不在為於無為中峯之教人如是崇敬敦薦好義度量廓然嘗交於予予又受知于脫歡公故追憶其語而記其事系之以銘銘曰

國之食貨資於東南郵傳星馳朝吳暮燕萬[舟*(穴/火/父)]千騎水陸會同昔危而安今絕而通巖巖之石我礪我砥孰先履之相君至止君之憂民如援其溺輔以吾道迺煦迺翼天啬其施天下痛之我心匪石敢負所知霖潦夜驚鼉吟風作我安如山禪定寂若寂而恒用人躋壽域于以闡教于以報國

楊州天寧寺新作石塔銘(并序)

揚之天寧寺晉義熙間身毒桑門跋陀羅所建也代多名德居之有卒者咸葬之城東崴時祭掃眾病其遠大德癸卯鈍翁禪師來董寺寺克大完西堂惠明佐之勞居多明族子　珍出己帑二千定買地城南改營葬地礱密石為龕其下而屋之曰化城菴中奉翁而明陪其右及終乃葬而眾塔翼之先明買田梁家堡三百五畝耆德　理買官溝田百廿畝至是悉歸之菴使崴入租以供祀事而備夫後之繕脩焉翁之大弟子道泰繼主寺書其事以請曰西域火葬曰闍維而世譏以焚灼之慘為滅恩壞禮子為我辨而銘諸可乎予謂世之教主於厚民生親親而敦義生有養而死有藏常道然也而人道之貴聖人慎之不若是而已故先佛設教必明夫性而性者先天地而不見其初窮萬世而莫知其終必極其虛而明靈而妙而后能包括六合化通萬類閱今古為明晦以死生為往復其視身與世委而遺之可也循而順之亦可也故有以定持其身可千季不潰與焚而為設利水火不化神物呵護者比於含樝之富盜賊之資棺衾之美螻蟻之聚不有間乎然亦各盡其道也佛之喪父躬與諸釋舁掊而葬及佛示滅化火自焚天人龍鬼分設利而塔之厥後有攜履振錫凌空而去者亦皆有取焉若泰之於師於眾不悖千古而合諸人情是可銘已其師與明之葬季月日自有銘不書示同眾也銘曰

人愛其身莫不備至死而營葬圖久百世其初何來其卒何往愛恩相繆化為槁壤其不化者反置不問不有大聖吾何以訓維性昭昭物我均備以汩于情明於是[廾/敞]明久不渝善其操縱雖不遺情情亦妙用泰於其師盡厥施報匪稱于禮疇表傳道維理與珍荷眾猶己我給我供靡間生死死生之變先哲所畏誰能超然一念三際大河東奔高丘如屯左城右山繚之崇垣琢石以表我銘是鐫太虛同體不變不遷

集慶路真如院碑銘(有序)

弘教大師演公道源奉　旨主金陵天禧寺繕脩大完又葺其受經真如院作法堂門廡庖稟咸極新好至是列其實求書之至順間天禧前主僧卒于都執事請之朝擇繼者難其人又有制凡在外有奏旨非由縣州審實上之行省咨入則毋以聞時予與鍾山曇芳蒙　召留京文皇顧謂曰昔幸天禧見僧廣演有高行汝可舉于宣政院使奏特降　璽書褒護勿拘常制道源自居十季克弘其教才智識量有大過人者無賤貴咸器服之其受經院以道源故益重院去郡東南六十里宋治平中賜額舊有俞尚書施田國初僧道林增置田山普權廣續作大殿道原既葺其居又益以田院日以裕予謂居約者常懼處裕者常泰泰而傾懼以成則道原之約已而裕人也將遺後以泰且傾乎必使其居裕守約知所戒懼則庶乎能久而所以命吾書之及考諸傳金陵昔多高道僧求其遺跡無幾固其所脩在內神會機泯聞見之所不及向使其後有能傳其道繩繩以守其居則高風百世而不泯未致於

寂寥無聞也故宗門重法系亦若世之為後求繼嗣於無窮者不以是乎道源既傳慈恩之教於佛光德公而嗣其法者眾矣又不忘受經所自出諄諄以誨其徒欲其肖己以昌其宗而寓其訓于此不獨為繕脩業產計也故特書以嚴其命而重以詞曰

大明之升照物靡遺欽若文皇明燭隱微惟演之道格于　上知身退不勝于宗有輝泰[山/華]之崇覆簣之積潮江湯湯其源澤沸不有萬間歸視蓬蓽爾居孔安爾徒秩秩如鳳如麟粲若在眼伐鼓[孝-子+了]鐘萬卷有踐天人儼臨雨華如剪作我訓辭睨而不遠

饒州路樂平州天童山童嶺寺碑銘(有序)

番土沃衍其人儉以文尤多事佛而入于吾徒者家相望也故江湖間徃徃號番多名僧予在錢唐時與可堂宜公交相好可堂歸番住樂平之童領寺以陞薦福既而眾又以薦福首座繼祖主童領祖居三年繕脩將完走金陵來請曰吾所居雖蕞爾然境之勝視四明之天童山可伯仲也茀癈遷沿革無誌碣以彰其始先是可堂作大殿後至元丙子耆宿德震新其佛天菩薩羅漢之像因得乾道丙戌懷本所記於釋迦舊像腹中云寺創於偽吳順義間有元義禪師始菴于山顛感天帝遣童獻燈饋食自是鄉民雨暘扎瘥禱之無爽故以天童名其山宋大宗朝賜寺額曰童領至南公者以病於登陟乃徙港南又苦流潦隆興癸未本復遷于山之陽迪功郎余遠施金素像而記之如此於是始祀義為開山本配之又以朝義程公大卿嘗施地與凡有所施者咸列于祠故德震之竭貲以葺寺而永秀惠光輔成之亦庶幾有勞如義與本可附託不朽不書無以示勸予聞列子言古之至人會鬼神魑魅禽獸異類而訓無遺逸盖道之感通天人一致物我同體故巨靈役五丁以破山烏負土為塚則元義以天童給侍復何疑哉而祖以葺其居之不易猶欲保之無窮然圖久者莫若明道祖嘗偏參名宿既聞道而有才不獨為能繼廢也又其族為宋名臣吳僅後故人益器重之予不拒其請而遺之以詩曰

太白之峰東海隅海天倒影青夫渠茲山角立名與俱禪祖有道天為徒青衣下與群童趨願奉頹盥備掃除華燈瓔鬘千氍毹浮雲變滅時世殊石龕禪榻隨烟蕪游錫倀倀歸無家下苦淋潦上陟砠載徙載構予拮据嗟亦勞止予非愚予惟爾徒寧爾居無思無營游化初旋斡萬有歸一無挈攜天地循其樞庶幾爾祖道不孤何用琬琰千金摹言之不及吾能書

池州路報恩光孝禪寺碑銘(有序)

予初入吳舟過池陽望九華之勝願一游而不能後廿年予遷金陵官寺玉岡居池之報恩通書交好期十築九華而償所願焉玉岡以葺其寺之勞須

汔事乃踐約且求文以記其實按秋浦志宋崇寧二年詔郡國建崇寧萬壽禪寺政和元年改天寧萬壽紹興七年又改報恩廣孝用追悼徽宗也有司以同太宗徽號請易廣為光則凡江淮以南皆有報恩光孝寺者其創易率猶是云而池報恩居郡城東北始主僧法應作轉輪藏洪邁記之淳熙間居民延燎寺併燬有志南思傳相繼興復至寶祐中祖昊德琛建千佛閣又六十年為有元延祐己未玉岡始來住山而舊屋已不支風雨矣於是撙縮經費由門廡殿堂方丈庫稟經藏鐘閣僧寮賓舘外而塔院莊墅凡寺之屋一更新之已慮數百間而加廣於舊像設供具咸極精好先寺有地奪于豪至是悉歸之而寺日裕因念其成之之不易而懼後之居者以裕而寖惰乃思所以訓之也予謂人心之妙使施諸有為可日計功業惟斂視返[聽-王]黜聰隳體歸之無作而全吾所固有者難矣故吾與玉岡皆倦於應世思結茅深巖不以是乎而玉岡猶未忘其勞諄諄以勗其徒則吾亦不能忘言也玉岡番易人名正珪始住宛陵章教嗣法鍾山月庭忠公才識過人有足書者復繫之辭辭曰

長江西來萬馬奔鯨呿鼇[木*鄭]如雲屯天開九華揚大旂導以列戟嚴重閽禪老燕坐浮齋淪樓閣倒影扶桑暾撞鐘伐鼓交人天像嚴物備禮孔殷瓔盖華鬘金珠銀螺唄間作襍笑言劇辨颼發喝雷震千偈[酉*(刀/(刀*刀))]之海波翻如幻所作駭見聞非見聞者吁弥尊氣育萬物胚乾坤化周六合靜者神爾徒伐石刊不泯惟勞可書言可傳與師之道長俱存

蒲室集卷之十一(終)

蒲室集卷之十二

豫章　釋　大訢　笑隱

塔銘

永嘉江心寺一山萬禪師塔銘(代佛智師作)

予景定咸淳間與一山徃來淛東西率不相離離或不歲月終必合及東[容-口+夕]禪師來南屏予掌記又推擇一山使代已而南竺絕岸湘公先陰使入以客召一山至則令眾擁授前職[容-口+夕]曰士而可以計取耶遲一年當復我及期而歸卒掌其記時上竺佛光以齒德位望高一世猶降已與交其它之大方有眾千百皆未足多如得一山為旬月客若頓光几席德祐間因遊天台[容-口+夕]執別曰子其寒拾乎及境眾留主寒巖未幾遷紫籜十年遷跡山與當道議不合即棄去時予亦菴居于洪一日有厖眉負笠走雨中來就之乃一山也留數月歡甚而江淮捻[糸*克]會諸山于靈隱之直指堂議以開先迎居之一山益奮厲以古道自任庶幾禪林全盛時又十年行宣政院具疏幣以永嘉江心來聘至之日龍出光恠群烏翔而不去人謂宜有吉徵已而廣蜀雲南窮髮之學者卿風大至居三年院吏閱舊藉謂有一字可出入其過者以諷一山笑曰吏姦欲竭吾帑庾以塞谿壑吾不為也必有[酉*(刀/(刀*刀))]直以吾位為奇貨者吾其行矣眾數百隨至馮公領度終無留意各泣別散去悲聲荅林野一山即躡屩獨徃惟其徒克恒背一囊僕役無一人視之若甚窘然而自喜如新去桎梏方笑傲恬不為去留訃會廬山月澗明公遣舟迎歸東谿且從容言復以開先歸師又便欲去乃止不敢言後明公歸番示寂開先之眾懇逼至再四願不以寺務累師惟乞訓徒凡一時名士爭願出席下其它師之弟子雖抱奇蘊勝皆自不慊蘄一語相[上/月]諾始若厭望然牧眾餘三十年道足不愧古人而受命綱吾宗者率視賄為好惡故一山起而復仆不得大行其所欲為豈在己者可勉而在人者不可彊與嗚呼一山化之先七日力疾危坐不近藥至期命具浴更衣出據室几速兩序進書訣眾語置筆問不應撼之息絕逝矣皇慶元年十二月三日也闍維收五色舍利如菽不可計雙目睛不燼有司鎔以烈焰經數十返益晶熒齒牙頂骨錚有聲時改作豫章烏遮塔江西行省丞相斡赤命以舊藏釋尊舍利奉於中而遣使分一山之目睛舍利貯之銀匣陪葬焉以七月大會萬眾迎歸讙泣交動餘骼舍利又以葬東谿舊與南州珍公同里因同窀葬之三年克恒走錢唐乞銘予以徑山罹禍方塞關絕客恒堅不去謂它無能知吾師者予恐即死忍不使一山行業暴白乃書以授之一山諱了萬字無竟族臨川全氏生淳祐元年十月十四日瘠而弱年十五業程文有聲然無嗜俗意去從金谿常樂院思仁祝髮俄有靈芝

產戶樞及游方謁偃谿聞公荊[容-口+夕]班公簡翁敬公皆相語合後經神祠見紙灰隨風旋起者脫然忘所證丞以白東[容-口+夕][容-口+夕]詰之終無疑洎開法竟以嗣[容-口+夕]肖焉而辯博過之常瞪目坐不以文自溺至有求輒累百紙落筆立[書-曰+皿]雖誤終不易或應變縱論衮衮萬言不窮錄之皆成章人欲宿搆終莫及卒時年七十二銘曰

凡物之終得喪惟均孰計其初時之詘信有[雨/貝]其實人棄不食後時而思於實何慝師有至慈萬物一已如保焚溺嗟嗟赤子庶幾善導其如蠢蠢彼聖之世尚曰堪忍有覺大雄胡乖而逢遲子同歸夜光曈曈昭箸日星龍鬼搗呵無或不睹如睹者何

金華智者寺雲屋間禪師塔銘(代佛智師作)

括蒼松陽葉氏世多名人其尤顯者唐開元中有諱靖為老氏學宋大桑門雪堂行公與石林先生夢得為三賢里人至今祠之自雪堂後族秀民多為浮圖氏而尤顯者曰雲屋諱自間遡雪堂九世諸父也九歲族伯父古鑑皎公使習經如素誦季王父古樵宗公謂兒異使學佛能輔教族俱大也攜入福安院十三剃落隨樵居婺之仰菴厚自韜韞已無涉世意雙林明分石見謂是子異日風穴老南也[母-(、/、)+丨]滯茲樵遣參荊[容-口+夕]於冷泉使侍香辭匿入淨慈石帆[偲-心+廾]掌記復辭暨東[容-口+夕]至迫使就前職撰成道疏云發見精於午夜[容-口+夕]易發為泯因汗下股栗如撤蒙蔀已而省部有知師名者舉住江右九仙寺檄至以母老辭歸婺作景睦堂便養堂側有法明寺因寄築焉榜堂曰萬休至元癸未郡以雙林廢倚師中興彊起之說法嗣東[容-口+夕]五年棟宇完帑庾實即引去歸萬休十年智者寺住持友竹素又舉師代已卻避凡七月乃應與恒山周[非/友]齋交相好郡守為築二老亭山中李雪菴鮮于伯幾作圖賦詩落之憲使梁公又搆草堂寺側大德甲辰因謝事居焉宣政院復以江心起師辭老不任更以其友一山代之皇慶壬子十月廿五日與客語笑如常時客退命左右進筆書偈與眾訣遂終遺戒三日葬草堂後龜山先是自為銘息齋李公為磨厓書之壽八十二臘七十生宋紹定辛卯六月二十日有外集二會錄若干卷其徒可則謂師之銘不及其系請詳志之予與雲屋臨川萬一山雅相厚逾五十年二兄同年卒予後死者忍銘耶又義弗可拒乃銘而系諸辭曰

維括之陽天作其區其良蔦生族大不居神睠有德而卒[田/廾]予孰彊予宗賈勇萬夫師有立言矦公氣沮曰匪吾事庶曰禦侮擁幢大方人榮衮黼師居不寧式歸將[母-(、/、)+丨]復恫于道如任弗克恙彼學人有來如驛有辯雲興示之默默或恃其盈我以無得胡濬其原胡嗇其施亦既壽考亦終化儀可拜可瞻龜山之石孰睹其真茲焉其跡

金陵天禧講寺佛光大師德公塔銘(代趙魏公作)

東漢佛法入中國而佛之遺言莫克大備唐太宗時有弗法師者躬徃身毒求之得經律論歸授其徒窺基為箋疏釋之世傳為慈恩宗云　國朝以仁慈為政蔫尚佛教又益信慈恩之學先是其學盛於北方而傳江南者無幾至元廿五季　詔江淮諸路立御講三十六求其宗之經明行脩者分主之使廣訓徒時東昌德公首被選世祖召見賜食與衣奉　旨來建康住天禧旌忠二寺日講法華唯識金剛華嚴大疏等經三十一季又賜號佛光大師師既善講說又能力行故人蔫信之每施戒人父子兄弟相教[母-(丶/丶)+丨]犯至然頂[捐-口+上]為誓且願出財力新其殿廬樓閣初寺廢僧星居如逃亡家及茲大有羨粟歲饑為食道上活殍死數萬流俗尚醪醴相雅好結官吏師獨以律繩其徒令先自謹飭出止坐起有常度若韭薤蒜蒜酪乳辛葷等咸[母-(丶/丶)+丨]蓄食凡物之屬於公者勿毛髮互用誤一罰十故者擯久之皆化服徒無犯令自居建康三十餘季一布衲皮履終身不易午過不食夜危坐達晨以苦誦讀蚤喪明忽夢萬僧迎居高坐空中散華如雨覺以語人因示微疾猶誦經不輟頃之安坐而化至治二年二月七日也季八十八置龕廿有一日顏如生以法闍維獲舍利無算會者數萬人為塔葬之江寧縣張家山之原以行臺居建康凡仕於南者多鄉師高行願受一言為弟子金吾上將軍□□事師逾謹以豫章大訢之狀來謁銘孟頫嘗待罪世祖朝見其用人天鑑莫測雖方外士皆雄偉桀特若師能弘其教亦一時之選也是可以銘己師名志德號雲巖姓鎦氏世居般陽萊州掖縣後徙居東昌而師生焉十二授經於順德路開元寺海聞禪師嗣法於真定龍興寺法照禧公而嗣其法者某某凡若千人銘曰

於穆聖祖如天之臨維佛大聖克協帝心帝心於人一視同體設教多岐趨善一軌佛光之道聞于朔方受命于南陰贊時康乃升高坐乃考鐘鼓以誘以諭有來如雨內默斯照外應斯虛徃復無朕寂用一如境變萬殊其立也獨匪留而久匪逝而速長于之麓牛首如伏後人是瞻于曰不足孰圖師恩刻石于原維其似之庶幾不泯

臨川資壽寺妙行慈惠大師聡公塔銘

有元延祐四年十一月三日臨川妙行慈惠大師卒卜明年某月日葬其徒來謁銘乃諾而系之師諱繼聡字愚極族王氏以宋寶祐□年五月十三日生生十二從資壽寺本椿宗定為驅烏十七給文思院勑牒書名以嗣定之徒自壽景定初椿定亡江西常平使者并籍寺田眾饑以散師獨走大府直之凡七年漕使方公逢辰[覈-(白/方)+身]得情悉取奪田歸于我師葺寺又益田以紓公且驟施于鄰居室雖乏匱常若裕雖豐若未始積也日誦楞嚴法華又樂吟詠凡圖緯推步之術岐伯俞拊之書咸無不穿穴有以南

安能仁寺請出世固辭不就自始受具迄是無缺行凡六十季年七十七先相兆于寺北之雲谿期與徒紹明同蔵明有徒三人長嗣德德授宗善善授法觀觀授惠辯次嗣徑徑授守約約授法舟季嗣徹徹授守悅宗支以蕃惟徑善蚤世約博學通宗主項山寺銘曰

世貴有後而懼不祀孰是吾宗重若傳器師智克荷度德敏事奮古風生敢抗大吏胡賢而藝而不昌于世道充其身而不淑諸人嗚呼尚[田/廾]爾後昆以識其丘原

臨川資壽明公和上塔銘

公姓彭氏諱紹明字無昧撫之金谿儒家子季十二輒不喜與俗混居於是去學佛于臨汝資壽寺宋景定甲子從妙行慈惠大師祝髮為桑門莊重簡默善誦孔雀佛母經入病從師禱祈輒差以故里人爭相邀致雖甚遠且無所施與終不辭或少得施悉以資寺為繕脩費餘以貸鄉隣之困乏者及視所居室桮然衣敝不易尤喜客款之[書-曰+皿]歡雖彌月如始至又致儒師以訓其徒若守約法觀守悅皆以能文辭游禪林先是官籍寺田慈惠以狀白府及部使者凡七年始克復公時行貸以給其費自侍慈惠六十年雖老益敬畏慈惠自始疾至病必躬醫藥凡歲餘未甞歸私室及卒哀至紲比殮及葬不少離次自是神志日耗戊午春病噎氣逆禱曰願貸須臾死使奉師歸蔵十月葬慈惠明年疾甚即不餌藥五月十日坐起如少間撼之目瞑矣其徒嗣德嗣徹守約以其季十一月某日葬雲谿從慈惠之兆季七十有五始寺之徒以傳次相授受至公乃[泳-永+(瓜-丶)]別為三雖各以宗傳而若一終無異言守一先一歲卒銘曰

童知訓誦里無勃磎以有宿老槁項庀眉談笑寓物物無遺者復我侵疆築室百堵有徒雍雍波趨雲從匪承于代亦寄吾宗吾宗之寄有肖無類茶陵何人端也嗣會惟約與觀載啓其途于日千里敢昧厥初蒼山如城其流環外我瞻雲谿雲木茂茂猗與後人無念爾猶不有過者拜此道周

豫章般若寺絕學誠禪師塔銘

宋季慧朗居仰山法席特盛由其門出據大方固一時麟龍其遁跡巖穴若高峰陡厓銕牛亦足追蹤先德後高峯以[估-口+(田/寸)]斷厓中峯而銕牛以傳絕學又皆道重海內它宗所不及也絕學卒十年其徒智玄以番易廷俊之狀乞銘其塔師名世誠吉水人世鎏氏生宋景定庚申十二月二十四日年十七宋亡兵草甫定家無所業諸父迫使從商不樂也行寓興國大冶三泉山有異僧無相者通宿命見師呼曰昔黃梅山同參能記識乎師[怡-台+(网-乂)]然無相勉之學佛以還舊習師即棄所貲從修禪定忽聞鐘聲有省又教以出神師曰神徃形存苟人舁致水火神返將安所寄知

不足學棄去登臨江之西華山求祝髮春山宗公與語奇之謂真顛雖沒而肉身猶在盍拜之以剃落焉久之游衡廬間留圓通石霜瀝指血書法華圓覺以助精進入吳見蒙山異公及菴信公且徧叩海上名宿所至莫嬰其鋒而自以未饜所志復歸里見陡厓戒公值其臥疾猶[酉*(刀/(刀*刀))]以偈戒卒徃謁銕牛定公于湘南徵詰數十返始嘆然如釋所滯遂留分坐期[書-曰+皿]磨礱以卯所證乃去至大初過洪之靖安愛其林壑幽勝有凌景仁昆季即靈鷲峯築菴曰般若相傳馬祖嘗記五百歲有大士來說法咸謂師足當之生米市鄧實齋亦舍所宅為菴以奉師師徃來居之出無與僕儲無甔石而化茅茨為廣居從之嘗數百人敝衣槁項溷處樵蘇言無緣飾或有所訓無切督之威嚴厲之色而聞者拜稽相然頂指誓以勿犯若公卿儒老異教之士與西域高麗雲南日本諸師亦嚮風趨慕耄稚扶携接踵于道至家繪其像祀之每剪[瓜-、]髮或墮齒牙則爭取藏去皆獲設利至順壬申十月廿三日示寂春秋七十三僧臘四十有二度弟子若干人奉全身以沙瘞靈鷲峯下後三年出視之貌如生[瓜-、]髮眉須皆長寸餘飾以香泥迎置于堂礱密石為塔而四闢之以尉其徒事之猶存且刻銘其上焉予聞師之教人專修乎內以明夫自性性之常定雖虛空可壞現在身心皆為虛偽況於滅後取其棄質以為實有無乃戲事而於吾銘何有哉又惟妙化無方靈機莫測故臭腐可為神奇柔脆可使堅固世有佛指齒骨諸祖肉體皆歷數千載而鮮瑩剛潤有足徵信將嚴像以崇其教立言以寓夫道而銘不可無也於是不辭而[田/廾]之銘銘曰

硅峯如壁泐潭千尺師據其衝氣當勢格廑蘇如[大/(中-丨+(皿-冂))]萬象為徒古有其人南陽大珠太方萬指虛若閧市仰只高風心悸顙泚大用無作至道無言寂若槁木而應無垠惟師法身非小非大孰云委骼而亦不壞刻銘塔波金石不磨死生之畏其如師何其如師何

姑蘇萬壽寺默翁一禪師塔銘

道非語默胡求其迹作於無作無任智力大化成物雪霜雨露生死變遷人之大故獨無怛化旅泊傅舍猶餘光恆海天不夜海若弭節九峯龍趨電擊雷驅文龜長魚示爾來學粲若千鐙庶幾不已我銘是徵

蒲室集卷之十二(終)

蒲室集卷之十三目錄

說
冲默字說
開通叟字說
繼齋說
靜隱字說
江山小隱說
題跋
恭題文宗皇帝御畫萬歲山圖
題左明德刊施金剛經後
題曾師祖北磵禪師方中字說後
題曇西竺母李氏墓銘後
題高氏守拙詩後
題東坡與程正輔手簡
題癡絕禪師書山谷煎茶賦後
題東坡手帖
題松雪翁書千文後
題殷濟川畫
題思聰遺墨後

蒲室集卷之十三

豫章　釋　大訢　笑隱

說

冲默字說

古渝圓照師月公名其徒曰德照將俾嗣其明以不匱照克服訓鋒淬膏潤肆勤于業以渝處遐壤無以振厥羙於是南游萬里永有當其志者胥會于錢唐請曰古以字稱敬其名也幸辱之字辭不獲因進之曰朏盛而魄生薪炎而燼棄懼其明之傷焉人有靈府物之綦明者也荒怠以蔽之私智以鑿之明於是乎替其有治之者不及焉則過焉闢茸者嫌於汙皦皦者害其察故君子學以繼其明明必守之晦而後照之義終焉字之冲默其可乎老氏曰知其白守其黑為天下式似之矣復祝之曰鑑兮匪形淵兮匪深無曰左

右惟帝女臨子慎厥武孰圖其覆予創于口遠莫予復敬之敬之福履具宜曰有令德曰有威儀圓照之室施于[瓜-、]飋尚昌于世以薦嘉字

開通[容-口+夕]字說

佛鑑居仰山以茶陵開禪者綱維其眾眾悅之相與字之通[容-口+夕]稱焉於其有請於予乃進之曰若知夫通之說乎聖人之教人也因其明而牖之若四闢以達于奧使學而至於通則善不可勝用矣其或有優於學而弱於實通諸古而繆於今猶迂轍以即途膠舟而求濟者不通於事也是以君子介而不隘和而不流默其智以容居易以俟命又必觀其時之通而後能大有為也故學不通不足以為善事不通不足以居眾時不通不足以傳道而學所以為己適於用者為人乘時以有為者將以信於天下垂之後世也學也事也勉乎己者也人可能也時者天也人不可能也明夫二者其庶乎貽終矣通之義備矣咨爾通[容-口+夕]式和且脩不念佛鑑或貽之羞

繼齋說

大同張氏家百口不分兄弟相與謀曰古之受土賜姓何十百族今子孫或繼或絕[漫-又+万]不可考其可聞而知與吾高曾祖父同時為鄰里媚舊以貴顯富盛者求後某若某已無幾況其田廬器物者乎自吾有姓以來至吾高曾不知幾世由高曾至吾又幾季而先世遺業故無恙非吾宗碩德厚澤能若是耶自彼秦人家貧子賤出贅父子異處昆弟相訟相擠以禍幸其凍餒覆絕如路人不之顧者世相望也使吾不知戒而懼能保其後之必無是乎於是計其田若干畝推大宗之長主之籍其口衣食稟給喪祭婚娶各有差咸家之長幼適庶臧獲均有養焉歲閱其贏以備不虞又慮其不知教或陷于辟則先志墮矣迺稡書數萬卷列群從子弟與鄉之俊造日講說其間作堂曰同善樂取於人也齋曰繼齋貴子孫世守之也而求諸能文辭者申其繼之之義焉夫堯舜禹湯以道繼者也文武周公繼志者也而孔子東西南北之人也孟子歷聘諸國俱不得位而道則繼堯舜禹湯文武周公者也由孔孟而下不得其繼焉宋有儒宗者能遠紹千載而學者廓然以得夫性命之正嗚呼世之欲學孔孟者則必若是繼之之為得也昔者公侯有國大夫有家民有恒產三代而降制不如古雖環堵之室士不必有惟道則脩諸身職夫我者也君子其盡力於斯而已乎而張氏兄弟生太平盛時居有室食有土子孫繼業家益蕃大是天之因其材而薦之又力學乎孔孟必有以繼其道者也然吾游方之外者而幼亦竊聞之故假其義以告張氏兄弟五人其季若思與予交字子儼云

靜隱字說

御史楊公弘正世為西夏貴族年方壯又登顯宦才茂器宏翕然人以宰輔期之而常嗜欲泊然自號靜隱以寓其志或謂公耻與俗嬰思自拔埃塵之表有慕幽人逸士之翛然遐舉於世若不屑焉予聞而疑之因孝古人命名立字或揭諸室而銘諸盤盂几杖雖其義無常然皆欲勗其德以求合於聖人之道也聖人之道必由定而靜以接於群動嚴乎顯微而後輝光著於事業是以靜隱之功致於學者也及其成德則雖窮困隱約寓諸畊釣版築未嘗一日忘天下豈若寒灰槁木漠然自棄於無用既而出為卿為公為帝者師則列土而封五鼎而食豈若泰然肆志甘蹈禍辟而不止者故君子間居則思致君澤民處榮觀則思靜退是又以靜隱之道砥礪志操而審乎進退之幾也夫靜也微也動也著也循夫內以應夫物而全吾心之德也出也隱也觀夫時以進退吾身也皆所以存吾道而求合於聖人之道也古有不得志於時則猶隱于吏隱于市非必逃山林若避地避世為哉況今朝廷清明俊乂在位公日嚮用若預戒貴盛無忘勇退以不改陋巷之樂如前所陳者云耳而彼乃方之以巢許沮溺不知公者也予不得以無辯

江山小隱說

御史思齊公謂予曰季第彥明年踰弱冠方勤于學而受命宰衢之開化以任百里之寄它日不患不登顯宦惟持盈守成以養其德善矣其友為扁所寓曰江山小隱取古之達人處功名貴盛時未嘗一日忘林壑不沈酣于利祿聲色若王逸少之蘭亭賀季真之鑑湖是已予謂知幾審時擇於進退則庶乎而日樂乎外以忘乎內志其小而遺其大未[書-曰+皿]美也孰若返觀吾之巋然獨存汪然常盈運今古而不息育萬物而不有者以進夫可久可大之業雖有力挈泰[山/華]智測溟渤而不能窺吾高深之彷彿江山云乎哉小隱云乎哉思齊命書其說以授之

題跋

恭題文宗皇帝御畫萬歲山畫

今上居金陵潛邸時嘗命臣房大季畫京都萬歲山千屏大季辭以未嘗至其地上索紙為運筆布畫位置令按稟圖上大季得稟敬藏之意匠經營格法道整雖積學專土所莫能及而天縱之才豈以是為夸美哉聖意若曰世祖由南征平天下定邦畿作宮闕以開萬世之基是不可一日忘也身為適曾孫而自任以世祖之重使登其山居其宮母以逸豫為期而思四海之廣必人物咸若登春臺躋壽域而後可同樂也猗與盛哉自是而入繼　大統膏澤屢敷于九有疇克以是圖再進　聖覽必感昔之作圖以寄其思而今則居之推廣當時之意其祖宗生靈之念又將油然動千　宸哀而重增眷

眷也臣大訢比以方外蒙　召獲睹　皇居之壯辭闕踰年因閱是圖無任感戀謹伏書其下云

題左德明刊施金剛經後

盱江左德明舟徃儀真至荻港中夜風大作鄰舟飄失亡慮十百獨左舟若有神持之者舟人異而問之曰我嘗卯金剛經千卷施人豈以是而報我耶又見大舟覆浪中左曰是必有人未溺死急出錢與善游者棹它小舟趣救之且令持斧破舟鑒竅以呼果得十五人以出道由金陵為予言之將再施經以荅神貺復欲求名公三十二人各書經一分集成而鋟梓焉因告之曰經之教人以明夫性也而金剛者取其不變不壞如云一切佛法皆從此經出豈不以此經即吾之自性而不可一豪加損其中雖三十二相六波羅蜜尚不可得豈况執六塵四相而欲聞此經乎使能識此經以擴夫自性之妙則藏一微塵而非隘包太虛而非廣在晌息而非速亘萬古而非久大浸不溺大火不熱者蓋理之常非假它術也又何特驚濤之恐因此經而致神護較小施報於禍福哉左聞而喜請書以為經序記風之夕維至順辛未十月十九日

顯曾大父北磵禪師方中字說後

古人所謂方於中者為正直為剛果為不詭隨圜於外者為智謀為權為變應於無窮而行於無事也其有以愎執為方以諂以柔為圜者無取柳子厚說車固善而陷伾文之黨於圜之義得無少辨乎吾曾大父囋室翁字圜上人以方中而使其求柳之說以自懲勸盖吾道與世教有同而異異而同惟隨事酌義若圖澄之於石勒羅付之於姚秦閔生靈之塗炭而善導其昏主所謂圜而方者也大覺之焚龍鉢楷公之拒紫衣戒吾徒以奔濫而卻君之賜所謂方而圜者皆有垂法後世番陽趣上人得翁遺墨請伸其義而書其後云

題曇西竺母李氏基銘後

番易桑門紹曇之母李氏卒將葬曇走金陵以告其友大訢曰吾族世為儒曇以父母命幼使學佛其始旬日一歸省[母-(丶/丶)+丨]曰汝無不堪苦寂耶既而數月一歸[母-(丶/丶)+丨]復曰吾非以汝兄弟多而遣汝聞佛之言性有謂一念萬年者吾深慕之欲汝得其道以告我不猶愈於堇直滌瀡之奉乎於是即日別去求楚吳甌越之名師徃學之餘二十季懼無以歸白母令母不待而卒欲庶幾古人織屨為養不可得已雖歸又何以藉口見鄉黨且吾諸兄乞銘於鄉先生果存已悉其家世行實與卒若葬之日

月而不及吾母以命我之志請復得予之言附之碑陰以益吾痛而悼吾母之冥冥也言訖又泣予聞之矍然曰而母其知道乎形生者一世而[書-曰+皿]而性者窮天地振萬世而不壞者也佛之言性必見之明守之固而後為聖為賢若或明或昧或操或含與所脩之異而為天為人為鬼神為異類凜乎可畏故學者絪情去累一志于道以有盡之形求不壞之性欲一世而成功萬世也以是報親不既重乎曾子謂先意承志諭父母於道孝之大者矧佛之制其徒猶蔦孝養若曇以志事親是誠乎孝而知所本矣又嘗從佛鑑禪師于徑山掌其記端慤有文克荷吾宗故不辭而書以歸之

題朱俊卿為父母脩冥福後

亘萬世窮天地不磨者惟靈明之性不以生而存不以死而亡不以聖而增不以凡而減雖人人均有之而隨物奔逐頃刻萬變飄忽千里如野馬陽燄念念不停至奄然而逝則貴者不能有其位富者不能恃其財而親者不能留其愛也有足悲夫故吾徒以死生為大懼必明夫自性而求所謂亘萬世窮天地不磨者也又吾佛言人之死而生生而死死有所徃生有所來有三世有四聖有六道由人之所脩而異入焉聞者凜然知所懲勸而自格非遷善徵諸古驗於今為不誣矣儒以治世設教脩人事而厚民生若死與鬼事寡言之至曾子之啓手足易簀不亂而訓亦嚴矣錢唐朱俊卿儒者也居母喪致孝以其父母嘗學佛故邀釋老之師說法以資冥福將使明夫不生不死之性而進于道也亦其父母之志也曾子曰孝者先意承志諭父母於道俊卿以之

題高氏守拙詩後

孔子之門子貢最為辨博猶曰賜也何敢望回回也聞一以知十則顏氏之才敏世宜無與伍者矣而孔子稱其庶乎屢空又曰黜聰明隳肢體由是論之道有體用學有本未聞一知十待用於外者也黜聰隳體致力於內者也三代而降大道不行民俗媮偽聖賢者將使遡流而得原斂華而歸實以求復其太樸於千載之上也真定高[色-巴+(序-予+天)]至元間由司憲出牧大郡為政以能稱而自稱曰守拙其有取於顏氏之黜聰也耶夫物欲之熾不翅火之燎原非達識則不能黜其聰其意匠之斧斤且且而伐之非大智則不能守其拙而或者謂[色-巴+(序-予+天)]之守拙盖嫉夫世之以察為明以刻為能以詐為忠以矯為廉而資之以釣大名躐厚祿自以為巧為得志而人亦歆豔之故[色-巴+(序-予+天)]恥而甘於退拙而因以自命也曰是亦窺其外耳而[色-巴+(序-予+天)]不為是也予生晚與侯未之識而獲交其子若婿聞[色-巴+(序-予+天)]之談笑娓娓危坐而化是足以徵其平生且[色-巴+(序-予+天)]沒三十年子孫益蕃衍其積德之

效又不可誣也它日季淵以所藏守拙詩累軸示予曰先君之手澤未嘗一日去目也予受而書以歸之以識其孝思使[色-巴+(序-予+天)]而有知亦必以予為知言

題東坡與程正輔手簡

蘇公以剛正為小人譖[里*(汆-(彖-豕)+乂)]凡所交游亦為羅織其時有得其文字者不敢以示人甚者取所書于梁壁亦削而漫之而後世秘惜之過若父祖手澤當時小人猶切齒憤恨如己寇仇然由是觀之大抵人之心術不可不正又何忍而不為君子耶此帖在惠州時與程正輔者二月而云天氣斗熱其炎瘴可知而它書又云譬如惠州秀才累舉不第有何不可其胸次洞達不為憂患所移可想見其人矣觀此益增感歎

題癡絕禪師書山谷煎茶賦後

魯直謫居瀘戎雖瀕九死而怡然自得效蜀人法事茗飲愛其風致作賦紀之後百餘年當宋季淳祐間蜀阻兵革癡絕禪師蜀人也思歸其鄉而不得讀魯直賦悲之書以寄所感焉由享祐距今　皇元天曆改元之秋又八十六年矣而蜀再罹兵亂比喜眼順然不無傷殘也予雖非蜀人觀癡絕所書能無感嘅佛言世界眾生悉由宿業流轉惟有道者持以定慧之力能安行而順適彼外之貧富夷險無一毫加損於我也魯直知道故謫居異土如享廊廟鐘鼎之樂癡絕悲蜀禍之慘知宿業之不可逃惟脩定惠足以勝之然則作賦與所書為後世貴重者以其道也金華樞要堂蔫志於道得而甚秘惜之或者玩其辭之超勝而議其書之工拙者無取

題東坡手帖

蘇子瞻嘗有詩云周公與管蔡恨不茅三間推原棠棣之義以仁人之於兄弟也無賢不肖一以親愛待之周公身任天下之重處嫌疑而以大義滅親豈其心哉予瞻以直言立朝流謫萬里思其弟而不見故追記其詩而書之愛友之情可勵風教況其詞翰俱妙乎

題松雪翁所書千文

松雪翁為予書字凡數百幅悉散於人無一存者予素不習書其真贋二拙皆莫能辯然如天機相馬正不求於驪黃牝牡也有以翁所書千文求題故云

題殷濟川畫

吾友遜敏中得殷濟川畫達摩寶公而下禪宗散聖者凡廿八人併取其平日機用模[冗-几+(舄-臼+(丨*日))]之然南泉斬猫雪峯輥毬盖其一時示人如石火電光不可湊泊心思路絕語默俱喪况可以筆墨形容哉畫者正如郢人誤書舉燭而燕相尚明國雖治而非書意也敏中博識謂濟川名畫脫去畦畛常牧溪嘗從其學又癡絕虛谷諸老題後稍珍惜之然予不可以無辯也

題思聰遺墨後

歐陽公慕韓子作文因欲攘佛而喜與僧交盖當時僧有以取重之者聞訥公之辯博而見明教之上書固已氣沮心服其下若惠勤思聰又因其所好以相入蘇子瞻謂聰九歲善彈琴十二舍琴而學書十五舍書而學詩又曰惠能生定以至于道則書與詩當益奇觀此可見其人品矣天台聰聞復名若字與思聰同所業亦相類士大夫多樂與之游惜時好趨尚各異未有如歐蘇者以振發之因其以所蔵思聰遺墨寄題予既喜其所同感其所異并識其未云

蒲室集卷之十四目錄

題跋
題宋高宗書東方朔荅客難
題三教圖
題陳世榮血書金剛經後
書金陵十詩後
題安國寺記後
書瞻雲亭詩後
書商學士畫山水圖詩後
題凝翠樓詩卷後
題山谷詩後
題米元章書後
題斗極杓公遺詩後
題王荊公尋僧
書卯土寺記後
題東林寺重
題放魚記後
題趙閒閒書心經後
頌
大龍翔集慶寺素覺皇像頌(有序)
箴
約之箴有序
明善箴為陳氏作
元履箴為臺郎高君作(有序)
[(天*天)/貝]
妙法蓮華經[(天*天)/貝](有序)
摩騰　　[(天*天)/貝](有序)
妙有堂[(天*天)/貝](有序)
玄卿[(天*天)/貝](有序)
堯卿御史豸冠像[(天*天)/貝]
王道人[(天*天)/貝]
趙宗吉御史豸冠像[(天*天)/貝]

蒲室集卷之十四

豫章　釋　大訢　笑隱

題跋

題宋高宗書東方朔荅客難後

佛惠居霅多得故家圖史書畫又與松雪翁交號稱博古後至元丙子九月佛惠遷化其高弟耀公以所蔵宋高宗書東方朔荅客難示予予於珍玩古物圖畫字帖皆不能辨松雪嘗誚予以不韻予謂雖不識物而能識人漢高不知文縱知武亦多戰敗至治生產業皆不能獨能為君耳宋徽宗無不能而獨不能為君若高宗雖稱中興然不能用李綱宗澤與諸將如漢光以克復中原為可惜也然其慈仁謹儉憂民愛賢可謂守久之主况其字畫之妙可傳後世乎念二翁之不復見追憶疇昔以識所感故書于後

題三教圖

孔子嘗問禮於老聃圖之以為揖讓可也佛生西竺未嘗至中國又時相先後而亦見於圖何也若以其道同心同雖善言言者言所不能及豈筆舌可形容哉畫史欲託諸圖像以會其同而好辯者反資以立異孰若得其心同道同而忘言也

題陳世榮血書金剛經後

唐元德秀李觀喪其親瀝指血書佛經以資冥福或者謂親則亡矣而徇俗薦悼何益哉予謂元李為唐儒宗其講亦熟矣知親之靈然不昧者不與草木同腐則神明變化死生徃復天人萬類必有所歸而佛之以性喻金剛之不壞而般若者性之常明波羅蜜者梵語到彼岸猶儒之止於至善也夫孝子之心以衰絰哭泣不足[書-曰+皿]其哀慕而求親之靈如佛所謂不壞而常明者超彼岸以止乎至善其於愛親不至已乎金陵陳世榮刺血書金剛經以報亡母祈於悟上乘超淨域惟以見其高識有合於元李諸賢而無惑於未習淺議為可嘉也他日其子以示予謂先君手澤未嘗一日去目詩曰孝子不匱永錫爾類陳氏有焉謹書其後而歸之

書金陵十詩後

鄧善之為予言冏堂王公與果長老厚善迨果化去而繼學於是夕生今年夏繼學來為南臺侍御質之云先公嘗指予言果長老將化而來別云復有廿年之聚予二十餘先公棄世則善之之言為然也繼學居官不數月而去視予若宿契每作詩必錄示吾黨和之者百篇而永嘉安雪心為書繼學喜而尤喜雪心書後有作率令書之雪心取予稟命題其後予聞佛制其徒母

溺於文藝恐其偏重若溺而力不能以自舉惟大乘者假之以護教禦侮可也不識果老為何如人得非所謂溺者乎智永好書而為房次律則可戒公以傳宗自任而為蘇子瞻則吾法不取也吾與雪心可以為鑒云

題安國寺記後

東坡蘇公為五祖戒禪師後身及謫黃州徃來西山樊口皆其前生舊游處也作安國寺記云道不足以御氣性不足以勝習歸誠佛僧求一洗之盖其失在最初一念何待得罪於朝而始悔悟夫富貴利欲之鑠人甚於膏火安知患難摧沮非玉成於公也蘭莊禪師嘗倡道准西以安國舊記不存求予書將重刻之予戲謂蘭莊雖造道深密而未忘文字之習當以戒為鑒毋效尤也蘭莊笑曰董喙能毒人而良醫以之愈疾庸何傷焉且吾欲補安國之缺而使世之慢佛者讀之視公而自愧故不辭而為書之

書瞻雲亭詩後

予久不作詩為張君所強不得已而賦仲南見而求書之云將歸番省親志所同也予謂世之言孝莫過於曾子曾子以先意承志諭父母於道孝之大者而口體之奉次焉盖人所貴在知道知道在明性明性可振天地萬世而獨存而親之所以命吾者在是也仲南徧叅名宿為予掌蔵才敏過人有高行而造夫道歸以諭其親不既重乎視慈明之白金睦州之織屨猶未忘乎世禮也於吾詩何取焉

書商學士畫山水圖詩後

予十歲祝髮即受沙彌戒則綺語口業便當絕之而父師命猶令不離學舘至十八游方始棄文字然為人所彊徃徃不工有愧作者故力辞謝又取人憎惡年及衰邁猶不能脫然淨盡信宿習染人未易洗滌或謂菩薩假諸伎藝以如幻三昧因事攝化則吾不能知天目具上人命書舊作將使吾知過責悔以自新耶其以世俗喜文而謂我能隨機善導耶知我罪我當有識者

題疑翠樓詩卷後

南昌饒益寺去城四十里與予族最相近予甚幼時族人徃徃抱攜至寺及予從伯父祝髮城居惟歲時歸省得寓宿焉寺耆年平山端公遇予猶子姪然後予以匡徒留涮繼受命來金陵而不能歸者三十二年矣平山之孫大亨如淵出方外從予游淵以寺有樓求賦味於所交名士臨川危太樸以可望五老西山之勝命曰凝翠而為記文詩章者累軸淵為予執侍常勉之進

道以其將歸而徵贈言也因以茲樓喻乏子得諸公之賦無不盡工然無一人嘗至其處徒想像形容之求身臨而目擊者莫予若也雖不能言庸何傷亦猶吾宗傳心之妙必親證悟而後言可徵信子歸拜而祖質之而承顏於罄欬叱咤或盎而春倏而雷電蔚然虎變而龍躍則吾亦不能知也雖篇什之多將何以為哉

題黃山谷詩後

蘇子瞻薦魯直有曰瑰偉之文妙絕當世孝友之行追配古人平生[書-曰+皿]之其詩與字畫特餘事爾後魯直叅禪老晦堂聞桂香悟道故超然於患難死生之表而視子瞻之論又大有徑庭矣因觀荅任道教授詩評之如此使魯直復生必以予言為然

題米元章書後

元章多蓄晉人書帖作寶晉齋而其書豪放自成一家所謂善學柳下惠不師其迹者也

題斗極杓公遺訓

臨江靈峯寺自斗極杓公開山至今才七十年而其後數世皆以德望重禪林必其家法嚴肅願力宏深故爾及觀遺訓遺偈簡直淳正則信然遠孫極宗玄公機辯過人法才雅贍而持其祖訓出入必俱奉之惟謹則凡靈峯之徒可槩見矣而視它之大方所至如逃亡家豈其祖訓願力獨不如斗極者乎嘗求之昔有創業之主藏其畔具以示後人懼其狃於貴盛使無忘厥初其後則耻而棄毀之至覆敗流亡永為畔夫亦不可得而悔無及矣以是觀之諸方之癈而靈峯獨盛者以能守其家訓也極宗請書于後云

題王荊公尋僧圖

荊公操守學問高一世以經濟自任及為相不酌夫時世之異取周官國眼為息之意行青苗市易之法如唐相房琯用春秋車戰而敗也公猶以望重時君相如哲宗溫公莫敢終非之始蔣山元老期公於早歲謂能甘澹泊如頭陀棄名利如脫髮故晚年間居若悟其失以應夫外者既愆於用而是非榮辱復何足較不若齊得喪一死生以策勛于內可窮天地振萬世之為得也乃日尋禪老游有深旨矣後人不能悼其才悲其志廣而用迂復過為詆毀吾故取唐史論琯事以見其義云

書卯土寺記後

予在卿里數從卯土諸耆宿游出方外又與其徒慧滿道高道昭錢唐金陵間交益厚故求予文記之高居龍河十餘年由記室為首座禪餘不廢詩文有唐人作者之妙敦節義勵操履若虞揭先輩斡克莊王伯循諸名公皆與交至正元年六月得奇疾二年七月始疾愈行宣政院又檄請主海鹽之天寧寺吳中士夫咸喜其至爭以詩偈來謁賀隨問隨荅累牘而書不以病起為困九月廿七日州巨姓敷高坐迎請舉揚聽者千人莫歸猶肅客至二鼓假寐早作漱盥足不能立而仆掖之坐語含胡呼謂寺之老與從行義境曰吾住山六旬施利衣物悉歸寺吾母老可以舊所儲五百緡奉湯藥餘以買石刻寺記歸卯土境如所教得石太湖鐫之舟載以歸而境為予執侍復請識其後高字獨峯云而記所謂[泳-永+(瓜-、)]別為三曰紹祥紹經紹益永康正因慧月法濟志大道高義制禮中者妙曉之[泳-永+(瓜-、)]也而紹祥無弟子曰紹洪永寧正覺惠滿法喜智聚道東仁寓義境者妙觀之[泳-永+(瓜-、)]也曰紹端永瓚正傳惠燈法雲志謙智玉道昭道敏仁安義珍永則信果者妙隆之[泳-永+(瓜-、)]也

題東林寺重刻李邕碑後

廬山之勝甲天下而東林又山之勝處也由遠法師居之而名益重至宋照覺捴公易為禪林而寺始大其間名賢品題不啻千百獨李邕碑以字畫之妙為世所珍延祐七年寺火碑壞住山古智禪師既新其寺復取李邕碑舊本重摹刻之或謂道無今古時有廢興而文以紀一時之事耳師者宜訓人以道於字畫何取焉而禪師之言曰道外事乎事外道乎華嚴法界世俗眾藝皆為道用且吾以興復之勞欲後之繼吾居者皆若遠公照覺能隆其道以昌吾宗又豈無如邕者而述之於將來也故吾刻之石庶有勸於後云龍翔法弟大訢聞而識其說于下

題放魚記後

越之諸暨有湖環其廳治歲取魚鼈之利以助公用宋政和中有陳尹者禁采捕以舟載魚悉縱之長江中復語芝園照公使記其事雖惻隱之見於一時亦足以覘其平日之用心矣夫仁及虫魚則惠於其民可知也能與名僧游則其具正信為法檀度尤可知矣視今汗吏[皮-(丨/又)+(王/巳)]其民使不聊生又漁取吾徒至傾貲以結之飫酒胾以啖之猶不能免况有澤及鱗介者乎予不能隨時俯仰動遭譏詬固無芝園之道以化其俗又安得陳尹之為政使民與物各安其生而吾徒可倚為外護者哉明慶杲宗師以芝園遺墨命題重吾所感云

題趙間間書心經後

司馬君實嘗書心經以贈僧復題其後謂韓退之排佛而稱大顛外形骸以理自勝要自[月*匋]中無滯礙由是觀之於佛不為無得而所排者跡爾跡之弊雖聖人不能去若惡其跡而棄其本是猶惡焚溺而罪水火惡噎而罪饗者也雖其好惡取舍之不同猶能明佛之理而交其徒之賢者視今之庸俗隨時趨尚孰有察夫理而別其徒之賢否哉太原白氏世為金國名臣正大年間有樞密院判諱華者為亡父朝列君資冥福設齋以延三教之名士時間間趙公書心經遺之以其親之不可見而靈明不昧者未嘗亡也若經云五蘊十八界四諦十二緣生皆外物之累於心了無所碍雖以之振天地窮萬世而不變不壞是所謂以道諭其親孝之大者也後趙所書經散落江南樞寧君五世孫名瀆字子通為御史掾得之南僧舍及子通仕建康錄判遇知文皇于潛邸連升為青塔慶壽集慶三寺營繕司官暇日出經示予予媿非大顛輩可接退之諸賢而獲交予通子通明敏進用未已可彊其宗詩曰孝子不匱永錫爾類白氏有焉

頌

大龍翔集慶寺素覺皇像頌(有序)

天曆元年十有二月上命以金陵潛宮為大龍翔集慶寺營之三年寺成以至順辛未十有一月廿有四日立覺皇像住持臣僧大訢謹拜手稽首獻頌曰

天道悠邈至理可推靡愆予度寒燠四時龍之變化不可度思時潛特飛雲氣隨之聖德如天其動猶龍澤及九有[貝*卷]焉舊宮舊宮峩峩神物撝訶祀我覺皇降福實多惟覺之道有權有經天人異類冈不或承并包百氏妙合大同匪窒而有匪蕩而空道之精微言所不及疇宣于教而像斯立像立教宣如振于鐸我拜我瞻其容於鑠一善之萌蹶然有作孰鋤其驕悍夫惕若凡今臣庶有萬其區方之中土壤異俗殊冈不由教畏惡遷善矧是邦人和樂衍衍鍾山左顧石城右回如瞻雲旗輦路逶迤爰播仁風八表同春物安其性人合道真金石可磨我頌何有天子萬壽與天同久

箴

約之箴(有序)

義興裕上人問字於予予字以約之彼儒者謂孟施舍之守氣不如曾子之守約約要也言求於外不若歹求諸身吾與裕學佛者也佛之道多方東漢時法入中國又四百年而達摩始至以直指之道教人而人廓然獲所素有今吾與裕又宗達摩者而裕也學贍而材博且方盛年予懼其溺於文而不知所返玩華而喪實無乃有負於吾宗耶故因其字而箴之其箴曰
儲藥于肆岳增川委疾而療之刀圭而愈道之淵博如江如漢愈涉愈遠心悸目眩不有至人勦其枝蔓如臨濟玄如德山鑒裕也多材只益多岐約之約之其必如斯而已

明善箴為陳氏作

夫性之善充乎至仁如天元氣與物為春有萬不齊流布無垠大包六合上縣星辰霜烈霆怒陰伏陽信時之禎祥而生鳳麟亦有虺蜮戕于生民椿壽菌柔百卉榛榛土滋群植海岳潛珍誰其司之變化如神心先天地大哉惟人出入萬有徃復如輪由己所業報施相因隨業而異其性則均有郤生棄嵩岳降申維德弗類動合道真堯舜之聖象宋傲囂羊舌覆宗若敖隕身為彼宿惡化弗柔馴粵若眾萬總總詵詵不有先覺匪教曷遵若虞機栝其發千鈞止水有波明鏡忽塵永復于初光明日新涵養之熟純粹以精倚與陳君信行振振宇以明善爰咨爰詢為德弗怠百祿是臻詩以告之無謂譫諄誦而弗替請書諸紳

元履箴為臺郎高君作(有序)

少師姚公嘗命高氏兄弟十二人之名若字復申其義為之序予所交者曰絢字元履文而賢故獨羙之作元履箴
身欲所至履之以足心有所詣飋馳電速不虞于蹶或蹈之谷周旋以規如轂於輻布武千堂四海揖讓詭遇疾馳以得為喪由禮而動惟顏是詔帝惟女歆陟降左右高氏多才履也尤賢有文几几既秩而間爰結其綦載揚其裾坦坦周道何天之衢

贊

妙法蓮華經贊(有序)

三韓桑門心竹游京師市白金以書妙法蓮華經既成寓書吳僧子梅曰吾茲不易以予有高行敬以遺子然江南氣蒸溽必緘諸笥遇庚伏則發而曝之拂以纖纊[母-(丶/丶)+丨]毀焉梅受之如所誡以歸于肆經

之臨安淨應院又懼後之人不之秘惜也介道士張一無求予識其故梅號雪谷嘗夢人有宿雠抉其舌斷之且起不能言遂瘖禱逾年復語慧辯過人益通梵語予未之識聞一無云一無素謹願其言可信然系之以贊曰
大聖作神龍躍其施博咸乘時善其機勇有為彼慢者呱弗乳背厥母聖之天冥化權喻以蓮[角*戢]爾葯茁者蔈卒若一孰似之德無疵詔來茲匪金銀堅不磷倚若人兮

摩騰竺法蘭贊(有序)

按周書異記載西方佛生及終之事而列子亦曰西極之國有化人來穆王事之作中天之臺其高千仞及秦時沙門室利房等至始皇以為異囚之夜有金人破戶以出又霍去病過焉耆山得休屠王祭天金人以是考之周秦西漢知有佛久矣特未廣其教於天下也至東漢明帝始以夢感因傅毅之對遣蔡愔等使西域求其道而摩騰竺法蘭亦先自天竺來由此經像大被東土固佛之縣記必時至而機熟然非騰蘭與此土人有大緣契疇克爾耶有以二大士像示予者謹再拜而為之贊曰
日之方升照有先後或隱或暧非日之咎伊昔吾宗自西徂東屢出屢沮時之未通在漢永平格于帝心遣使求之維遵與愔粤若二士作如來使有馬翰如負經以至如彼旱暵時雨乃作沃我焦壞是刈是穫人道之貴在於明性百家異說孰不自聖匪小而偏匪蕩而窒不有大教道幾乎熄去我二士復逾千載龍藏之文浩若河海匪津匪涯誰與[舟*元]之豈無綱目孰能張之孰圖二士顴頰方眸欲挽其袂逝從之游

妙有堂贊(有序)

三藏大法師居京都聖睠甚蔦王公大臣就而論道者日以十百以國朝輿地之廣萬方畢臣遣使朝聘風俗語音之不同其司賓臚傳若古之曰寄曰象曰譯者視百倍蓰而師悉通之歷事五朝皆授官一品古澄什蔑以過也而退處一室泊然作堂曰妙有取諸經所謂假觀者立一切法雖萬象森列一念空寂而證以不有不空即常絟待即師之禪觀三時者也謹為之贊
妙有之堂毘耶之室不假不空非顯非密默而恒照用而恒寂太虛一塵萬古一息天人來叅華雨如積五竺之西大荒之北九譯獻琛有萬諸國師發其秘相顧而失再示之訓充然有得曾是大邦蔦生其良于耀有章鼓鐘于鎛壽我聖皇邦家之慶作我贊詞無愧斯堂

玄卿贊(有序)

臨江潘雲谷善造墨至順間携之京師翰林虞伯生見而奇之先是朱萬初以墨進文皇勑授奎章閣直長伯生欲奏潘代朱潘辭以親老願歸養於是一時名公益奇之作詩文贈者亡慮數十篇潘若榮其歸因語人曰吾與墨若宿好為之幾四十年而伎窮於是矣時至山谷擇松之膏馥列炬然之覆以密器復穴傍以泄烟使傳數器而後烟始清彌日夕忘飢渴而所取僅銖兩法用金珠貴劑擣和使久益光潤吾貧無有至鬻他器物贖之不靳也故吾墨不多得庸富人欲高直求售吾不辱吾墨使屈見之吾固不負墨然吾無它能四方識不識咸以墨知吾名而墨亦豈負吾哉愚謂潘之於墨能勞以終其身費至於破產而不二其心盖游於藝而進乎道者也其承蜩文人輪扁之徒與世之士君子口誦仁義及臨事則悖所學與吾徒業稱傳道而志之專守之固求若潘之誠於其墨皆可媿也於是作玄卿贊以遺之

陶以世易穎也日遷可久可速惟吾周旋丹鉛後來或居吾上亦有繪事頃刻萬狀吾傳恣恣千里覿面以吾記事巧歷百萬有文庚庚麗于日星時致雷電蛟鼉夜驚我匪知玄智出玄下尚忍磨磷齒髮日化

堯卿御史豸冠像贊

服以彰其德而服之維稱也冠以著其法而孰于于正也儼乎其若思則如廟如郊而敬也嵩華千尺鑠白日而烈秋霜也與物同然而海涵春盎也運眾輻於一轂而納萬象於一鏡也固天將利其器而徯以康斯民而司　王命也

王道人贊

壯游江湖晚歸田里仕而知止富不求餘得非藏利於鈍而用智以愚與物浮湛隨時卷舒閱今古為夜且以天地為蘧廬譬之雲霧不雨物自沾濡璞玉在山草木光腴故吾嘗愛王彥方馬少游之為人猶未若龐蘊李通玄之達識而公則庶幾其徒也

趙宗吉御史豸冠像贊

稼而穡期豐積邦乃足食源之長其流湯湯為湖江有文郁郁學以蔫之既仕而祿何以告之冠豸之峩其容有赫思舉其職以蓋王國王國有待維楨維藩克保克任式無爽予言

蒲室集卷之十四(終)

蒲室集卷之十五目錄

銘
集慶路天禧寺講堂鐘銘
集慶路天寧禪寺鐘銘
集慶路崇回禪寺鐘銘
板銘
龍河廣智菴鐘銘
板銘
天臨路開福禪寺鐘銘
集慶路定林寺鐘銘
饒州路安國寺鐘銘
廣智菴三小鐘銘
二罄銘
寧國路崇教禪寺鐘銘
湖州路資福禪寺鐘銘
寧國路珩琅禪寺鐘銘
建昌路福山寺鐘銘
銘
存存齋銘
近思齋銘
敬學齋銘
魯山銘
定林住處銘
頑石銘
書帶軒銘
臥雲室銘
祭文
祭中峯和尚文
祭鄧善之使君文
祭照元晦文
祭信南海文
祭徒弟知津文
吊鎦忠憲公文
祭穎侍者文
祭徒弟行宥文
祭徑山元叟和尚文

祭高獨峯文
祭瑛石室文
祭徒弟寶滿

蒲室集卷之十五

豫章　釋　大訢　笑隱

銘

集慶路天禧寺講堂鐘銘

聖教東漸時尚屯僧會始以設利徵教傳千年演大乘音聞孔揚鏗華鯨聞寂覺空妙道凝非言非默非色聲天清地寧歲豐登祈天壽考億萬齡

集慶路天寧禪寺鐘銘

天寧深公葺其寺大完作鐘以考擊之眾肅如也南昌大訢為之銘曰
大哉聖教顯幽咸若一音普聞萬類齊作疇克宣之有聲春容警昏啓聵開陽闔陰夙夜有恒與時降升籟鳴于谷龍吟于泓大啟其機怒潮迅霆聞而冈覺視此刻銘

集慶路崇因禪寺鐘銘(有序)

天曆元年七月文皇發建業幸江陵臺臣從至新亭之崇因寺張燕而別明年遣使賜白金于寺又八年住山正逵葺其寺大完作巨鐘宣教令警幽聵以無忘羙墻之思焉豫章大訢為之銘曰
龍光有煒新亭燕喜神用相止宜膺大寶高陵言言氣欝而宜爰播鴻音上聞于天天聽匪遐顧我下土大定超然一息萬古永懷聖德有聞而覺聞寂覺圓萬化磅礴勗哉皇皇而應無方谷虛不盈吾道其有終

板銘

匪朝匪暮兮爾聲孔揚更百世兮爾質彌貞吁嗟乎人之有生

龍河廣智菴鐘銘

龍集丁東菴成鐘在簨訢作銘扣而應器之弘寂彌覺聞非聲

板銘

警怠昏惟爾訓誠之至天人應

天臨路開福禪寺鐘銘(有序)

皇帝南巡時嘗幸潭之開福寺住山志福以遭寵遇懼莫報稱乃曰觀音大士由音聞以證圓通而鐘又音之弘者警昏啓聵為益滋多於是範金為鉅鐘扣擊以贊　鴻釐而宣　聖德也使來謁銘銘曰
邈矣南服維嶽奠之　六龍行天赫然眷之眷之維何繄我覺皇維皇同德以宅萬方如霆之震百蟄斯作大風何從萬谷若荅　徽音鴻烈不在金石神人報功願播無斁乃酌金齊乃擊乃考聲容孔昭亦寓于教萬室夜遙匪警而寤闡幽出冥有萬其趣疇不耳聞而聞以性六用無偶萬物齊應川后山君不有駿奔何福不降以開皇元吾宗尚賴昌于世世刻銘同久敢告鳧氏

集慶路定林寺鐘銘

定林寺法嵩講主化諸檀越作大鐘龍翔寺住山比丘大訢為作銘
大揚聖教辭暢理彰機之弗齊或翕或張有聞咸作爾音于鍠如發其蔀啓幽迪陽進脩無住由聞取證常覺而妙聞亦非性今古無間物我同真非言非默常宣法音設教如是惟嵩克似勒此訓辭以告鳧氏

饒州路安國寺鐘銘(有序)

番易諸山舊多名宿故妄庸者不敢廁其列西竺紹曇歸住安國寺既以才德之美服其人又能興癈補弊範金為巨鐘朝夕扣擊以警其徒使來謁銘銘曰
無象之先同乎一元有生以形如流失源惟覺有訓克復于本耳聰而聞聞[書-曰+皿]聲泯聞性不昧非寂非聲空刼日用非去來今鯨呿雲合番水如荅大定安安不起于榻拯彼沈溺漫漫九泉長夜忽且而升于天導師作鐘其旨如是以如是聞無媿鳧氏

廣智菴三小鐘銘

聞而覺覺而妙心非佛智非道
體之成備五行扣而鳴妙與化冥孰謂人有知覺于不如物之無情
笑隱子作鐘朝夕扣之以警吾徒

二磬銘

聞無聞妙而神兮
靜而應[母-(丶/丶)+丨]不敬兮

寧國路崇敬禪寺鐘銘(有序)

番易克齊叅南屏佛智歸住南陵之崇教廿五年矣大新其寺復鑄鉅鐘以宜其教使夫人天幽明異類聞而警悟以證入圓通三昧其施不亦博乎乞銘於龍河笑隱大訢為之銘曰
扣而應體元靜用則神誠夫性噫惟汝不言之令

湖州路資福禪寺鐘銘(有序)

番易正逵田金陵崇因遷湖之資福以久癈方爬梳補苴未一載而罹欝攸之變逵乃益自勵誓圖興復先有鉅鐘為涮右冠銷鑠漸[書-曰+皿]矣始謀更作之非欲侈舊觀所以肅蔡林齊教令使幽冥異類由音聞以返聞自性成無上道而人神以和則寺之完美可計日成功也寓書求銘為之銘曰
計籌之山禺泉淵淵武恭之阡禪宮渠渠禪祖是居有林其徒道傳教宣不煩於言考鐘于縣警聵啓昏聞於無聞惟覺之元囿于化中或塞而通罹彼祝融作我中興百煉愈剛其聲孔楊鳳躍鯨呿萬礎星羅惟逵之勞蚤夜以同令音無窮有永吾宗

寧國路珩琅禪寺鐘銘

求嘉啓一關住宣城珩琅禪寺繕脩大完復作鉅鐘寓書求銘為作銘曰傳道以言言有窮示以寂默或不通資汝考擊開群聾警昏策怠善以萌聞於無聞聞性空無思無脩超聖功珩琅削玉青璁瓏栝渡振錫遺奇蹤惟啓似之昌厥宗欲以萬石留春容鼓橐特奮千夫雄寒潭照空吟老龍虛谷荅響萬竅風啓之善訓寧無同我為銘之惟汝庸

建昌路福山禪寺鐘銘

鼎山新禪師主肝之福山寺百癈具舉乃範金為巨鐘使來謁銘銘曰閩楚之交山斷若玦師據其衝過者必閱無當其機夕默斯要假爾令音以宣其教爾虛有容而應不窮十方無間如風度空霜月夜寒萬籟不作聞非有聞覺亦非覺差爾來學妙乎師承大振厥宗我銘是徵

銘

存存齋銘為趙公子去疾作

人之奉身輿馬器服或假或失終求以復性生而靜人所均有奔軼蕩泊頃刻莫守貴物賤己重外惑內秖益其愚胡寧不畏大雅君子存存以究顛沛周旋儼若前後若倚於衡以左以右不越衽席彌綸宇宙匪邇而遐河海流潤莫著乎隱鳥飛魚泳怡怡慈順維涼國是訓匪訓于室以施于邦國

近思齋銘為偰公遠作

天日之遠圭測其景泉流地中汲深以綆道大如大德淵如泉我求而獲衽席之間聽視言動或外誘之川潰于防何以復之萬殊一本萬古一息日用無間燕處飲食亦有萬卷父子師友載膏爾車言駕周道于王作賓公侯之孫乃眷環堵岌其高門

敬學齋銘為管元賓作

工試以藝巧力日至賈之於利歲閱月計我治于內日益日損莠鉏其驕苗糞其本六合之富萬物之有我獻我酬我納自牖物我無联而應無方如雲膚寸雨于八荒不有滔滔其源濫觴最尅君子銘以勿忘

魯山銘(有序)

文皇以孝治天下嚴祀祖考特設太禧院捴之復置隆祥使司皆以師相領其事其司屬悉選用不輕授平江善農提舉司其屬也掌承天龍翔崇禧三寺之田賦高昌岳公魯山實為官長龍翔以文皇潛宮安奉　神御春秋二忌臺臣展祭如生後至元五年正月岳公來董祀事凡酒醴牲牷殽果體節之薦視滌之潔禮敬俱至觀者大悅謂公雖貴胄而詩禮如素習其稱魯山為宜為作銘曰
高昌之裔去魯萬里孰羡魯邦魯多君子魯山維藩岱岳中起盈靈毓秀天[田/廾]厥美魯山之雲為雨崇朝魯山之石盡為璠瑤作我國珍生甫及申不于其身以施後人

定林佳處銘

金陵王載之讀書于祖隴贊善精舍扁其室曰定林佳處笑隱子為作銘曰
定林有泉有螯蜿蜒靈雨無爽作我豐年定林有石無以攻玉為圭為璋泄我膏沐桓桓舒國平生伊周用不迨志終愧巢由青松華髮逆旅身世歸榮千出佳處在是勗栻爾後求志乃翁蓄而不施天嗇其豐豈無駟馬來林之下無易其處樂我鐘鼓

頑石銘

荊山有璞和刖其足靈璧有貢裕陵之辱我守其頑庶全太樸傲[瓶-瓦+皮]皴于雪霜寄偃蹇于林薄無光潤以媚烟雲無廉稜以露鋒鍔爾羊群牧爾牛礪角苔溫夜趺風清專壑勺一窪於四溟載一卷于五嶽所謂外癯而中腴配懿德之無怍者也

書帶軒銘

鄭同甫名其室為書帶軒取鄭康成居不其山有草如韲曰書帶云里人大訢為之銘曰
通德之里聖學淵藪道之翕張乾綱坤紐大和薰蒸庶物蕃膴山有豐草溥露滑滑穆如清風沛然時雨厭原訏訏化成郅魯克纘其緒子鄭同甫言擷其英於焉容與以束以紉萬卷有序[禾*畏]葧孔碩舜陶不窋爾維似之以昌而祖

臥雲室銘

燕息之安孰不求遂藉之氈毹奉以甘毳或惴于心背若芒刺千金廣居不易吾廬有滌自西其光如濡匪暱匪疏聊與子娛或以寢處或以寤歌不違衽席孰阻嚴阿其居伊何維德是似庶幾無愧旌以勿替

祭文

祭中峯和尚文

嘗觀於人有負不世之材鍾盖代之氣天機矜能神巧運智仕崇謗興名高毀至如焚膏之坊炎俄光炯而燼棄孰若我師之無為若將頹然於一世故太聲之遠播倏飇馳而雷厲萬乘向風安車莫致三公問道跪拜趨事亦有島夷致書奉弊士女提攜千里委積家祠繪像教載飲食如嚴君親惕若僕吏公固逃之莫釋重累垂髮垢衣茅茨不薙澗飲一瓢食粥一器世皆仰公

莫識公志內己外物高穹厚地行通神明化率異類特其小耳道豈在是辯劇連環理貫百氏脫口千言落筆萬字夫豈多能公之游戲濟北正宗凜乎將墜譬之九鼎一絲是寄叢林荒荒黨鬪族詈勢奪貨取魔孽方熾如取大盜官授之位肆行詭隨孰剔其偽彼之所榮公之所愧故於大方却走畏避宗唱之濫眾響同吹口耳授受相悅狐媚師寧不言豈曰無意誰其嗣之百不一試世無知公千古長喟遺言見及置我鑪錘豈敢忘之撫膺惴惴正宗是慟胡收我涕

祭鄧善之使君文

惟公學究天人之奧道通性命之原已驗諸死生之際神完氣正遺濁世之孤騫則我方外之友無牽于愛夫何戚戚於言又歷觀其平生令聞聲光駭動一世亦風厲而霆奔早入成均下帷討論暨領憲綱民以不冤乃鉏其驕此苗而莠乃黜其偽彼鶴而軒至若經筵之召對示師道之益尊進嘉言於啓沃贊一氣之元元或霜露以成物或煦育之春溫灝灝乎如河漢之無極孰窺其演迤於崑崙幸名遂而身退猶眷眷于寵恩就第賜金侑之上尊固人生之無憾後垂裕于後昆愧我野衲徃來公門蒲龕夜定具葉朝翻啓玄機於破的會眾說而剖藩拯泥塗之墊溺炳炬照於重昏故吾宗之紀述每增重於璵璠羙哉黼黻屹乎崇垣念德音之未遠睇磨厓之可捫此吾黨所以致哀于一奠而莫能起公于九原然公之靈何徃而不在豈與死而同[書-曰+皿]生而獨存盖將亘乎終古融諸萬象包六合而隘乾坤則公與我之無間又何侍於三生石上之魂冀有聞而擊節庶不徒薦於蘋蘩

祭照元晦文

延祐六年八月三日元晦照公書記示寂於湖之餘慶菴越八月訃至明日南山友人四明覺恩建安自如豫章大訢等具湯茗時羞之奠為文而祭之曰公居里閭孰非遠游取友四方楚蜀閩甌其友何人孰感于中匪親匪暱涕之無從不以令德既賢且藝顴頰豐貌天授之器莫知其它居焉即世無寧多能以速百歲彼昧昧者或鼓其啄謂善可怠謂惡可肆我知彼蒼無預公事豈無壽考泯沒誰記公之不年萬古長喟顏柳楷書陶韋五字亦有萬卷佛孔百氏尚遺身後光怪設利世可聞見猶或不墜矧其內者非我能議胡攪于懷蘊藻莫備公寧有知薦此歔欷庶幾吾徒是訓是勵

祭信南海文

予與兄同侍先師入涮相處固密且久而眾中交游動成阡陌送死聞訃時若驚憂及事過即忘獨聞兄訃惻惻不已者追念先師在百丈時眾不滿百

常多奇士兄剛直孤介人以令器期之後聞出世有眾千人大行先師之道於嶺海間年三十一而化此其可痛也又臨終時璜弟適在側以訃音隨海舶而至舟數四將覆而僅免若有神護以致兄之言於予也則予之言兄豈有不聞者耶近時師資不明其上者取古人緒餘口耳授受而下者以賄勢阿附同黨牽援而予與兄幸無此愧故今設奠于室敢以無愧者為薦冀兄大寂定中聞之有以契于懷也尚饗

祭徒弟知津文

自汝從吾十有三載吾役汝以勞而不能訓汝之道吾有負於汝矣吾以天子賜田欲復其賦役而遺後人以安故遣行宥與汝請命于　朝九三入京徃返數萬里使汝負病朝夕號呼行已及境不能信宿而至以見吾面竟客死于維揚汝常晨起誦經夜為鬼神施食力疾危坐念佛不輟而終賴友人買棺闍維裹骨而歸嗚呼痛哉汝身頎然吐音如鐘徃來朝貴間善致辭令御下有恩而威賞必行司帑庾無毛髮苟取又能諭其黨使皆廉勤故吾每事委汝汝益勞悴而久受疾于身不以吾告而不知也汝無它儲惟有米百九十石皆吾積年以與汝者汝臨終之言以七十石貸於客戶歲取息給眾僧之醫藥八十石以奉母及諸弟四十石與受業中竺并吾塔院吾悉如汝言也汝二弟吾教之恤之使省汝父母汝前年沉洲開田六千畝寺之眾賴其食於無窮也吾令沉洲之人祀汝使一飯必祭擇地為窀以葬汝骨旌汝之勞而尉吾思吾固知哀悼之無益而惻惻不能忘汝者以茲山開創之不易求輔佐之能如汝者無數人焉其誰與謀之乎吾常與汝言吾年未甚老而衰憊異常俟蠲賦之文下即求退而菴居汝方壯豈無二十年以養吾老然後隨汝之器而授汝之道庶幾[酉*(刀/(刀*刀))]汝之力而息汝之勞豈謂汝遽舍我而先歿也汝壯猶不可恃況吾衰憊者又豈可逆料哉昔吾祖以栽松道人之老囑其委化再來付以衣法汝能効之則吾當忍死以待汝汝有知乎汝無知乎

吊鎏忠憲公文

士平居議論無所不至臨小利害則易其守孰有委質徇義殺身成仁者乎故觀人之道惟死不容偽曾子易簀子路結纓雖有常有變之不同而同歸于正龍逢比于死於諫伋壽申生死於父命前史書之若中丞鎏公伯宣之死死於其官者也至元中公為行臺官居金陵時江淮省有權貴怙勢不法公命御史劾之馳奏語泄權貴賂宰執誣公以它事追逮維揚公手書付從子自誠謂臺臣義不受辱引佩刀自决天下共痛之而咕咕者謂公剛氣不忍死待辯能目暴白不必有罪縱有罪不必死噫以公之智之才豈不能是苟能是正小人之僥倖而公所深耻者也况其時權臣肆威酷吏濟[皮-

(丨/又)+(王/已)]必深文巧詆鍛鍊成獄公宜屈膝就訊偷生免禍哉縱身脫虎口而臺綱委地故慷慨就死使朝廷知臺有直臣而紀綱益振奸邪膽落而小人知有所畏矣公死三十年御史臺請于朝謚忠憲追封彭城公又二十年公從子持卿以公遺書示予予伏跡林下於世無所欣戚然於公之死不自知其悲且憤也可敦薄俗為詞以悼之其詞曰山有虎兮水有蛟欲禦其害兮吾操吾力匪力之弗敵兮匪智之弗周時偶失利兮竟殞身而弗救肆彼蛟虎兮反起其仇人不念之兮忍匿笑而聚尤終譽顯顯兮莫贖其勞尚賈餘勇兮神與化游浮雲驂兮龍為輈覽故土兮尉子憂子憂兮曷瘳些悲風兮大招

祭穎侍者文

吾宗授受不乳而鷇機應氣感克類克肖子有令姿爰啓其要有聲舂容如樂九奏庶幾吾宗可起其什寧有鬼神顧我弗祐有生芸芸萬化一囿生之維艱既毓既茂我刈我穫胡剪我秀人猶念之我心孔疚物有不齊將誰歸咎我祭而享失辭以侑

祭徒弟行宥文

吾德薄多艱累諸徒以勞役而致斃者九數人而汝最苦痛始吾起癈杕之鳳山汝來佐吾繕脩五年而寺完及遷中竺罹欝攸之變克圖興復汝勞居多天曆之初文皇以潛邸為寺召吾主之始未有稟給薪米塩醯惟汝措畫元[糸*克]間上命鬻田于寺蠲其差稅而未得省部文下使汝請千　朝一再徃返萬五千里經涉四載風雨渴飢傷汝肌骨吏文深刻甲可乙否勞汝憂思幸賴卿相愍汝之誠憐汝之勤啓奏兩宮文移臺省官免稽逋數積千餘貽後人以安惠及百世觸熱來歸嬰疾未覺予喜汝至露坐通夕吾欲退休命捻庶務汝辞以疾吾固不許豈謂竟死於是耶以汝之能吾愛之至不知速汝于死汝亦忠勤不逆吾志死不辭勞汝在京都奔走官事或終日不食吾書責汝過於儉苦無斬口體而戕其生以貽吾憂孰謂驗於今日也吾住山一無所成而累人以死不能為汝師矣遺恨冥冥可勝痛毒吾受命先帝開創茲山欲弘吾祖之道訓迪後人必資於居室食用而所以命汝者為眾也非為己也期於報先帝而弘吾祖之道也而今則已矣吾疾日加雖退而未能去譏謗蝟生無寧日矣况復失汝而任吾事者誰歟汝初入都吾與汝金汝思不足罄私橐以行歸不求償而歸其贅弊之餘纖介無取又良難也汝忠於師勤於眾為善而不蒙其福人所與而天奪之何如也彼貪無厭竭于貨而覆厥事而壽而康者又何如也而果回施報之說為虛矣或謂業感三世得非嗇於今而豐其報於身後若是固有之而昧昧者不得而知也汝力疾危坐念佛而化佛即自性念念不昧無係於身之生滅世之延促

庸置忻戚於其間哉然至人不遺情達士不癈禮雖寓一哀何傷焉于以明師資之道盡死生之義我心汝靈洞然今古吾欲吾哭之不慟不可也

祭徑山元叟和尚文

公與先師齊驅宋季潛子器之雷動一世後七十年惟公獨在趙州汾陽高出行輩如見先師床下受拜笨我駑蹇箴我狂隘我來金陵不阻書誨我眷茲山翠華所届倚公之重雄冠海岱累請于朝待命不至胡以訃聞德音未沫濟北之宗藐焉孤寄承之何人化為異類所恃惟公庶幾知畏公復徃矣而我何恃如舉九鼎畀之孺稚胡力之任不顛以躓孰云潢潦可接巨[泳-永+(瓜-丶)]孰云焦壤可沃霈霈猶不遐遺置我鑪錘有赫其臨光吐虹霓尚聆後訓遲烈颼厲平生幾何萬古長喟吾宗是慟匪私我涕

祭高獨峯文

高公獨峯長老於至正二年七月十一日徃赴海塩天寧住持於九月廿八日示寂越二十日訃聞十月廿五日龍翔寺住持大訢設位于東菴披誦華嚴法華妙典用伸莊嚴仍以湯茗之奠而祭之以文曰師友道喪汙合黨分子有卓識獨拔其群始求其師淩霄集雲取友于何龍河之濆以道淬礪如龕與存潛子器之輔之以文追琢之妙盡為璵璠眾羽翾飛集于鳳鸞庶幾吾徒以討以論彌年嬰疾尚接笑言列剎之聘歡動于隣我惜其去懼勞厥身方通安問隨以訃聞居然隔世曾不逾旬如戒長途出戶摧轅雲天萬里飛不盡翰遺物分寄益感義敦猶懷慈母白頭倚門貽書故園聞者悲辛念子粹美無媿古人平生已矣徒薦蘋蘩尚享

祭瑛石室文

前育王石室法弟禪師以至正三年三月十七日示寂於吳江受經普向院闍維獲設利齒牙不燼陪葬於受業祖三藏道法師之塔踰月訃至予以山門科徵稅粮無暇越八月十七日光師晦機和尚遠忌乃具位以配備湯茗時羞之奠而哭之以文曰寓形於化眾萬不同及觀其盡均於一空我痛石室天毓令質道昌于言玩華咀實四方仰之寂音仲靈載登玉兒我祖是承胡病而窶寒暑莫禦我闖其臥僵起厲語遺物示意佛祖是貽死生永訣不忘葴規逾月聞訃設利[胠-厶+豆]朧表之窣堵如三藏公為位設奠書緩告罪先師諱日期子克配師友無人我何獨立道喪千載寧忍一泣尚享

祭徒弟寶滿文

汝親昆季四人從釋三為吾徒皆能効力汝兄赴都不返而卒曾不半載汝又繼沒孰不憐汝我痛何極我徒亦多獨汝溫克役汝于勞靡間朝夕寒暑渴飢奔走匍匐速汝于死繄我之匿孰非虛幻有生何益牽于愛思如焚如溺吾嘗訓汝先聖是則太定如如常用而寂物我同體今古一息汝惟昭昭起然自得我何不忘撫念疇昔汝有遺言散汝遺物吾與汝粟歲貨取息遇夏設供與眾同食石塔新成樹之松柏期與汝兄同葬汝骨汝聽吾言庶尉悽咽

大元廣智金悟大禪師太中大夫住太龍翔集慶寺釋教宗主兼領五山寺笑隱訢公行道記(有贊)

自太慧果禪師大弘臨濟之宗於東南晚得佛照光以為之嗣北磵簡傳之至物初觀而得晦機熙公江南既歸國朝禪宗尊宿共扶其道者數公而已晦機充以老成為國柱右隆然繼之名稱普聞於天下者則廣智全悟大禪師訢公其人也公諱大訢字笑隱姓陳氏本九江義門唐尚書操諸孫分居南昌先墓有豫章之木持異神於相地者占之曰是當生奇男子為名僧其道大行樹枯其徵也已而果然師生於至元甲申八月二十七日生之夕所居宅地若震動人為驚異稍長入鄉校穎悟過常兒書過眼轉成誦其親携以出游至佛寺必瞻拜戀慕不能去父母知其忘俾從伯氏之為僧於郡城水陸院法雲者九年雲之徒彰為薙髮受具戒居八年學問日廣知求佛法大意一山萬公住廬山之開先即徃見焉時年十七山一見留之左右日夕警誨歎曰吾友晦機在百丈子欲諮決究竟非見吾友不可師稟命詣百丈晦機識其奇偉於眉睫間即使侍方丈他日謂之曰昔黃龍得旨泐潭領徒游方及見慈明氣索汙下汝且道過在甚處語未絕師抗聲曰千年桃核裏覓甚舊時仁久之俾掌書記一日舉百丈野狐話問之師擬議晦機震威一喝師於是群疑頓釋得無礙智同參苦咨問之師後有頌云百丈野狐野狐百丈埋著一坑伏惟尚享諸方多誦之晦機一日定中見天門有榜師名為首因謂師曰昔東山祖有言我不得勤遠則負慈明矣汝善保任乎晦機遷淨慈師從之仍以為書記晦機說法文理精詣嘗謂師曰昔雪竇真淨及我妙喜以來內自教乘傍及儒老子百家之言深入要眇故其文言浩乎如川至之不可禦也師神觀高邁音吐如洪鐘素以博洽聞至其辨論古今如指諸掌執筆書事文士良史莫或過之一時名勝如恩斷江如一溪茂古林宣無言卓有行業皆與師為忘年交本中峯居天目山之師子嚴中外信向甚盛師嘗謁之語至夜參半忽大風厓石欲墮左右辟易師危坐如平時峰亦服其定力矣而學士大夫如吳興趙文敏公孟頫已西鄧康莊公文原四明袁文清公桷房山高公彥敬東陽胡長孺汲仲錢唐仇遠近仁延祐進士莆城揚載仲弘金華黃溍溍鄉及今翰林待制京兆社本伯原前後負時盛名與師為文學之友者也晦機著萬一山塔銘屬師代作請文敏公書之公一

見大驚異以為真得古文法公為杭州僧作顯教院記亦屬師代之及成不易一字署己名以書至大辛亥初受請住湖州之鳥回祝香之次諸山咸歎晦機之得人矣大報國寺者回宋故宮而為之延祐庚申灾諸剎尊宿共迎師起癈未從也趙公為親作疏以請既至大作新之寺田之在宜興者連歲不入師為歸其侵始有以食其眾江淛行省丞相脫歡公故荅剌[罩-卓+十]順德王之子也以世勛名德靖重知大體兼行宣政院事領東南浮圖之教凡大剎非名德不輕授特請師住中天竺人無間言而師名日起矣天曆初元師夢神龍騰空覺而異之作偈以識既而天子以金陵潛邸作大龍翔集慶寺命江南行御史臺督視其成嘗有旨曰江南大剎皆前代所為甲乙之次頗有定品今日之作規制位望宜無加焉方大臣難於開法主者師之器量久在　淵衷命為太中大夫號曰廣智全悟大禪師為開山弟一代師恢弘圣達汎應無滯偉然江海之上舒卷自在不偏於空寂又明年與蔣山曇芳忠俱召至京師京師之為禪宗者出迎河上曰國家尚教乘塔廟之建為禪者寂然禪剎興於今代自師始吾徒賴焉師謝曰遵其行之為律宣其言之為教傳其心之為禪有言有行皆所以明是心也吾徒無負祖師西來意它不足論也日　召對　奎章閣賜坐說佛心要深契上旨舘於太禧宗禋院　勑設伊蒲妙饌賜貂裘金衲衣及諸金幣皆內府珍異上嘗知師所為文曰蒲室集者命昭孝寺大司徒法洪取進法洪亦博洽內外典深為講達上問師嗣法何人曰元熙也因贊其道業源委上嘉歎命學士虞集製銘賜之居十日中使問尉洽至請還從之賜中天竺名曰天曆永祚寺而命師之菴居曰廣智皆命虞集為之書祖道於城南僧舍凡食設皆貴臣以上旨為之主上之眷斯寺也外以臺臣護視使者從中來賜與無虛月皇上至元二年以老病求退御史大夫撒迪公以聞優詔不許加號釋教宗主兼領五山寺餘如故而賜予尤厚匡匪之頒徧及寺眾　勑外臺護視使安居而終老焉先百丈有禪苑清規其徒遵用之嘗有旨命師脩改乃分為九章今行焉於是中朝西域高昌三韓滇池于闐與湖江淮漢關蜀閩廣之俊傑四面而至法席莫尚焉師之居於是也自中朝外藩臺閣風紀貴人名公卿至者莫不頎盖為禮非人力所能致也而文詞語言流傳四方震蕩耳目亦顧[耳*丐]雄發於一時矣初給錢為中[糸*克]鈔者二十萬緡設官領之取子錢以為食後癈其官以歸寺之人出納為息不能盡一稍病之至正元年　勑有司市民良田以傳寺歲賦粟以食公私無所係累歎曰吾徒庶晏佚一搏於朝夕吾亦老且休矣四年五月一日為文書請以徑山忠曇芳代己升堂擊鼓辭眾退居廣智菴居兼旬肩輿與御史大夫脫歡公為別留書凡與交游之善者命弟子疏　兩朝賜己金弊等[書-曰+皿]以付寺僧俾營萬佛閣以報　國恩既乃臥示疾明且天大風雨白晝變暝召入室弟子各加勉諭從容作偈儼然而逝是月廿四日壬子也得年六十一僧臘四十六初龍翔寺成營三塔於石頭城之東岡弟子龕奉全身措於塔院自憲臺郡縣大小吏士緇素老幼送者萬眾陰雲四興涼颸泄然行者不知暑眾散

始罷八月斸石為坎於石城之岡十六日奉而藏焉表浮圖於其上其徒之在杭州報國永祚者又奉師遺齒[瓜-、]髮而塔於鳳皇山師四會說法皆有語錄提頌敘說宗旨外集詩文若干卷即所謂蒲室集者也度弟子若干人傳法住山者若干人師性至孝父母蚤卒母蕭氏方盛年即持齊念佛以居師受請報國時母率餘子薦新祖考庭前忽生華形如白蓮盖芝類也鄉人聚觀香色彌月不減占者以為師之瑞應也師雖不得至左右而心常不忘目其文曰蒲室者所以識宗家睦州織鞋為養之故事也故其為文為人子言必曰孝為人臣言必曰忠為朋友之交言必曰信至語其徒脫愛冈離無明直指本性以悟為則誘掖以進之激昂以發之奮迅以决之機用迭發政令獨行其門人以所得各有記可考也噫人才實難江濤眇然居忌不恒能靜以應向使不為方外之歸亦足以用世者栻予與師相知四十年見師身受龍翔之寄至于今十有七載歸老江上亦十二年向與交游者皆已[書-曰+皿]矣弟子懷渭本其甥也清脩善學有舅氏之風渭之為名亦所以識也以其同門之意使予書其遺事可勝慨乎乃述贊曰維昔至元皇有南服神明合完生息來復預章楩楠殿於湖江幹立條揚乃發駿厖文林蕭條靡契嘉會肆其脩能求法方外達磨傳心別濟為宗至妙喜天縱橫朗融遠紹緒流必有惠辯惟全悟師弘偉超鍊四坐道塲說法沛然吐辭湧泉如洪如元衛法如嵩不咈明教織蒲養親睦州之孝表裏東南捴于金陵皇作梵宮龍翔是徵崇臺在焉耳目攸寄以領佛事孰克堪是鼓鐘震驚龍象人天岳峙山連莫之雄先金具珠璧園苑林澤道護萬福好爵嘉錫宣其惠慈作新成規來嚮來參雲奔海馳皇仁如天函覆如一俾善其眾休燕以室風雨漂搖安如須彌生滅去來何足控持既念故交違越年歲訊諸門人以作斯記前　奎章閣侍　書學士翰林侍　講學士通奉大夫知　制誥兼脩國史蜀郡虞集記

[恙-心+水]應二年初冬

風月庄左衛門(刊行)

聯絡我們

財團法人
佛教電子佛典基金會（CBETA 基金會）
CBETA Comprehensive Buddhist Electronic Text Archive Foundation

service@cbeta.org
(02)2383-2182 轉分機 12
官網 https://cbeta.org/
CBETA Online https://cbetaonline.dila.edu.tw/
立即贊助 https://cbeta.org/quick-donate/

贊助資訊

CBETA 長年來陸續將歷代重要佛典數位化為「CBETA 電子佛典集成」，不僅收錄了大量的珍貴文獻，更致力於校勘考證用字及增添新式標點，提升佛典的文獻品質及易讀性。「CBETA 電子佛典集成」是大眾廣為運用的公共資源，此成果也獲得國際學界的重視及肯定。

對於一個從事佛法志業的非營利團隊來說，能夠長期埋首理想、踏實耕耘，實屬不易。為了提供更優質的服務，CBETA 基金會擬增聘專業人力，擴大組織規模，懇請大家慷慨解囊、熱情贊助，讓未來有更多更好的電子佛典。

贊助捐款

「水滴雖微，漸盈大器，凡福充滿，從纖纖積。」
—— CBETA 2024.R2, T04, no. 210, p. 565a5-6